秋 資料１-２

資　　料　　編

【目次】

資料１　先進事例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
資料２　ハザードマップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
資料３　市民ワークショップ・秋芳中学校ワークショップ関連資料・・・・・14
資料４　住民説明会での意見等について・・・・・・・・・・・・・・・・・・78
資料５　パブリックコメントの結果について・・・・・・・・・・・・・・・・86
資料６　美祢市新総合支所庁舎等整備有識者会議の検討経緯・・・・・・・・112
資料７　美祢市総合支所庁舎等整備庁内検討委員会の検討経緯・・・・・・・116

（空白）

資料１　先進事例

（１）複合施設として整備された総合支所庁舎等の先進事例

近年整備された総合支所庁舎の多くは、行政支所と関連する他の機能を複合させて整備する傾向が顕著である。地域の中心部の空洞化が進んでいる状況を受けて、いくつかの施設を複合させることで新しく地域の中心をつくり直して行こうという考え方が背景にある。ここでは、近年、複合施設として整備された総合支所庁舎等の中から、同程度の規模の事例を集めた。（表-資 1）

		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
施設名		山陽小野田市厚狭地区複合施設	南三陸町歌津総合支所・公民館	岡崎市額田支所周辺施設	越前市今立総合支所	豊田市藤岡支所・交流館	光市大和支所	山口市佐山地域交流ｾﾝﾀｰ
複合している機能（㎡）	総合支所	400	200	830	400	480	65	90
	公民館	530	575	370	880	950	550	550
	図書館	580	－	200	－	110	180	70
	その他	－	－	社会福祉協議会 90	商工会 130	－	ｺﾐｭﾆﾃｨ協議会 45	社会福祉協議会等 80
		－	－	ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ 40	－	－	－	消防団詰所、車庫 60
	共有部分	600	140	490	230	1,330	950	190
	合計	2,110	1,300	1,890	1,830	2,870	1,790	1,040
併設している施設（㎡）		体育館 840	図書館 500	－	図書館+資料館 1,380	－	消防団詰所、車庫 120	－
		保健ｾﾝﾀｰ 600	消防出張所 500	－	芸術館 2,500	－	－	－
		－	ﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽ 1,000	－	－	－	－	－
構造		RC造	S造、RC造木造	RC造、木造	RC造一部S造	木造、RC造一部S造	S造	RC造
階数		2階建	平屋	2階建	平屋	2階建	2階建	平屋
蔵書冊数（）内数値は別棟建物の蔵書		69,000	(ﾃﾞｰﾀ無)	15,000	(110,000)	(ﾃﾞｰﾀ無)	21,597	(ﾃﾞｰﾀ無)
建設工事費（千円）		1,456,730	(ﾃﾞｰﾀ無)	922,391	750,000	1,414,441	600,000	700,000
㎡単価（千円）		(ﾃﾞｰﾀ無)	(ﾃﾞｰﾀ無)	488	500	493	335	(ﾃﾞｰﾀ無)
完成年月		2015年6月	2017年5月	2017年12月	2018年8月	2019年3月	2019年3月	2019年8月
複合化の特徴と周辺施設		・支所、公民館、図書館からなる複合施設に体育館、保健ｾﾝﾀｰ(既存)が別棟で併設 ・敷地に隣接して、社会福祉協議会や医院等が立地	・支所、公民館からなる複合施設 ・敷地内に既存図書館が併設 ・敷地に隣接して、消防署出張所やﾃﾞｲｻｰﾋﾞｽｾﾝﾀｰ(社協運営)が立地	・支所、公民館、図書館の複合施設 ・支所内にｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ執務室が同居 ・敷地に隣接して、商工会、消防支所が立地	・支所、公民館、商工会の複合施設 ・図書館、歴史民俗資料館、芸術館(600席ﾎｰﾙ)等の既存施設が隣地に併設	・支所図書ｺｰﾅｰを持つ交流館の合築 ・支所の2階は観光協会、商工会、ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ事務室が同居 ・敷地内にﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ有	・支所、公民館、図書館の複合施設 ・支所部分にｺﾐｭﾆﾃｨ協議会が同居 ・別棟で消防車庫、消防詰所等が併設 ・敷地周辺には総合病院、山口銀行等が立地	・支所、公民館、図書ｺｰﾅｰのほか、地域づくり協議会と、地区社会福祉協議会が同居 ・防災拠点として、消防車庫や詰所も合築
備考		工事費は、解体工事費、外構工事費等も含む			工事費は、基本計画時の金額および坪単価（計画当初面積 1,500㎡）			工事費は、用地費、外構工事費も含む

表-資 1　総合支所庁舎の事例

（２）事例分析

①山陽小野田市厚狭地区複合施設

施設概要

所在地　：山口県山陽小野田市大字鴨庄 94 番地
完成年月：2015 年 6 月
敷地面積：－
建築面積：－
延床面積：2,114 ㎡
構造　　：RC 造
階数　　：地上 2 階

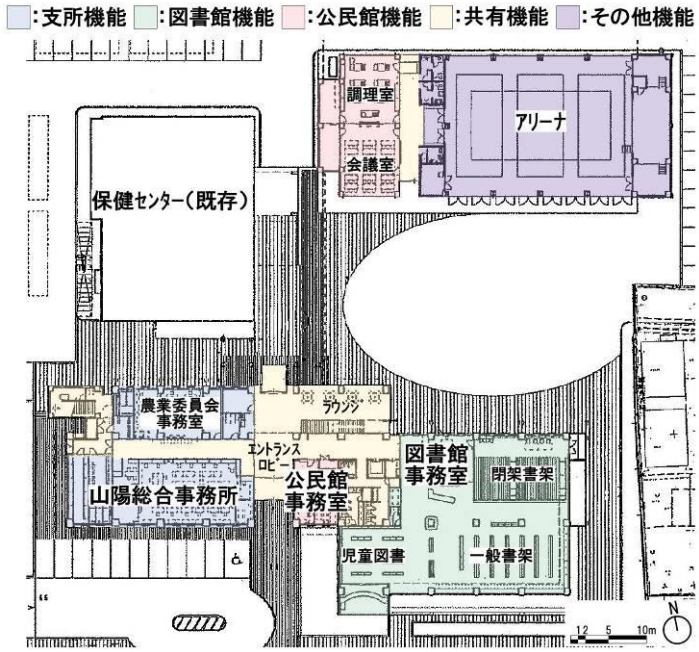
複合している機能		山陽総合事務所：400 ㎡（執務スペース 120 ㎡）
		厚狭公民館　：530 ㎡
		厚狭図書館　：580 ㎡（一般書架 180 ㎡）
		共有部分　　：600 ㎡
		合計　　：2,114 ㎡
併設している施設		体育館平場部分：600 ㎡
		保健センター　：600 ㎡
蔵書数		69,000 冊
駐車場		118 台（車いす用 3 台）
開館時間		山陽総合事務所：月～金曜日　8:30～17:15
		厚狭公民館　　：火～金曜日　9:00～22:00
		厚狭図書館　　：火～金曜日　9:30～19:00 土・日曜日　9:30～17:00
建設費等	総工費	－
	建設工事費	1,456,730,000 円（解体工事費、外構工事費含む）
	㎡単価	－

特徴

旧山陽総合事務所庁舎、倉庫、別館及び山陽消防署を解体し、山陽総合事務所、厚狭図書館、厚狭公民館を複合して整備されている。駅が近く、好立地で地域の中心施設となっている。いくつかの施設が一緒になっているだけの印象で、複合しているメリットをより生かせたのではないか。2 室ある研修室は、それぞれ可動間仕切りで分割して利用することが可能である。体育館棟には、調理室も一緒に整備されており、避難時の炊き出しなど一体的な利用が考えられる。多くの人が利用している図書館は、土日も開館しており、ラウンジも含めた利用ができる。

施設付近見取図

複合している機能の平面構成



②南三陸町歌津総合支所・公民館

施設概要

所在地　：宮城県南三陸町
　　歌津字菅の浜 60 番地
完成年月：2017 年 5 月
敷地面積：2,338 ㎡
建築面積：1,392 ㎡
延床面積：1,300 ㎡
構造　　：S 造・RC 造・木造
階数　　：平屋

複合している機能		総合支所:200 ㎡(執務スペース 115 ㎡)
		公民館　:575 ㎡
		共有部分:525 ㎡
		合計　　:1,300 ㎡
併設している施設		図書館:140 ㎡
		消防署出張所:500 ㎡
		デイサービス:1,000 ㎡
蔵書数		-
駐車場		94 台(車いす用 1 台)
開館時間		支所　:月～金曜日　8:30～17:15
		公民館:月～日曜日　9:00～21:00
		図書館:火～日曜日　9:00～17:00
建設費等	総工費	-
	建設工事費	-
	㎡単価	-

特徴

総合支所、公民館を複合して整備されている。敷地内には別棟で図書館が併設している。また隣接して、消防署出張所やデイサービス施設があり、周辺施設と一体的な整備がされている。施設は、共有スペースである「マチドマ」に支所機能や会議研修室、調理室等が面した計画となっている。「マチドマ」はサンルームに面しており、明るい印象。会議研修室 1~3 は可動間仕切りにより一体的な利用が可能。

施設付近見取図

複合している機能の平面構成

③岡崎市額田支所周辺施設

施設概要

所在地　：愛知県岡崎市樫山町山ノ神 21-1
完成年月：2017 年 12 月
敷地面積：－
建築面積：－
延床面積：1,890 ㎡
構造　　：RC 造・木造
階数　　：地上 2 階

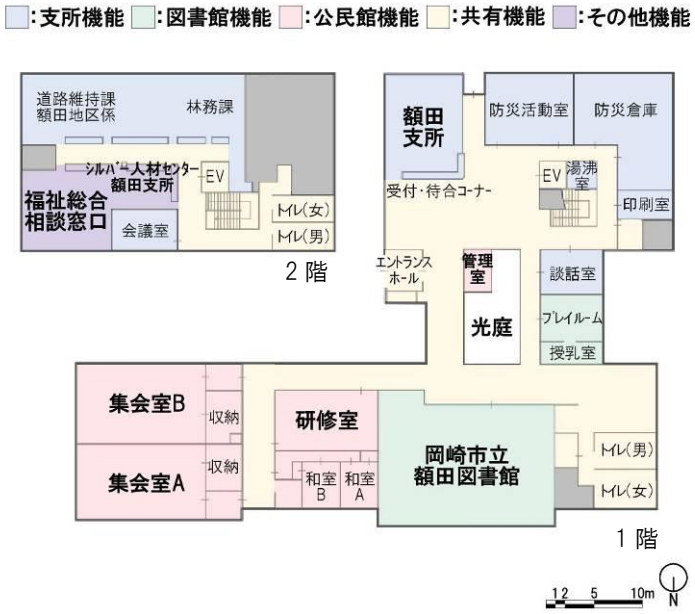
複合している機能	支所	:830 ㎡
	公民館	:370 ㎡
	図書館	:200 ㎡
	社会福祉協議会	:90 ㎡
	シルバー人材センター	:40 ㎡
	共有部分	:490 ㎡
	合計	:1,890 ㎡
蔵書数		15,000 冊
駐車場		100 台(車いす用 1 台)
開館時間		支所　:月～金曜日　8:30～17:15
		公民館:火～日曜日　9:00～21:00
		図書館:火～日曜日　9:00～19:00
建設費等	総工費	－
	建設工事費	922,391,000 円
	㎡単価	488,000 円

特徴

総合支所、公民館、図書館が複合して整備されている。また社会福祉協議会やシルバー人材センターも併設している。敷地に隣接して、商工会や消防署出張所が立地している。L 字状に片廊下型の施設計画で、中央に光庭を設けている。

施設付近見取図

複合している機能の平面構成



④越前市今立総合支所

施設概要

所在地　：福井県越前市
　　粟田部町 9-1-9
完成年月：2018 年 8 月
敷地面積：11,500 ㎡
建築面積：2,150 ㎡
延床面積：1,830 ㎡
構造　　：RC 造一部 S 造
階数　　：平屋

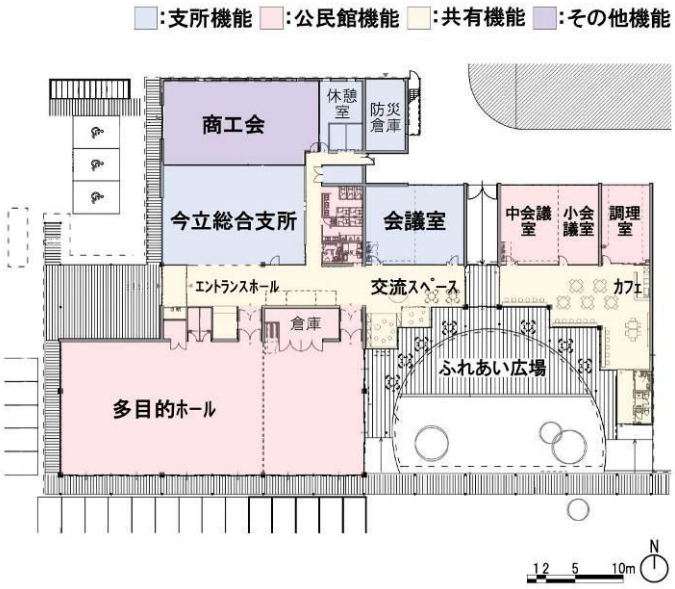
複合している機能		総合支所:400 ㎡
		公民館　:880 ㎡
		商工会　:130 ㎡
		共有部分:230 ㎡
		合計　　:1,830 ㎡
併設している施設		今立図書館＋資料館:1,380 ㎡
		芸術館:2,500 ㎡
蔵書数		110,000 冊(今立図書館)
駐車場		105 台(車いす用 8 台)
開館時間		支所　　:月～金曜日　8:30～17:15
		公民館　　:月～日曜日　9:00～22:00
		今立図書館:火～日曜日　9:00～18:00 金曜日　9:30～19:00
建設費等	総工費	-
	建設工事費	750,000,000 円(基本計画時)
	㎡単価	500,000 円(基本計画時)

特徴

総合支所、公民館、商工会の合築で、周辺には図書館や資料館、芸術館などが一体的に整備されている。建物は平屋で、中廊下型の共有スペースに面して、多目的ホールや支所、会議室が計画されている。共有スペースにあるカフェは、調理室に併設してあり、一体的な利用ができる市民の交流の場となっている。また、ふれあい広場に面してデッキが張り出し、屋内と連続した利用が可能である。会議室は、可動間仕切りによって分割でき、人数に合わせた利用ができる。

施設付近見取図

複合している機能の平面構成



⑤豊田市藤岡支所・交流館

施設概要

所在地　：愛知県豊田市藤岡飯野町田中 245 番地
完成年月：2019 年 3 月
敷地面積：8,570 ㎡
建築面積：2,120 ㎡
延床面積：2,870 ㎡
構造　　：木造・RC 造一部 S 造
階数　　：地上 2 階

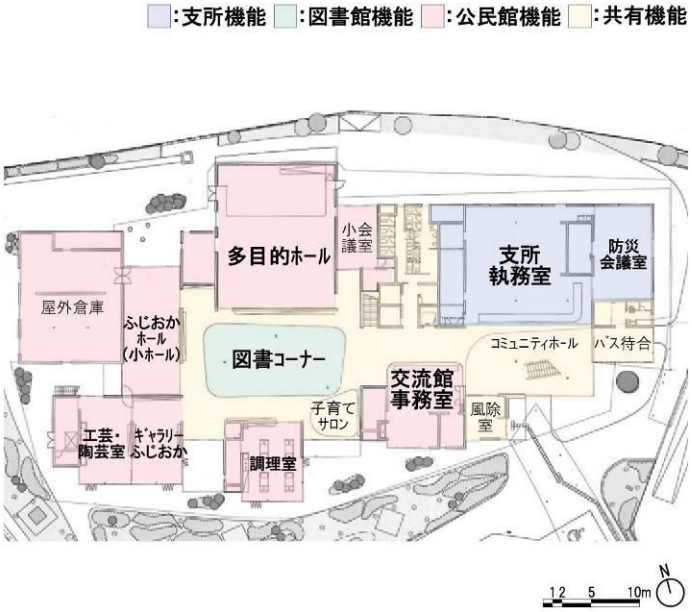
複合している機能		支所　　:480 ㎡
		公民館　:950 ㎡
		図書館　:110 ㎡
		共有部分:1,330 ㎡
		合計　　:2,870 ㎡
蔵書数		11,719 冊
駐車場		92 台(車いす用 2 台)
開館時間		支所　:月～金曜日　8:30～17:15
		公民館:火～日曜日　9:00～21:00
		図書館:火～日曜日　9:00～20:00
建設費等	総工費	-
	建設工事費	1,414,441,000 円
	㎡単価	493,000 円

特徴

建物は支所と交流館の合築で、敷地内にバスターミナルが併設して整備されている。メインエントランスは支所側にあり、コミュニティホールに屋内バス待合スペースが併設して計画されている。そのため、公共交通機関を利用した施設利用が容易に感じられる。また、支所待合スペースと図書コーナー部分が吹き抜けとなっており、各階を緩やかに繋いでいる印象がある。この施設では、共有部と図書機能が一緒になっていることも大きな特徴で、共有スペースの様々な場所に壁付けの本棚があり、多くの居場所をつくっている。所々に屋外に出られるスペースを設け、ボリュームを分散させながら、様々な外部への抜けをつくっている。

施設付近見取図

複合している機能の平面構成（２階は省略）



⑥光市大和支所

施設概要

所在地　：山口県光市大字岩田 2483 番地 1
完成年月：2019 年 3 月
敷地面積：－
建築面積：－
延床面積：1,790 ㎡
構造　　：S 造
階数　　：地上 2 階

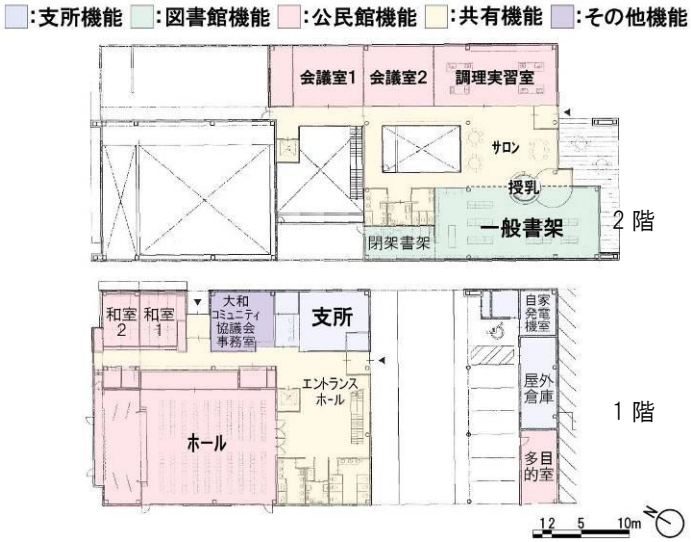
複合している機能		光市大和支所　:65 ㎡
		公民館　:550 ㎡(ホール平場部分 180 ㎡)
		大和図書館　:180 ㎡(一般書架 140 ㎡)
		大和ｺﾐｭﾆﾃｨ協議会:45 ㎡
		共有部分　:950 ㎡
		合計　:1,790 ㎡
併設している施設		消防団詰所･車庫:120 ㎡
蔵書数		21,597 冊
駐車場		－
開館時間		光市大和支所:月～金曜日　8:30～17:15
		公民館　:火～金曜日　9:00～22:00
		大和図書館　:水･金曜日　9:00～19:00 火･木･土･日曜祝日　9:00～17:15
建設費等	総工費	－
	建設工事費	600,000,000 円
	㎡単価	335,000 円

特徴

光市役所大和支所、公民館、図書館を合築し整備されている。施設は全体的にコストを抑えた建物となっている。敷地は周辺の地形が大きく勾配がついているため、変則的な土地利用となっており、建物の中央部を車道が貫通している。また駅方面からのアプローチに対して、建物の正面性がなく、分かりにくい印象がある。敷地の段差を利用して、2 階の図書館から直接広場に繋がっており、避難時などに広場が有効に利用できる。別棟で消防団詰所・消防機庫が併設している。施設内図書館は 21,597 冊、光図書館は 178,896 冊の蔵書数となっており、嘱託職員 2 名で運営している。
エントランスホールに面して、支所、コミュニティ協議会事務室、ホールが計画されている。和室はステージ利用者の控室としての利用も可能。2 階はサロンスペースに面して、調理実習室や図書館が整備されており、例えば、本を読む子供を見ながら、調理実習室で料理教室を行える等、安心して利用できる印象がある。

付近見取図

複合している機能の平面構成



⑦山口市佐山地域交流センター

施設概要

所在地　：山口県山口市佐山 2276 番地 1
完成年月：2019 年 8 月
敷地面積：3226.28 ㎡
建築面積：－
延床面積：1040 ㎡
構造　　：RC 造
階数　　：平屋

複合している機能	支所	:90 ㎡
	公民館	:550 ㎡
	図書コーナー	:70 ㎡
	団体事務室(社会福祉協議会等)	:80 ㎡
	消防団詰所･車庫	:60 ㎡(内詰所 20 ㎡)
	共有部分	:190 ㎡
	合計	:1,040 ㎡
蔵書数		－
駐車場		－
開館時間		8:30～22:00 (窓口業務の執務時間は平日 8:30～17:15)
建設費等	総工費	－
	建設工事費	700,000,000(用地費、外構工事費含む)
	㎡単価	－

特徴

出張所公民館という位置づけで整備されている。地域づくり協議会と地区社会福祉協議会を併設している。行政窓口 2 名と嘱託職員 1 名、地域づくり担当 2 名で運営しており、協働のまちづくりを実践している。施設は指定避難場所で、別棟で備蓄倉庫、消防機庫を一体的に整備しており、地域防災の拠点となっている。また地域づくり団体が自主防災組織をつくり、非常食等の備蓄を行っている。地域づくり協議会阿賀タクシー会社と契約、運用されているコミュニティタクシーふれあい号は利用率が 3 割程度である。施設検討の際、建設委員会を組織して、実施設計を固める段階で住民の意向を聞き検討された経緯がある。施設内の情報回線は、NTT 光回線、INS 回線(Fax)、ケーブルインターネット(議会放送)となっている。

施設は中廊下型で計画され、入口ロビーには、明治維新で活躍した河瀬真孝の資料を中心とした展示コーナーが作られている。また図書コーナーには、小郡図書館の図書を置いている。研修室が料理室に併設し一体的な利用が可能となっている。さらに、会議室 1・2 は可動間仕切りにより一体利用が可能で、小会議室と収納を兼用している。

建物は、地区史研究会による定期的なチラシの発行や食事等を中心とした「うぐいすの会」による月 1 回のふれあい会食、子供のおやつづくり、施設を中心とした「ふれあい祭り」の開催等の市民活動に利用されている。

付近見取図

複合している機能の平面構成

（３）事例分析のまとめ

総合支所を中心に他の施設と複合した事例を集め分析した結果、大まかに以下のような整備の傾向があることがわかった。

１．複合する機能としては、総合支所と公民館と図書館の組み合わせが多く、それぞれに「施設相互の繋がりをつくる工夫」が凝らされている。

２．同一敷地や、隣接する敷地に、関連する公共施設や、民間施設を配置している事例も多く見られ、「新しい中心をコンパクトにつくり直す」動きが多く見られる。

３．共有空間に、交流スペースやカフェが設けられている例がみられ、「地域住民のふれあいの場」をつくるさまざまな工夫がされている。

４．社会福祉協議会や地域づくり協議会などとの合築の例も多く、福祉の総合窓口と、役所支所とが「緊密な連携」を図ろうとする動きがある。

５．建物の中央にオープンな図書コーナー（開架書架）を配置し、本を中心に緩やかなつながりをつくろうとする、「複合の新しいかたち」も見られる。

６．敷地内にバスや、コミュニティタクシーの乗り場などが設けられている例もあり、交通弱者に対する「地域公共交通に対する工夫」が見られる。

７．防災倉庫、消防機庫などが併設され、「地域の防災拠点施設としての機能」が強化されている。

８．Free Wi-Fi、光回線、INS 回線、ケーブルインターネットの設備など、「ICT 環境の整備」が進められている。

資料２　ハザードマップ

（１）土砂災害ハザードマップ

「美祢市土砂災害ハザードマップ（平成 30 年 3 月公開）」より、秋吉地区中心部を抜粋して示す（図-資 1）。新複合施設の建設候補地は、土砂災害の発生については想定区域外である。

図-資 1　秋吉地区中心部の土砂災害ハザードマップ

（「美祢市土砂災害ハザードマップ(平成 30 年 3 月)」より抜粋：
https://www2.city.mine.lg.jp/izatoiutokini/hazardmap/4796.html）

（２）厚東川洪水浸水想定区域図

山口県により公開されている「厚東川洪水浸水区域図（平成 31 年 3 月）」には、①計画規模の降雨（厚東川流域の 2 日の総雨量 335㎜）によるものと、②想定最大規模の降雨（厚東川流域の 2 日の総雨量 518㎜）によるものの 2 種類がある。

① 計画規模の降雨による厚東川洪水浸水区域図

計画規模の降雨（100 年に 1 度程度の発生確率）により浸水が想定される区域および浸水した場合に想定される水深を示す（図-資 2）。新複合施設の建設候補地は浸水想定区域外である。

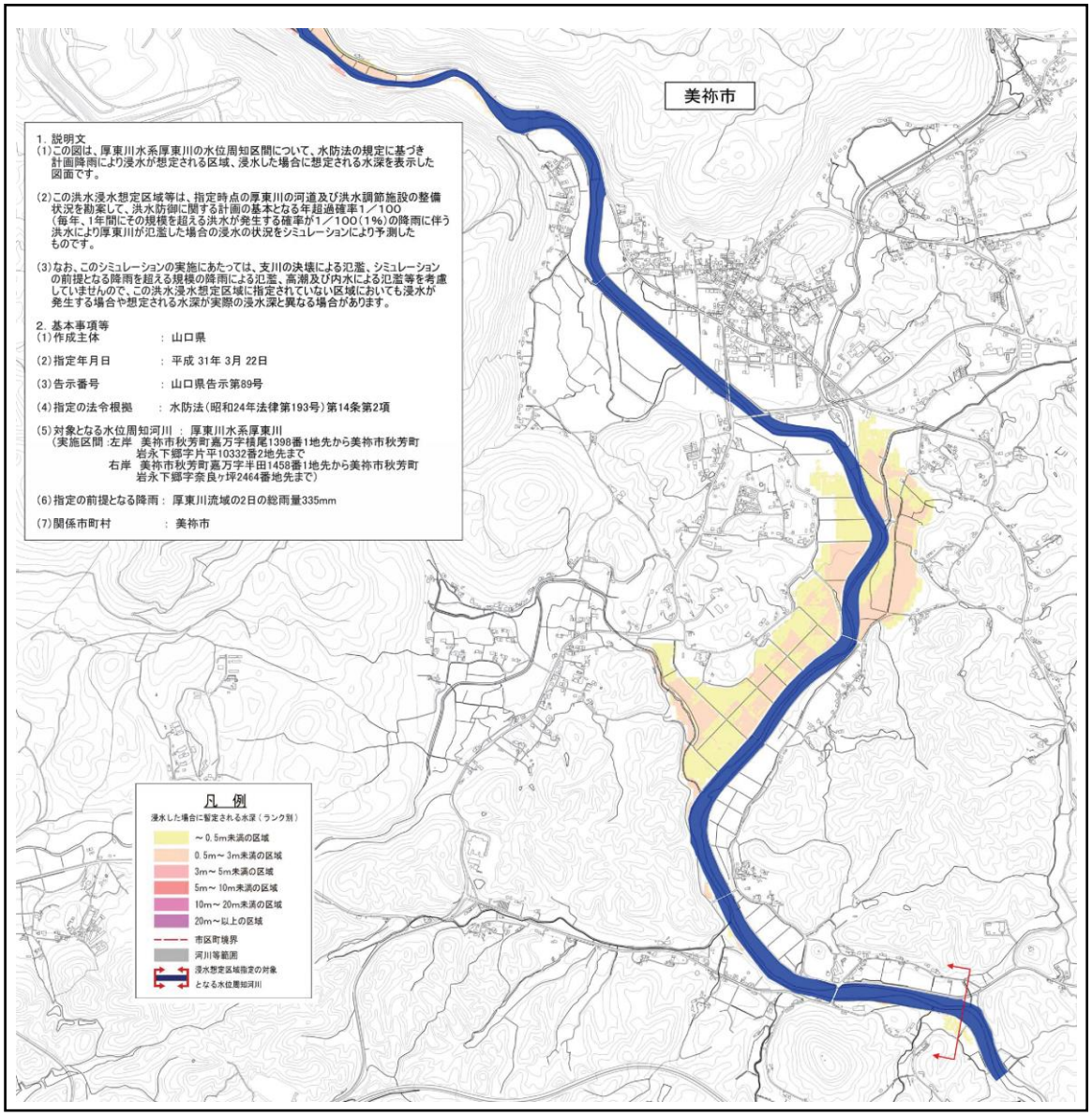


図-資 2　厚東川水系下流域洪水浸水区域図［計画規模］

（「厚東川洪水浸水想定区域図[計画規模]（山口県、平成 31 年 3 月）」より抜粋：https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18600/bousai/20190322005.html）

② 想定最大規模による厚東川洪水浸水区域図

想定最大規模の降雨（1,000 年に 1 度程度の発生確率）により浸水が想定される区域および浸水した場合に想定される水深を示す（図-資 3)。新複合施設の建設候補地は、0.5m～3m 未満の浸水区域に指定されている。

想定最大規模の降雨による洪水が予測される際には、新総合支所は避難場所として適さないため、高台にある秋芳中学校などの避難場所への誘導を行うものとする。ただし、秋芳中学校の周辺に土砂災害の発生が予測される区域があるため、その対応が必要になる。災害対策拠点機能として重要なサーバー室や備蓄倉庫などは、浸水時にも被害を受けにくいような対策を検討する。

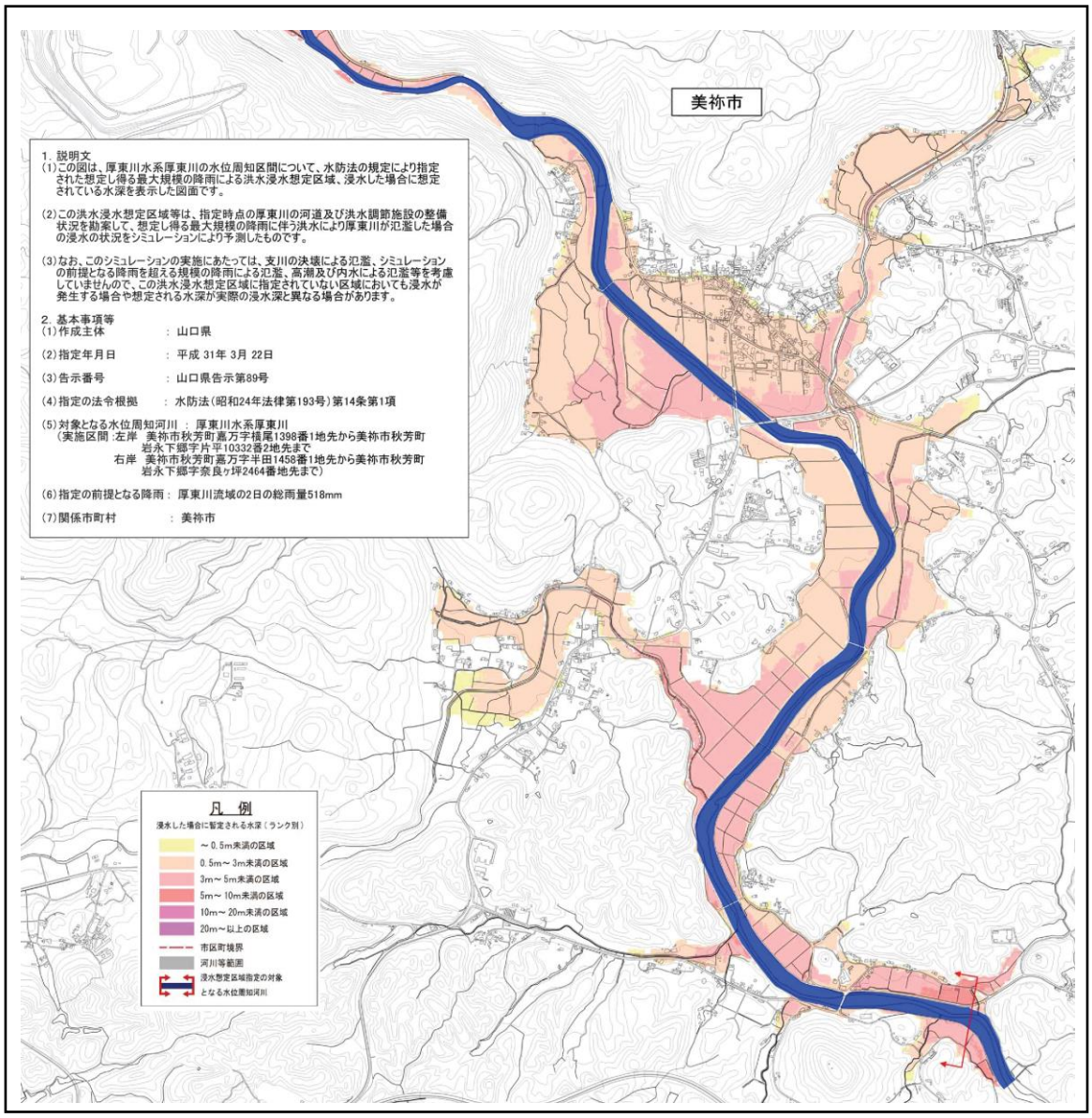


図-資２　厚東川水系下流域洪水浸水区域図［想定最大規模］

（「厚東川洪水浸水想定区域図[計画規模](山口県、平成 31 年 3 月)」より抜粋：https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18600/bousai/20190322005.html）

③ 想定最大規模による浸水継続時間

想定最大規模の降雨（1,000 年に 1 度程度の発生確率）による浸水が発生した際に想定される、浸水継続時間を示す（図-資 4)。想定最大規模による洪水浸水区域図（図-資 3）と併せて見ると、新複合施設の建設候補地は、0.5m～3m 未満の浸水が最長 12 時間継続すると想定されている。ただし、水が抜けにくい場所では、想定よりも浸水継続時間が長くなる可能性がある。

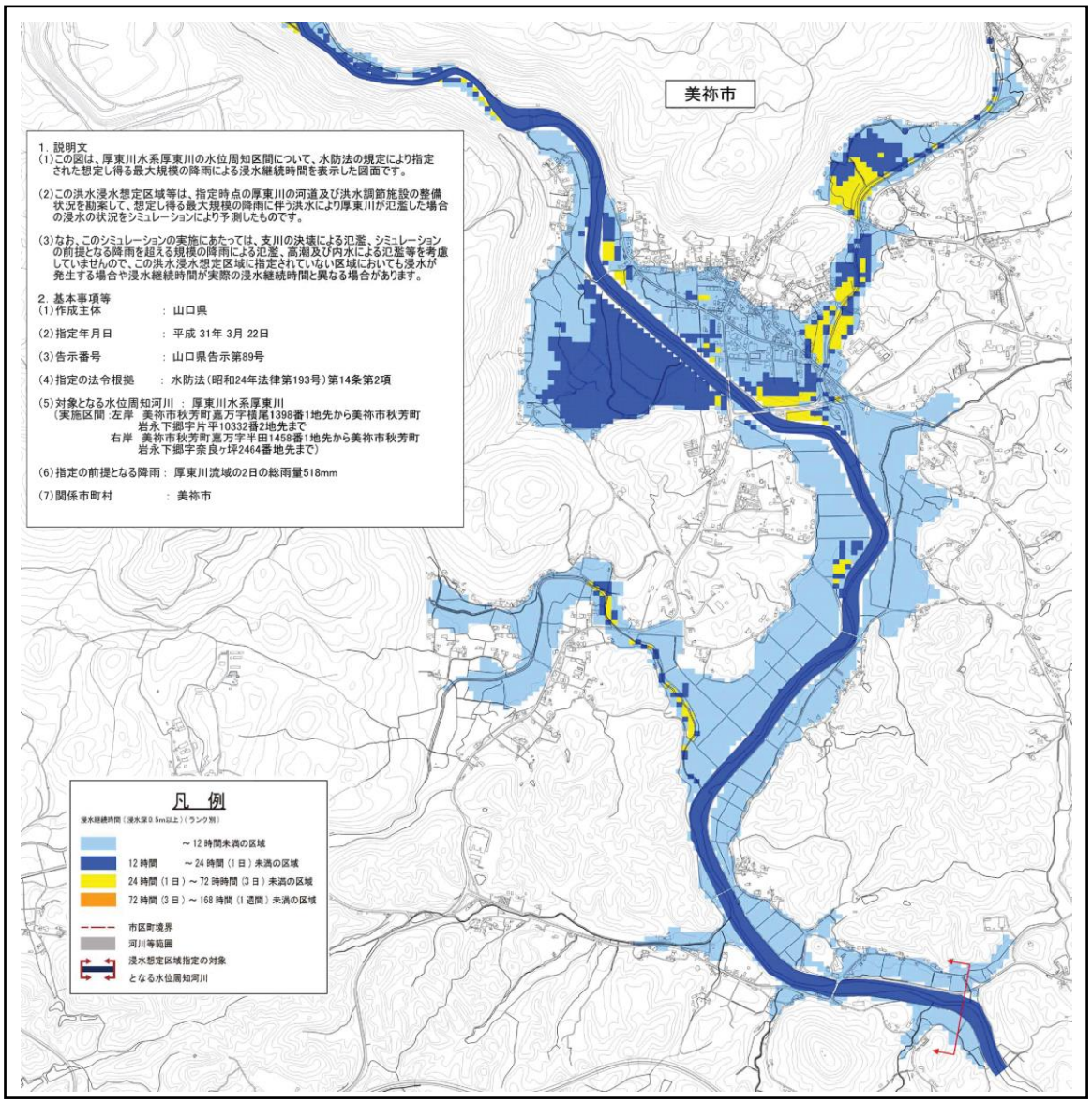


図-資 3　厚東川水系下流域浸水継続時間［想定最大規模］

（「厚東川洪水浸水想定区域図[計画規模](山口県、令和元年年 6 月)」より抜粋：https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18600/bousai/20190322005.html）

資料３　市民ワークショップ・秋芳中学校ワークショップ関連資料

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える市民ワークショップ

第1回

日 時：令和元年 12/14(土) 14:00~16:30

場 所：秋吉公民館 大会議室

ーテーマー

・新しい地域の拠点づくりの全体の流れについて確認します
・ワークショップの目的と流れを説明します
・住民ヒアリングのまとめを報告します
・新しい地域の拠点（総合支所）についての期待をみんなで話し合いましょう
・建設候補地について確認します

ープログラムー

14:00

ステップ1：はじめに

・あいさつ(秋芳総合支所長)
　みんなの拠点づくりワークショップの開催に当たって
・令和元年 7 月に策定した基本構想を振り返ります

14:10

ステップ2：地域の新しい拠点づくりワークショップの流れを説明します

・基本計画、基本設計の進め方について説明します
・ワークショップ全体の流れと今日の進め方について説明します

14:25

ステップ3：グループで自己紹介をしましょう

Q1 あなたが「ここが秋芳の良いところだ(場所、自然、歴史、地域社会、人情…)」と思うことは何ですか？

Q2 これまで、秋芳地域で開催された出来事(行事など)で、「感動したこと(もの)」は、何ですか？

・この2つのことを「自己紹介カード」に書いて下さい
・グループ内で自己紹介カードを紹介して下さい

自己紹介カード
お名前［　　］
住んでいる集落［　　］
〇ここが秋芳の良いところ

〇感動したこと(もの)

14:50

ステップ4：計画チームによる住民ヒアリングのまとめについて報告します

・11/ 10～16 の間に、計画チームが先行して行った、住民ヒアリングのまとめについて報告します

1）地域の現状、課題について
2）総合支所について
3）公民館について
4）図書館について
5）その他、体育館などについて
6）建設場所について

15:20

ステップ5：新しく出来る地域の拠点（総合支所＋公民館＋図書館）が、「・・・だったらいいネ！！」について考えましょう！

・次の①～③について、思いつくことをポストイットに書きましょう。いくつでも結構です

地域の拠点が「…だったらいいネ！」のテーマ

①こんなことが出来たらいいネ！
②こんな場所があったらいいネ！
③こんな地域の拠点はお断り！

・それぞれの項目ごとに、ポストイットを模造紙に貼付けて整理しましょう

・グループごとに、「・・・だったらいいネ！」について、挙がった意見を発表してもらいます

16:20

ステップ 6：まとめ

・今日のまとめと次回のスケジュールを確認します

・感想カードを書いて下さい

秋芳地域 住民ヒアリングのまとめ

まちの現状と、まちが抱える課題

1. 人が少ない、子どもを見かけない
2. みんなが気軽にふらりと集まれる場所がない
3. 買い物をする店がない、食事をする場所がない
4. 子どもを遊ばせるところがない
5. 災害の時、安心して頼れる避難場所がない
6. 車を運転できないとどこへも行けない
7. 施設が老朽化していて、安心して使えない
8. ジオパークについて市民はあまり知らない

公民館は、こんなところになったらいいネ！

1. みんなが気軽に集まれて、一日過ごすことができる場所にしたい
2. 自分の力を振るうことができる、活動の場や発表の場が必要
3. 食を通じた、世代を超えたコミュニケーションの場があるといい
4. 各地区の公民館の中心であり、地域全体のヘソになってほしい
5. イベントの開催や、子どもの遊び場になる広場がほしい

図書館は、こんなところになったらいいネ！

1. 子どもと一緒に利用したくなる場所がいい
2. 秋芳にしかない地域資料を活用することができる場所にしたい
3. 目的によって居場所を選ぶことができる、多種多様なスペースがほしい
4. 新しいことを始めるときに頼りになる、学べる場所にしたい
5. 外から来た人への地域のインフォメーション機能があるといい
6. 利用者同士の出会いやふれあいがある、ワンフロアの空間がいい

総合支所は、こんなところになったらいい

1. 住民の自治を支えるコミュニティの中心となる場所にしたい
2. 明るく、どこに行けば良いか一目でわかる窓口がいい
3. プライバシーが守られて、ゆっくり相談に乗ってもらえる空間が必要

体育館、多目的ホールは、こんなところになったらいいネ！

1. 子どもからお年寄りまで元気になれる、運動・スポーツの拠点にしたい
2. 100 人規模の会合や、文化活動の練習や発表にも利用できる場所だといい
3. 災害時に避難場所として頼りになる場所になるといい

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える
市民ワークショップ便り

No.1
2019.12.26

※ワークショップ(WS)とは、参加者がグループに分かれて意見やアイデア出し合い、意見をまとめていく話し合いの手法です。

市民ワークショップ第１回目を開催しました！

秋芳総合支所と秋吉公民館と秋芳図書館を一体的に整備し、新しい拠点をつくる計画づくりがスタートしました。

12月14日、第1回目の市民ワークショップを開催しました。市民29名の参加があり、支所職員、計画グループ、総勢40名弱が５つのテーブルに分かれて、意見を出し合いました。

人口が減り、子ども達が少なくなっていく中で、安心して暮らしていくために、どんなことが出来たらよいのか、どんな場所があったら良いのか、さまざまな意見が出され、会場は大いに盛り上がりました。みんなで考え、力を合わせて、自分たちの暮らしに必要な施設のあり方を探り、施設の姿をつくりあげていけたらと思います。

次回は、今回出された意見をもとに、施設全体のあり方を考えたいと思います。暮らしやすい地域をつくって行くためには皆さんの知恵と力が必要です。２回目からの参加も大歓迎です！皆さんの参加をお待ちしています。

多くの市民に参加いただき、新しい拠点について意見を出し合いました！

第１回市民ワークショップ プログラム

ステップ1　はじめに

ステップ2　新しい拠点づくりの流れとワークショップの目的を説明

ステップ3　グループ内で自己紹介＋「ここが秋芳のいいところ」
グループ内で自己紹介をし、「ここが秋芳のいいところ」、「秋芳地域での出来事などで感動したこと」などを語り合い、地図上にまとめました。

ステップ4　住民ヒアリングのまとめについて説明

ステップ5　新しくできる拠点が「…だったらいいネ！」
新しくできる拠点が「…だったらいいネ！」、「こんな拠点はお断り！」についてグループで話し合い、意見をまとめて発表しました。

ステップ6　まとめ

ステップ3の作業風景。各グループで、秋芳のいいところや、感動したことなどを語り合い、地図上にまとめました。

秋吉台、秋芳洞、山焼き、花火大会、秋芳運動会、岩永大行司、弁天池、白糸の滝、日峯川、青景のホタル、自然がきれい、人情がある、など、様々な良いところ、感動した出来事が語られました。

みんなで考える 新しい拠点づくりの流れ

◎第1回ワークショップ　12/14(土)
- 秋芳地域の魅力と抱える課題
- こんな複合施設だったらいいな！

↓

◎秋芳中学校ワークショップ　1/17(金)

◎第2回ワークショップ　1/18(土)
- 建設場所について
- 総合支所のつくり方
- 公民館のつくり方
- 図書館のつくり方

次回開催

↓

◎第3回ワークショップ　2/15(土)
- 総合支所、公民館、図書館が複合する魅力のつくり方
- 外部空間のつくり方
- 解体跡地の利用方法

↓

◎第4回ワークショップ　4/11(土)
- 基本計画について説明
- パブリックコメントの実施
  ＋住民説明会 5回実施

↓

基本計画のとりまとめ

↓

◎第5回ワークショップ
- 配置、平面計画をみんなで考えよう
- 内部と外部空間のイメージを考えよう

↓

◎第6回ワークショップ
- 平面計画、断面計画をみんなで確認
- 建物の外観イメージを検討しよう
- 建物の性能を比較しよう

↓

基本設計のとりまとめ

↓

実施設計

新しい拠点が「…だったらいいネ！」について、各グループで挙がった意見を整理してまとめました！！

各グループで挙がった「こんなことが出来たらいいネ！」、「こんな場所があったらいいネ！」についての意見を計画グループが持ち帰り、整理してまとめました。

1．みんなが気軽に集まれて、家のようにくつろげる団らんの場所
2．練習や発表の場(ギャラリー、ステージ)があって、活動が展開できる
3．イベントやスポーツにも使える、多目的で柔軟なスペース
4．子どもを遊ばせるスペースや、一時預かりの仕組みがあって、子育て世代も気楽に立ち寄れる
5．支所＋お店や銀行など、ここに来れば一度に色んな用事が済む場所
6．地域の情報を発信して、地元の人も外から来た人も一緒に楽しめる
7．公共交通が集まる、地域の交通の拠点

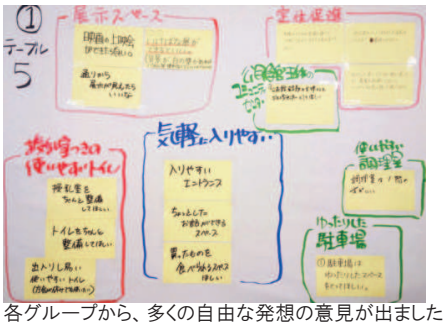
そのほかのいろいろな「…だったらいいネ！」で出た意見

○お茶や軽食ができる場所 ○ゆったりした駐車場
○バリアフリー ○平屋の建物 ○木の温もりを感じられる
○利用のルールが堅苦しくない ○分かりやすい案内 等

「こんな地域の拠点はお断り！」で挙がった意見

×入りにくい、集まりにくいところ ×暗い雰囲気
×一部の人たちだけの施設 ×維持費がかかりすぎる
×地域の雰囲気に合わない ×災害に耐えられない 等

参加者の皆さんは、各グループの発表に耳を傾けて聞いていました



各グループから、多くの自由な発想の意見が出ました

参加して下さった方の感想カードの中から、一部を紹介します。

●いろんな人の視点での意見を聞けて、自分と違ったり、自分が思いつかないことがたくさんありました。こうやって多くの意見が出れば、どんどん良くなって素晴らしいものができると思います。
●活気のある意見がたくさん出ました。現実離れしたものも多々ありましたが、夢を語るってすばらしいと感じました。もっと20代30代の出席があれば良いと思いました。
●自分は行けないから代わりに行ってもらえないかと言われて参加しましたが、住民が主体的に考えてまちづくりに参加できるという良い機会に出会えて良かったと思います。もっと広く参加をうながすような取り組みが必要では？参加すれば参加してよかったと思う人が私のように多いと思います。

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える
第2回市民ワークショップを開催します！

日時：令和2年 1月18日(土) 14:00～16:30
会場：秋吉公民館 大会議室

事前申込不要
誰でも参加ＯＫ！

2回目からの参加も大歓迎！
世代・地区に関わらず多くの方のご参加をお待ちしています。

第2回市民ワークショップの内容
・建設場所について
・総合支所、公民館、図書館のつくり方について

○問い合わせ先
〒754-0511 美祢市秋芳町秋吉5335-1
美祢市秋芳総合支所 総合窓口課
電話:0837-62-1910　fax:0837-62-1828
メール:s-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp
基本計画・基本設計策定業務受託事務所
株式会社 龍環境計画(03-3383-8673)

市民WS便り発行：美祢市秋芳総合支所 総合窓口課

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える市民ワークショップ

第2回

日 時: 令和 2年 1/18(土) 14:00~16:30

場 所: 秋吉公民館 大会議室

－テーマ－

・第１回市民ワークショップを振り返ります。
・新しい拠点が備えるべき基本要素について確認し、空間の関係図を考えます。
・建設候補地について、状況を説明します。

－プログラム－

14:00
ステップ1: はじめに

・あいさつ
・建設候補地について現在の状況を説明します

14:10
ステップ2: 第２回市民ワークショップの目的と流れを説明します

14:15
ステップ3: 第１回市民ワークショップを振り返ります

・第１回市民ワークショップの成果を確認します（資料-1、資料-2、資料-3）

14:30
ステップ4: 第１回市民ワークショップの成果を基に計画チームが整理した、「新しい地域の拠点が備えるべき機能」について説明します

・第１回市民ワークショップの中で出された意見、ヒアリングで出された意見などを整理して、**施設づくりの目標と備えるべき4つの要素、目標を実現するために必要な機能、そのために必要な場所・空間**、にまとめました。その内容について説明します。（資料-4）

・整理したシートに対して、各グループで話し合い、全体の考え方に対する意見、不足している内容、不要な内容等があれば自由に修正して下さい。

14:50

ステップ 5：ステップ4で整理した「必要な場所・空間」について相互の関係を考えながら、「空間の関係図」をつくってみましょう！

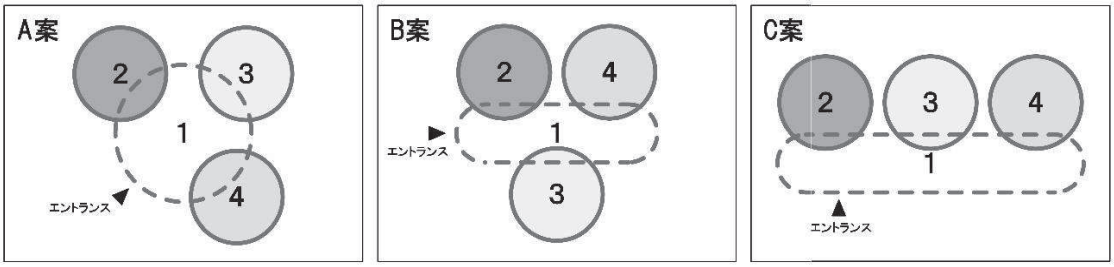
◎作業の前提条件について整理します

1）ステップ４ で、確認した「必要な場所・空間」を基に作業します。

2）建設候補地について、現状を報告します。（資料-5）

◎作業の手順について説明します

1）備えるべき4つの要素のつながり方について、大きく3つのタイプを　用意しました。各グループで検討し、そのタイプの中からひとつを選んでください。3つ以外の独自の考え方でも結構です。



2）その台紙の上に色紙の中の必要だと思う空間要素を切り取り、入口の位置を決め、空間要素相互の関係を考えながら貼付けてください。必要な空間要素がなければ新たに描き加えて下さい。

3）ロビー等の共有空間については、マジックで書き加えて、「空間の関係図」を完成させて下さい。空間の関係図の例を説明します。

・グループで考えた「空間の関係図」に特徴を示すタイトルをつけてみましょう！

・グループで考えた「空間の関係図」を全体に発表しましょう！

16:20

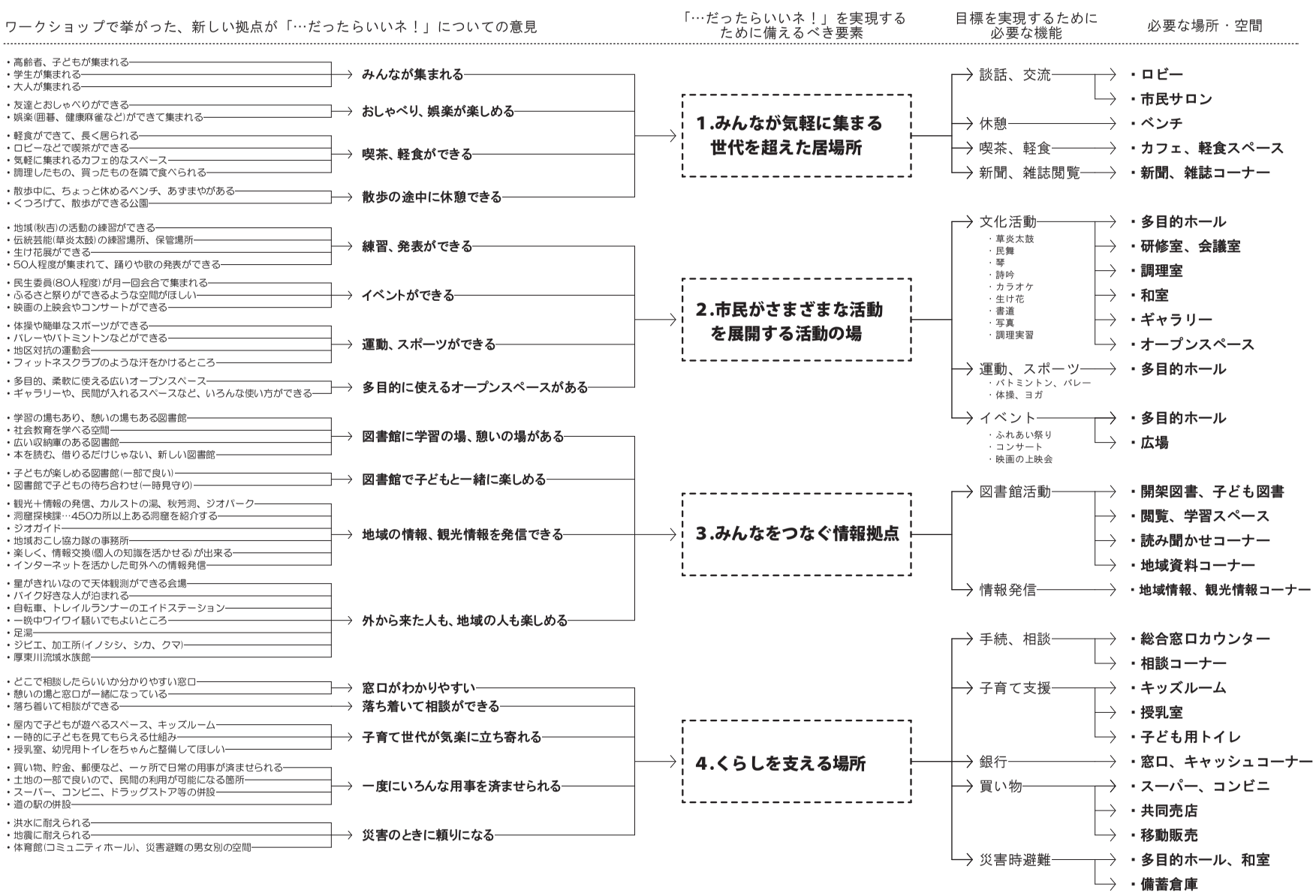
ステップ 6：まとめ

・今日のまとめと次回のスケジュールを確認します

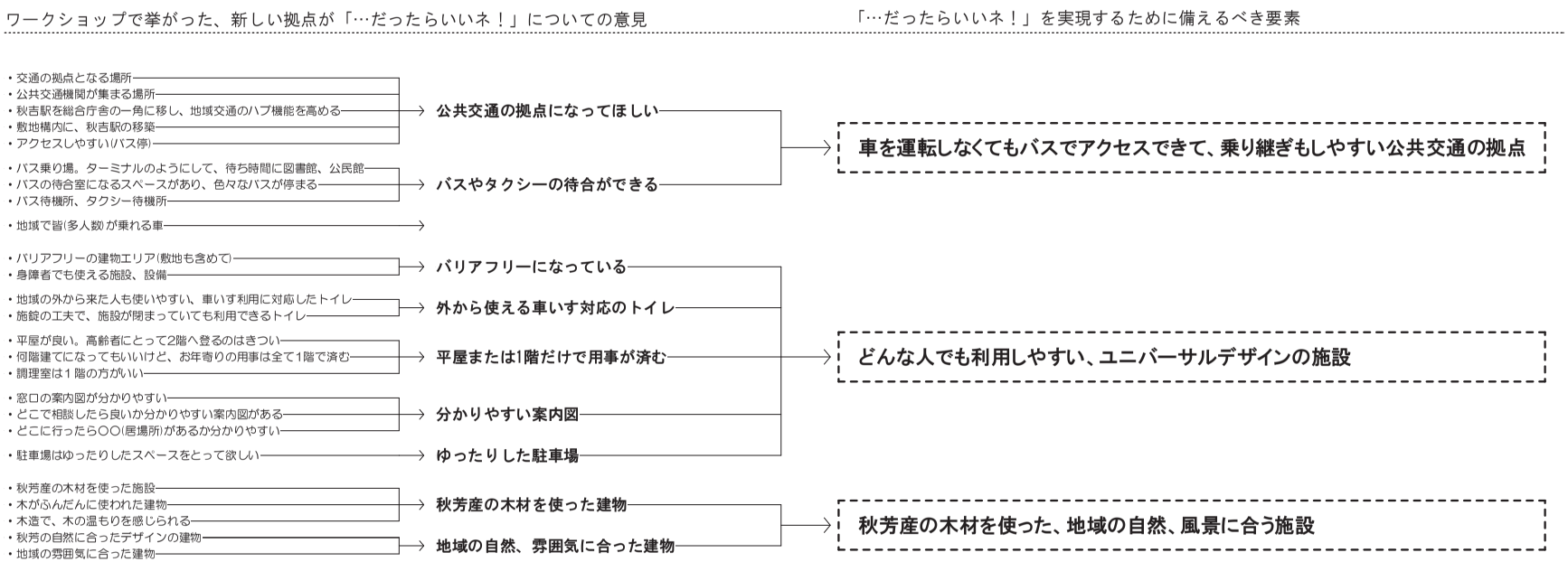
・感想カードを書いて下さい

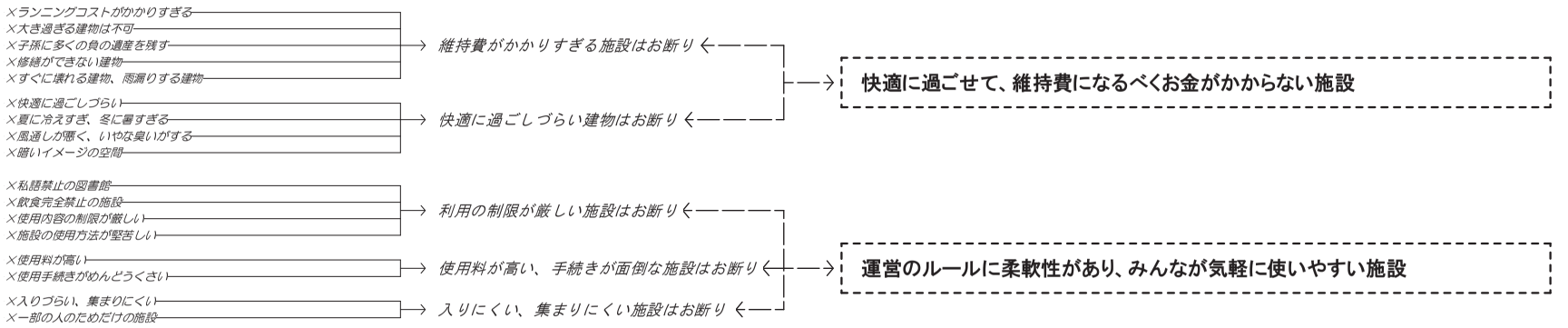
新しい地域の拠点が「…だったらいいネ！」のまとめー1

資料-2

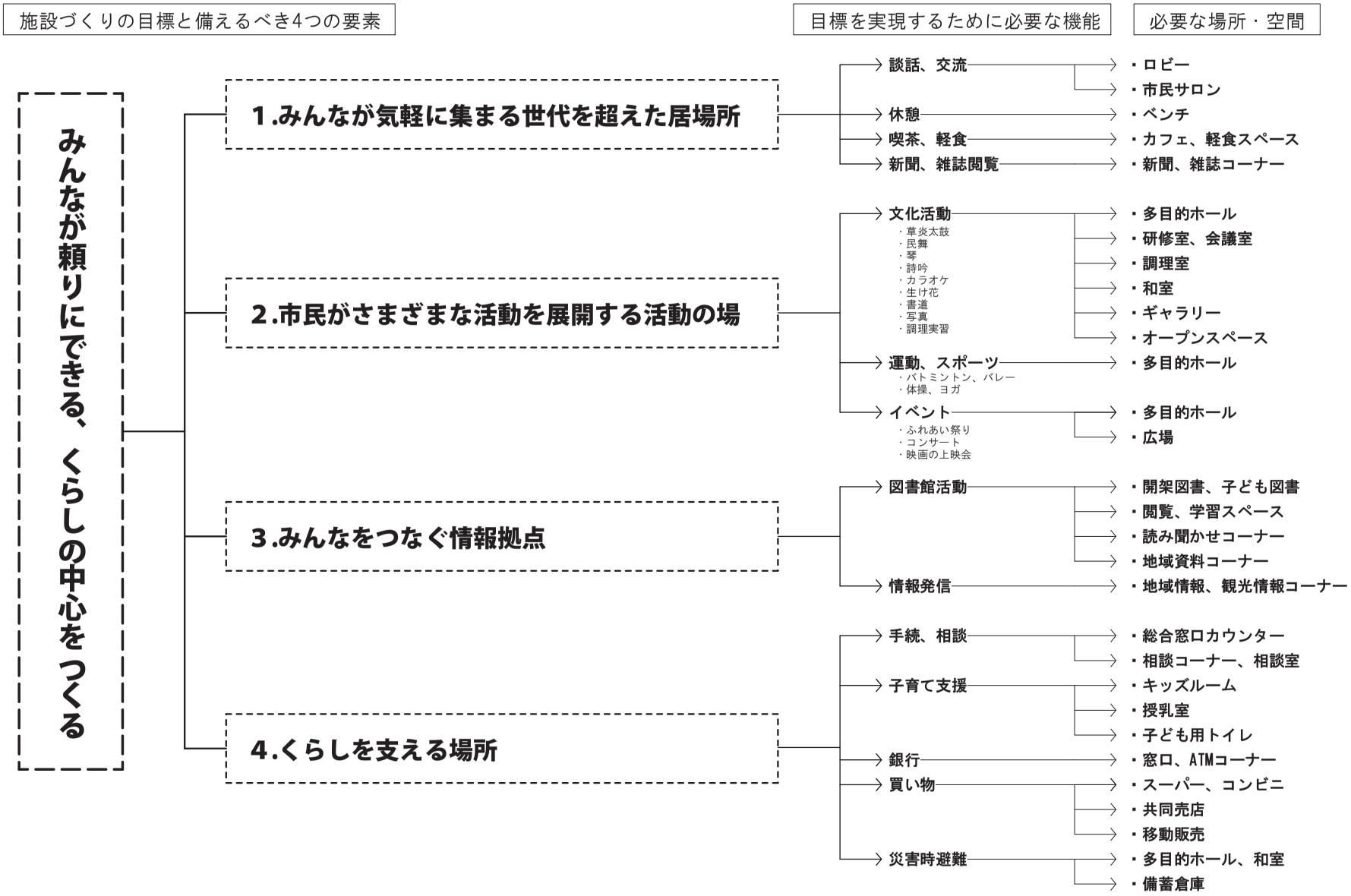


新しい地域の拠点が「…だったらいいネ！」のまとめー2





施設づくりの目標と備えるべき4つの要素、目標を実現するために必要な機能、場所・空間　資料-4



建設候補地の比較検討

	A案　総合支所の解体跡地に、新総合支所を建設する	B案　公民館と図書館の解体跡地に、新総合支所を建設する	C案　体育館の解体跡地に、新総合支所を建設する
配置計画のイメージ			
施設整備の手順	1. 総合支所から仮設施設への引越、既存総合支所の解体 2. 解体跡地に新総合支所の建設 3. 仮設支所、既存公民館、既存図書館から新総合支所へ引越 4. 既存公民館、図書館の解体、跡地整備 5. 施設全体完成	1. 公民館、図書館から仮設施設への引越、既存公民館、図書館の解体 2. 解体跡地に新総合支所の建設 3. 仮設公民館･図書館、既存総合支所から新総合支所へ引越 4. 既存総合支所の解体、跡地整備 5. 施設全体完成	1. 既存体育館の解体 2. 解体跡地に新総合支所の建設 3. 新総合支所完成後、既存総合支所、公民館、図書館から引越 4. 既存総合支所、公民館、図書館の解体、跡地整備 5. 施設全体完成

評価項目		評価		評価		評価	
安全性		老朽化した、旧耐震基準の体育館が敷地内に残る	×	老朽化した、旧耐震基準の体育館が敷地内に残る	×	敷地内のすべての建物が新耐震基準となる	◎
利便性	駐車場	新総合支所の近くに十分な駐車場が確保できない	×	新総合支所の近くに十分な駐車場が確保できない	△	新総合支所の近くに十分な駐車場が確保できる	◎
経済性	仮設施設	総合支所機能を維持するために必要、費用大	×	公民館および図書館機能を維持するために必要、費用大	×	中学校体育館等を代替利用すれば不要 （秋芳体育館は、旧耐震基準であること、雨漏りがあることなどから、現状の利用は少ないため、中学校体育館等で代替利用が可能であると考えられる）	△
	引越し	整備期間中に総合支所の引越しが2度あり、負担大	×	整備期間中に公民館、図書館の引越しが2度あり、負担大	×	体育館の引越しは負担が少ない	○

比較検討結果：　秋芳体育館を解体し、その跡地に新総合支所を建設することが安全性、利便性、経済性の面で最も優れている。

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える
市民ワークショップ便り

No.2
2020.1.27

※ワークショップ(WS)とは、参加者がグループに分かれて意見やアイデアを出し合い、意見をまとめていく話し合いの手法です。

活発な議論がはじまりました！

第２回市民ワークショップも多くの市民の参加があり、白熱した議論がはじまりました。
まず、市民ヒアリングや第１回市民ワークショップの成果を基にして、秋芳地域の新しい拠点が備えるべき要素等について、計画チームが整理したものを説明しました。その上で、それぞれに必要な場所や空間について抜けているものがないかなど、グループ毎に確認しました。
次のステップでは、色紙の大・中・小の円で示した必要な空間を、はさみで切り取り、相互の関係を考えながら計画図をつくりました。計画内容を示すキャッチコピー等をつけて全体で発表し、会場は大いに盛り上がりました。
また、建設位置についても、現実的な条件を整理し、最適な場所について議論しました。
次回は、今回のワークショップで皆さんに考えて頂いた空間の関係図を、具体的な空間に置き換えて行くとても面白い段階です。皆さんで知恵を絞りましょう！
３回目からの参加も大歓迎です！皆さんの参加をお待ちしています。

今回も多くの市民の皆さんに参加いただきました！

第2回市民ワークショップ(1/18) プログラム

ステップ1　はじめに
ステップ2　第2回市民ワークショップの目的と流れを説明
ステップ3　第1回市民ワークショップの成果を確認
ステップ4　第1回市民ワークショップの成果を基に計画チームが整理した、
「新しい地域の拠点が備えるべき基本要素」について説明
ワークショップやヒアリングでの意見を紹介し、施設づくりの目標と備えるべき4つの基本要素、必要な場所・空間などについて確認しました。
ステップ5　**「必要な場所・空間」について相互の関係を考えながら、「空間の関係図」をつくる**
ステップ4で確認した必要な場所・空間について、色紙で用意した空間カードを使って、空間相互の関係を考えながら、各グループで計画図をつくりました。
ステップ6　まとめ

みんなで考える 新しい拠点づくりの流れ

◎第1回ワークショップ　12/14(土)
- 秋芳地域の魅力と抱える課題
- こんな複合施設だったらいいな！

↓

◎秋芳中学校ワークショップ　1/17(金)

◎第2回ワークショップ　1/18(土)
- 建設場所について
- 必要な場所・空間の相互関係

↓

◎第3回ワークショップ　2/15(土)
- 公民館、図書館、総合支所が複合する魅力のつくり方
- 外部空間のつくり方
- 解体跡地の利用方法

次回開催

↓

◎第4回ワークショップ　4/11(土)
- 基本計画について説明
- パブリックコメントの実施
　＋住民説明会 5回実施

↓

基本計画のとりまとめ

↓

◎第5回ワークショップ
- 配置、平面計画をみんなで考えよう
- 内部と外部空間のイメージを考えよう

↓

◎第6回ワークショップ
- 平面計画、断面計画をみんなで確認
- 建物の外観イメージを検討しよう
- 建物の性能を比較しよう

↓

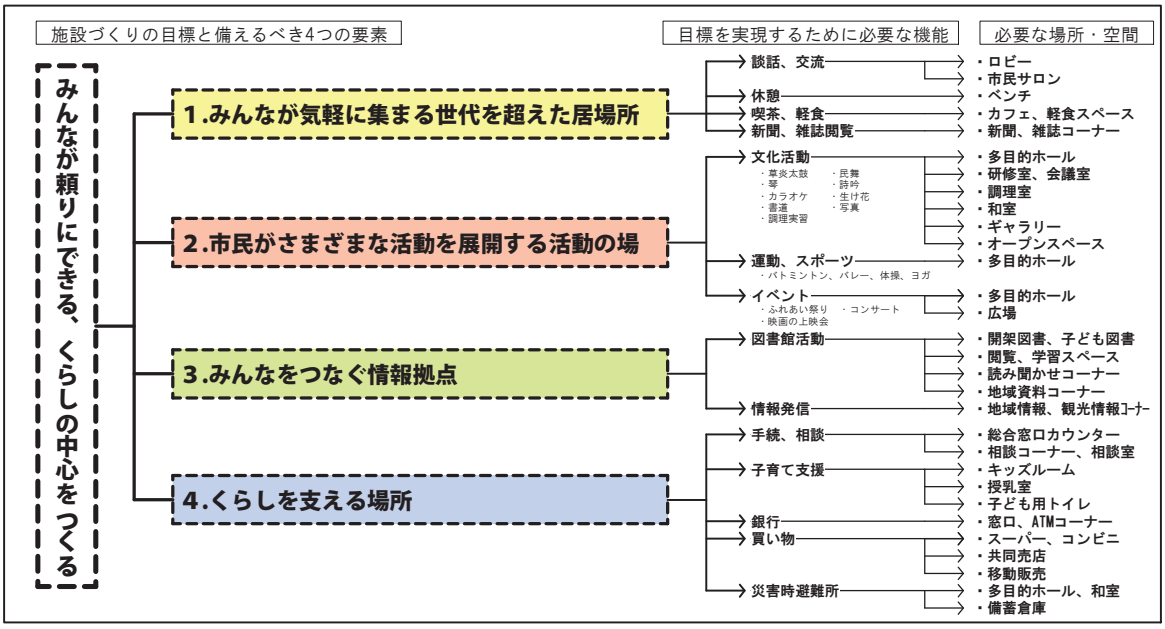
基本設計のとりまとめ

↓

実施設計

新しい地域の拠点が備えるべき基本要素について、整理した内容を確認しました。

第1回市民ワークショップや、個別ヒアリングの中で出された意見を整理して、**施設づくりの目標と備えるべき4つの基本要素**、**目標を実現するために必要な機能**、そのために**必要な場所・空間を**まとめました。
その内容を、第2回市民ワークショップの中で説明し、不足しているものがないかみんなで確認しました。



第1回市民ワークショップ、市民ヒアリングで出された意見を整理して、説明しました。

ワークショップやヒアリングで出された意見を整理して、施設づくりの目標となる要素にまとめたものを説明しました。
ここではその一部を掲載しています。

ワークショップなどで挙がった、「新しい拠点が…だったらいいネ！」、「こんな施設はお断り！」についての意見の集約（一部）	「…だったらいいネ！」を実現するための、新しい地域の拠点づくりの目標となる要素
公共交通の拠点になってほしい バスやタクシーの待合ができる バリアフリーになっている	車を運転しなくても公共交通を使って利用しやすい施設
外から使える車いす対応のトイレ 平屋または1階だけで用事が済む 分かりやすい案内図 ゆったりした駐車場	どんな人でも利用しやすい、ユニバーサルデザインの施設
秋芳産の木材を使った建物 地域の自然、雰囲気に合った建物	秋芳産の木材を使った、地域の自然、風景に合う施設
維持費がかかりすぎる施設はお断り *快適に過ごしづらい建物はお断り*	快適に過ごせて、維持費になるべくお金がかからない施設
利用の制限が厳しい施設はお断り *使用料が高い、手続きが面倒な施設はお断り* *入りにくい、集まりにくい施設はお断り*	運営のルールに柔軟性があり、みんなが気軽に使いやすい施設

新しい拠点に必要な場所・空間を確認して、空間相互の関係を考えながら計画図をつくりました！

まず、新しい拠点に必要な場所・空間について、各グループで確認してもらいました。その後、必要だと思う場所・空間を、それぞれの位置関係を考えながら並べて施設の計画図をつくり、全体の場で発表してもらいました！

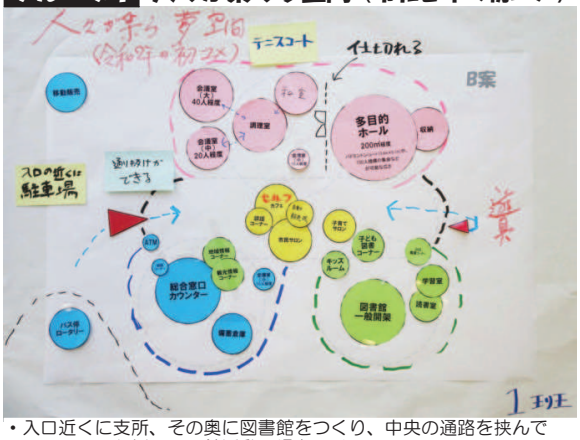
各グループで、新しい拠点に必要な場所・空間や、そのつながりについて、活発に意見を交わしながら作業を進めました。

色紙で用意された場所・空間の中から、必要だと思うものをハサミで切り取って、それぞれの位置関係を考えながら計画図をつくりました

各グループでつくった計画図に、特徴を示すキャッチコピーをつけて、全体の場で発表しました。

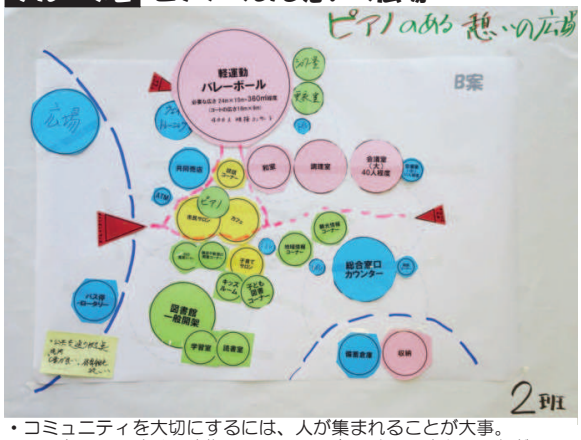
各グループで作った空間関係図と、それぞれの案に込められた想いを紹介します！

グループ1　人々が集う夢空間（令和2年の初ユメ）



- 入口近くに支所、その奥に図書館をつくり、中央の通路を挟んでテニスコート側に公民館活動の場をつくる。
- 周辺に学校体育館があるので、大きな体育館はこれ以上つくらないが、多目的ホールは、100人程度の集会や、軽運動が出来る広さにする。
- 中央の通路にはセルフでお茶を飲めるカフェや市民サロンなどがあり、その近くに子育てサロンなどがある。
- 中央の通路を通り抜けた先に、子どもが遊べる場所がある。
- みんながここに集まって来やすくて、大抵の用事はここで済むというような場所にしたい。

グループ2　ピアノのある憩いの広場



- コミュニティを大切にするには、人が集まれることが大事。
- 入口を入ってすぐの建物のメインに、市民サロンやカフェなどのみんなの憩いの広場があり、公民館機能、図書館機能がその周りに広がっている。
- バレーボール程度の運動ができる空間をつくり、その外部に広場を設け、天気によらず人が集まれるようにする。
- 運動ができる空間にトレーニング施設を併設し、健康づくりを推進して、みんなが元気になれるような場所を目指す。更衣室、シャワー室も必要。
- 憩いの場所にピアノが欲しい。

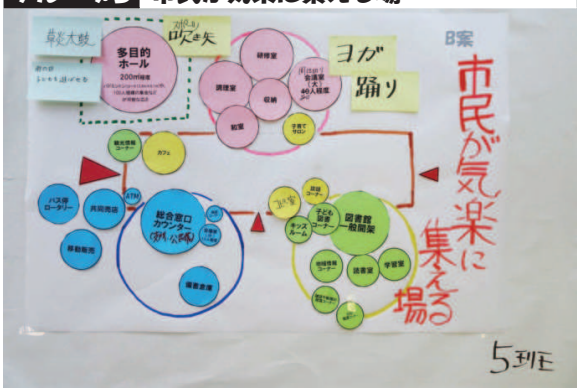
グループ3　ロビーに立てば こりゃ便利!!

- 施設の中心のロビーに立てば、全部の機能が一目瞭然でわかるという構成。ロビーは市民が集う場として、多目的に。
- エントランスにはものすごく大きな庇を設け、バス停、郵便局、移動販売、屋外トイレなどの機能を隣接させる。
- 入口近くには観光情報と、受付を一箇所にまとめた窓口。
- 調理室はカウンター越しにロビーと繋がり、カフェにもなる。
- 多目的ホールは、天井が高くなることや防音などを考慮して別棟にして、その分、公民館と図書館を充実させる。
- 図書館の書庫、郷土資料を保管するスペースが必要。

グループ4　おいでませ秋芳

- おいでませ秋芳、というキャッチコピーが表すように、大事なのは誰でも来やすい建物であること。
- 入口を入ると、市民サロンや、カフェ、情報コーナーなどがあるオープンスペースになっていて、そこを通って行きたいところに行く。
- 移動販売、共同売店、コンビニなどの、買い物ができる施設は、建物とは別として考える。
- 屋内のトイレとは別に、休館日でも使える外からのトイレが必要。

グループ5　市民が気楽に集える場



- 多目的ホールは必要だが、一体で建てると面積が大きくなりすぎると思ったので、多目的ホールは別棟で考えた。
- メインエントランスの近くに、インフォメーション機能を併せた総合窓口(支所+公民館)をつくる。
- 小さい会議室があると面積が膨らむので、80人程度で利用できる大きな部屋を仕切って使い回しが出来るようにする。
- 図書館は、読書室やキッズコーナーなどを考えると、既存の床面積くらいは確保してほしい。
- 子育てサロンなどは保健センターの有効活用も考えてみてはどうか。

参加者の皆さんに考えてもらった5つの計画図は、計画チームが整理をして、次回のワークショップで具体的な空間に置き換えた計画素案について議論したいと思います！

建設場所について、現在の状況を説明し、議論を行いました！

新総合支所の建設場所について、（A）現在の総合支所、（B）現在の公民館および図書館、（C）現在の体育館、の３案を比較検討した内容をもとに、各グループで議論しました。**体育館が老朽化していることや、旧耐震基準のままであることなどから、まず体育館を解体して、その跡地に新総合支所を建てる案が現実的である**との評価が大勢を占めました。ただし、**解体する体育館が担っている機能をどのように維持するのか**、次回のワークショップで議論を深めていく必要があります。

	A案　総合支所の解体跡地に、新総合支所を建設する		B案　公民館と図書館の解体跡地に、新総合支所を建設する		C案　体育館の解体跡地に、新総合支所を建設する	
配置計画のイメージ						
施設整備の手順	1. 総合支所から仮設施設への引越、既存総合支所の解体 2. 解体跡地に新総合支所の建設 3. 仮設支所、既存公民館、既存図書館から新総合支所へ引越 4. 既存公民館、図書館の解体、跡地整備 5. 施設全体完成		1. 公民館、図書館から仮設施設への引越、既存公民館、図書館の解体 2. 解体跡地に新総合支所の建設 3. 仮設公民館・図書館、既存総合支所から新総合支所へ引越 4. 既存総合支所の解体、跡地整備 5. 施設全体完成		1. 既存体育館の解体 2. 解体跡地に新総合支所の建設 3. 新総合支所完成後、既存総合支所、公民館、図書館から引越 4. 既存総合支所、公民館、図書館の解体、跡地整備 5. 施設全体完成	
評価項目	評価		評価		評価	
安全性	老朽化した、旧耐震基準の体育館が敷地内に残る	×	老朽化した、旧耐震基準の体育館が敷地内に残る	×	敷地内のすべての建物が新耐震基準となる	◎
利便性　駐車場	新総合支所の近くに十分な駐車場が確保できない	×	新総合支所の近くに十分な駐車場が確保できない	△	新総合支所の近くに十分な駐車場が確保できる	◎
経済性　仮設施設	総合支所機能を維持するために必要、費用大	×	公民館および図書館機能を維持するために必要、費用大	×	中学校体育館等を代替利用すれば不要	△
経済性　引越し	整備期間中に総合支所の引越しが2度あり、負担大	×	整備期間中に公民館、図書館の引越しが2度あり、負担大	×	体育館の引越しは負担が少ない	○

参加者の感想カードの中から、一部を紹介します。

●今までの意見が具体的に形になっていくのが見えてよかったです。他の班の意見もいろいろ聞けてよかったです。
●一回目を欠席したのですが、二回目、とても楽しいひとときでした。これからの秋芳がすばらしい町に変わっていってくれればと思います。私がその一員だったと思えるようにがんばりたいです。次にも出席します。
●今回のワークショップで大分建設のイメージができてきた。より具体的な内容に入り、よい建物にしたい。
●グループで考えることでいろいろな発想が出てきたり考え方の違いもありますが、意見が反映され素晴らしいものが完成するといいなー。と思っています。早く設計図が見たい気持ちです。
●行政の目線はあくまでも「コミュニティ」をいかに大事に作っていくかであり、建物作りの考え方、目線も同じ方向で考えなくてはと思うが、なかなかに難しいことであると感じている。

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える

第3回市民ワークショップを開催します！

日時：令和2年 2月15日（土） 14:00～16:30

会場：秋吉公民館 大会議室

事前申込不要
誰でも参加ＯＫ！

３回目からの参加も大歓迎！

世代・地区に関わらず多くの方のご参加をお待ちしています。

第3回市民ワークショップの主な内容
・公民館、図書館、総合支所が複合する魅力のつくり方
・外部空間のつくり方、解体跡地の利用方法

○問い合わせ先

〒754-0511 美祢市秋芳町秋吉5335-1
美祢市秋芳総合支所 総合窓口課
電話:0837-62-1910　fax:0837-62-1828
メール:s-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp
基本計画・基本設計策定業務受託事務所
株式会社 龍環境計画(03-3383-8673)

市民WS便り発行：美祢市秋芳総合支所 総合窓口課

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える市民ワークショップ

第3回

日　時：令和2年　2/15(土) 14：00～16：30

場　所：秋吉公民館２階 大会議室

－テーマ－

- 第2回 WS を振り返ります。
- 第2回 WS で考えた「空間の関係図」を基に、作成した「空間の構成図」について検討します
- 体育館機能の維持について比較検討し、方針を共有します

－プログラム－

14:00
ステップ１：はじめに

・あいさつ(秋芳総合支所長)

14:10
ステップ２：第３回ワークショップの目的と流れを説明します

・第3回ワークショップの目的と流れを説明します。

14:15
ステップ３：第２回ワークショップを振り返ります

・みんなでつくった「空間の関係図」について確認します。(資料-第2回市民 WS 便り)

14:30
ステップ４：「空間の関係図」を基に作成した「空間の構成図」について説明します

- みんなでつくった「空間の関係図」を簡略化したものを説明します。(資料-1)
- 簡略化した「空間の関係図」を分類し、大きく2つのタイプに整理し、「空間の構成図」を作成しました。その内容について説明します。(資料-2)

14:50
ステップ５：解体することになる体育館機能についての考え方を整理します。

- 解体することになる秋芳体育館の機能の継承についての考え方を、2つのケースに整理しました。その内容について説明します。（資料-3）
- それぞれの考え方について、グループごとに話し合って下さい。

15:00
ステップ６：公民館機能を担う所要室の構成に関して、これまでの秋吉公民館の利用実績を基に提案します。

- 2018年度の秋吉公民館の利用実績をもとに、必要な緒室の構成について提案します。グループごとに話し合って、所要室の構成について確認して下さい。（資料4）

15:10
ステップ７：４つの「空間の構成図」の案を提案します。それぞれの案について、グループ毎に評価シートの項目に基づいて評価します

・これまでの作業を基に作成した４つの「空間の構成図」について説明します。

＊ 提示する「空間の構成図」は、建築空間のつくり方と、体育館の考え方を含んだ提案となっています。双方を加味して評価をして下さい。

1. 別紙の評価項目に基づいてそれぞれのタイプを評価して、最も高い評価の案を一つ選んでシートに◎をつけてください。
2. 意見が割れた提案があれば2番目の提案を 1 つ選んでシートに〇をつけてください。
3. グループ毎に各案の評価を発表してください。

16:00
ステップ８：どのタイプの提案が良いかみんなで考えましょう

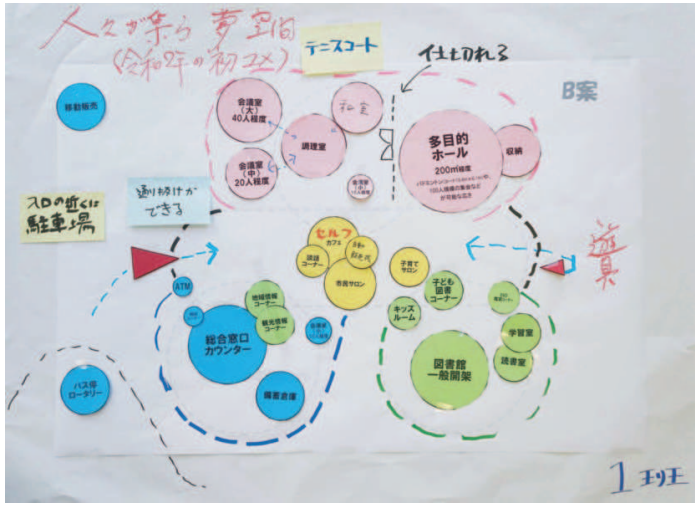
・総合的に考えて秋芳地域に相応しい建設場所、および「空間の構成」は現時点でどのタイプが相応しいか？を個人の考えで選んでください。（タイプ毎に票を集計します）
・最も多く選ばれた「空間の構成」のタイプをもとに、改善点などを全体で議論し、今後の検討のベースとなる考え方について共有します。

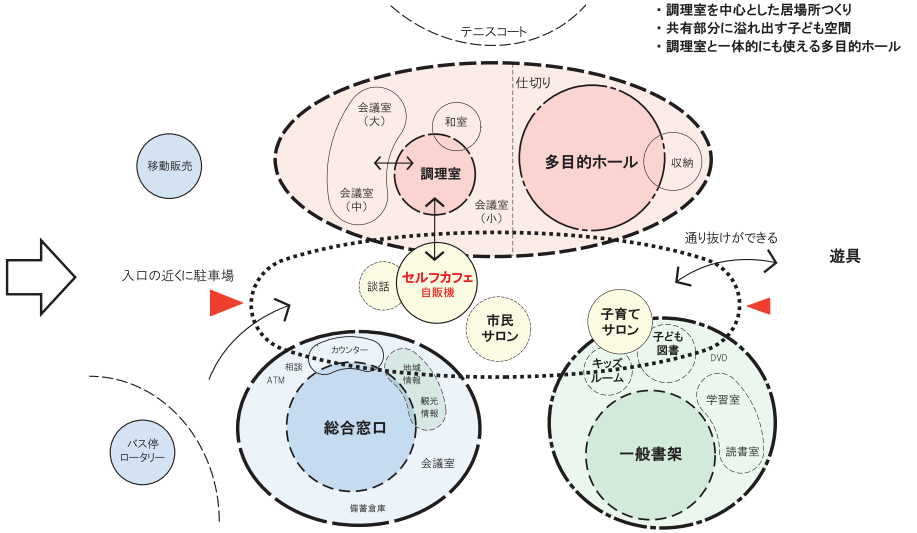
16:20
ステップ９： まとめ

・今日のまとめと次回のスケジュールを確認します。
・感想カードを書いて下さい。

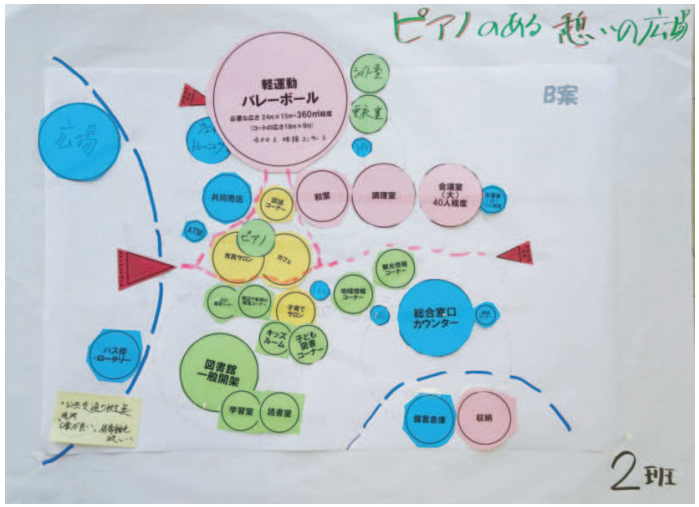
みんなでつくった「空間の関係図」を簡略化しました

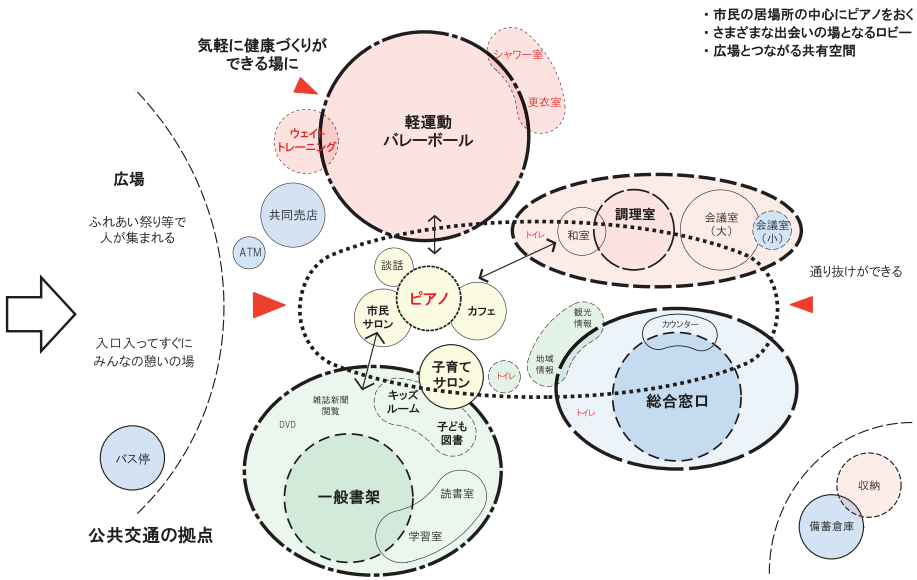
グループ1　人々が集う夢空間（令和２年の初ユメ）





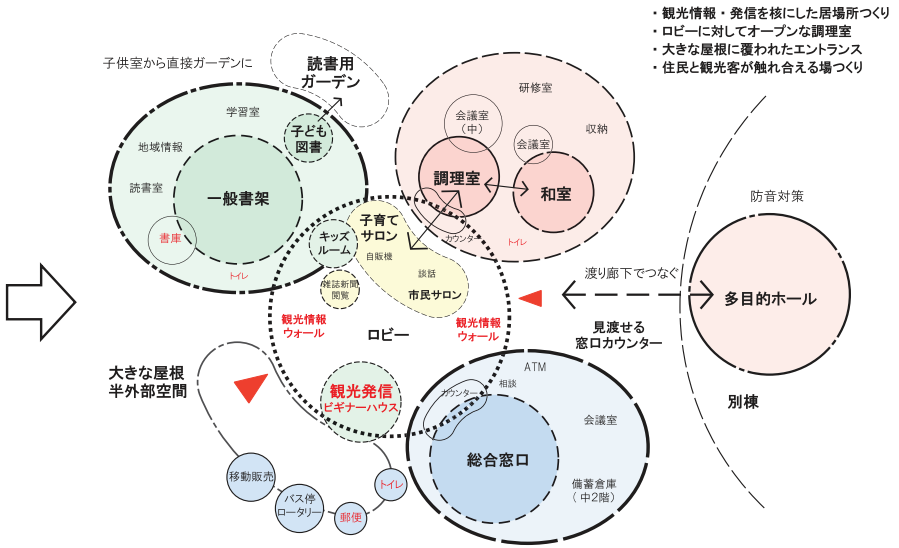
グループ2　ピアノのある憩いの広場



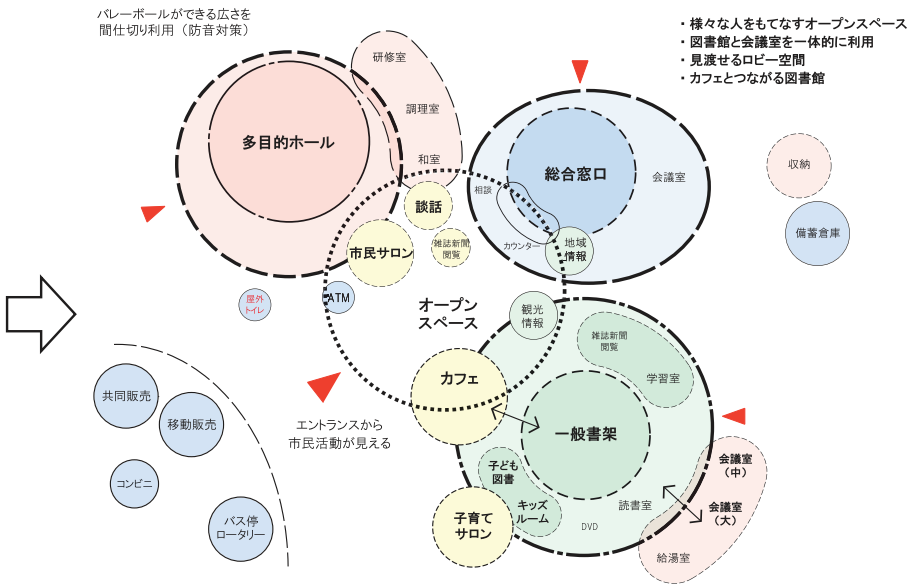


みんなでつくった「空間の関係図」を簡略化しました

グループ3　ロビーに立てばこりゃ便利!!

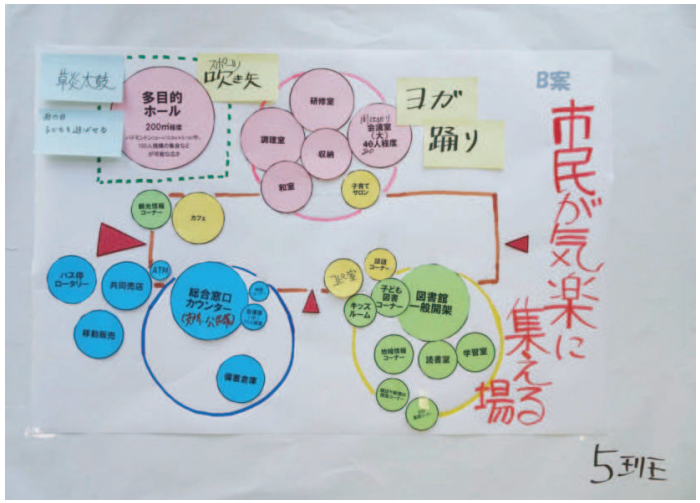


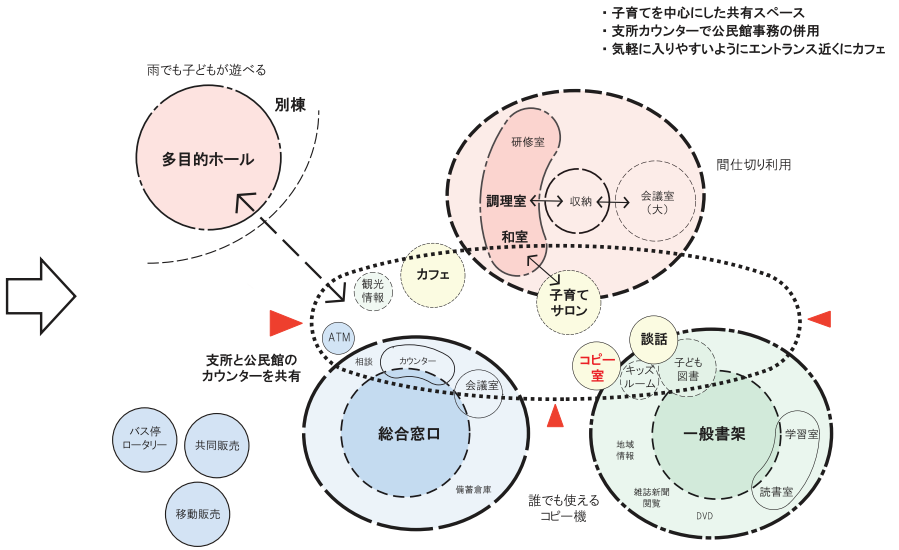
グループ4　おいでませ秋芳



みんなでつくった「空間の関係図」を簡略化しました

グループ5　市民が気楽に集える場

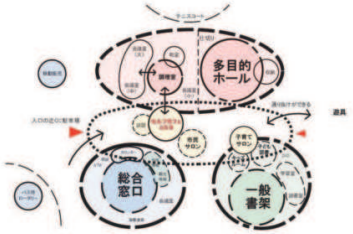




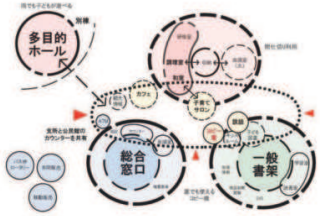
簡略化した「空間の関係図」を分類し、大きく２つのタイプの「空間の構成図」を作成しました

資料２ 秋

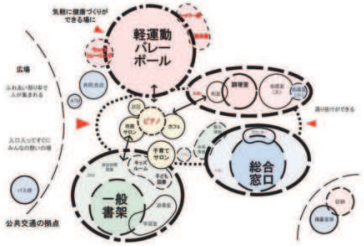
グループ1



グループ5

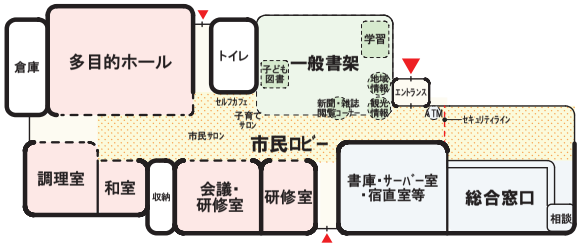


グループ2

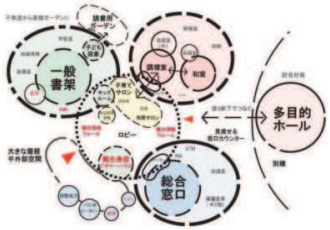


空間の構成図

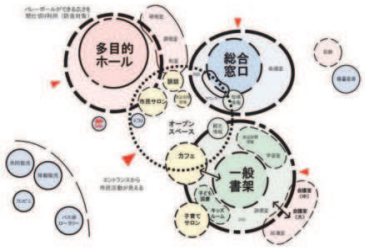
タイプ Ａ： 市民ロビーに面して必要な機能を配置し、それぞれの活動が市民ロビーを介してゆるやかにつながる



グループ3

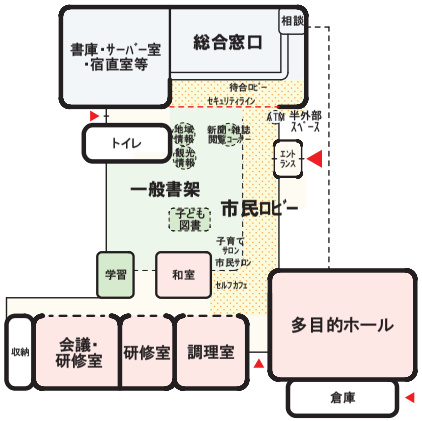


グループ4



空間の構成図

タイプ Ｂ： 市民ロビーと図書館を中心にして、その通りに必要な機能を配した広場型の空間

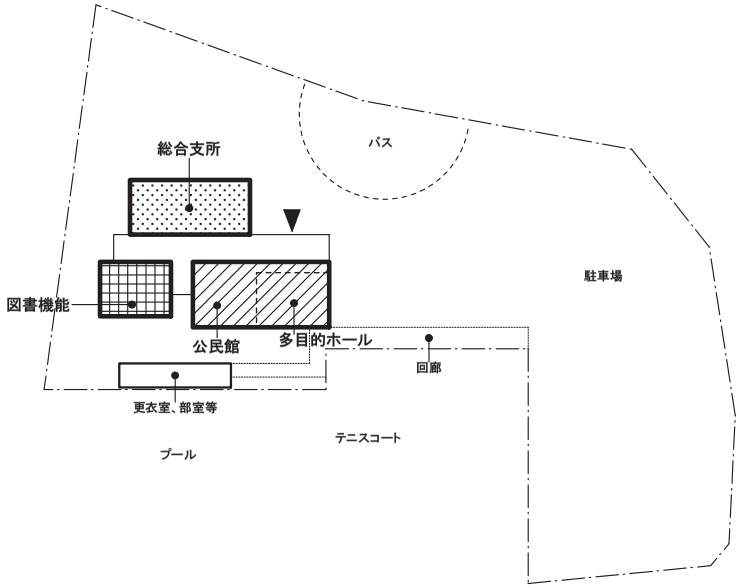


解体することになる秋芳体育館の機能の継承についての考え方

資料３ 秋

CASE-1

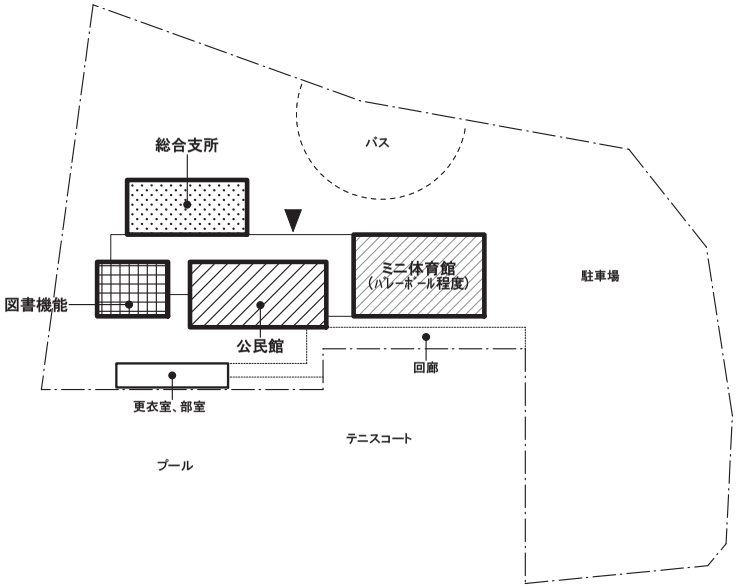
新総合支所(1,200㎡程度)の中に多目的ホール(200㎡程度)を整備し、体育館は代替施設を利用する



・バレーボール程度のスポーツができる施設は、新たに整備せずに、小学校、中学校体育館などの**既存施設を利用**する
・120人規模の集会や、太鼓の練習などは多目的ホールを使用する

CASE-2

新総合支所(1,200㎡程度)とは別に、ミニ体育館(バレーボールコート一面程度)を付加して整備する



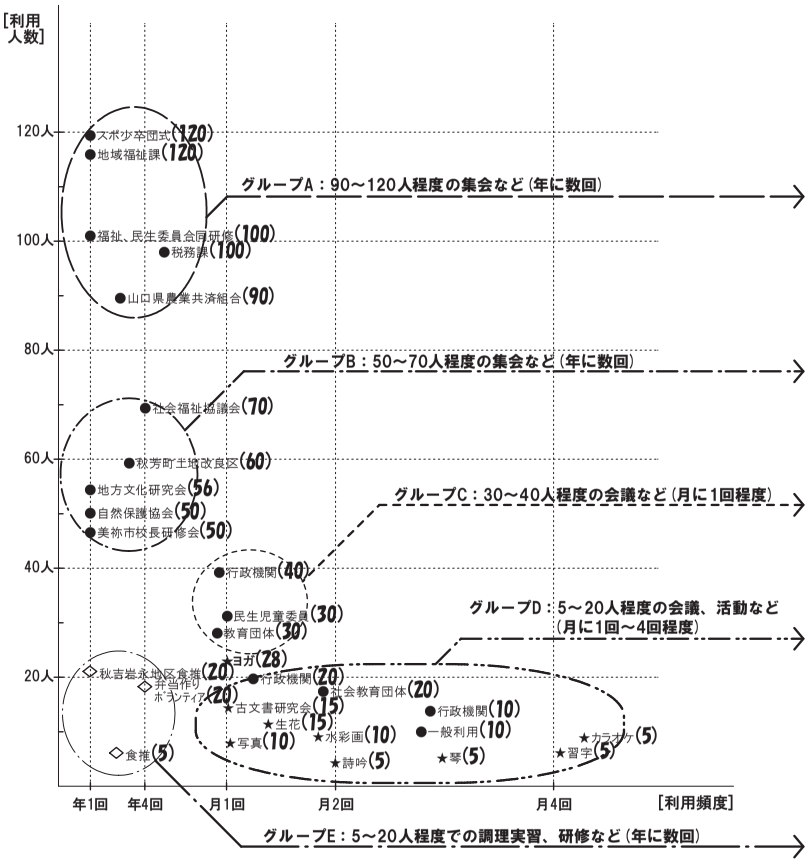
・バレーボール程度のスポーツや、太鼓の練習などができるミニ体育館を、新総合支所と**一体的に整備**する
・120人規模の集会などは、ミニ体育館を使用する

公民館に必要な空間・機能についての提案

公民館を構成する所要室についての検討

資料４ 秋

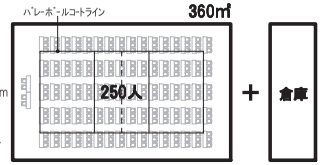
主な秋吉公民館利用団体の、利用1回あたり人数と利用頻度の分布（H30年度秋吉公民館の利用実績を基に検討）



利用人数に対応する部屋の規模と、その組み合わせの提案

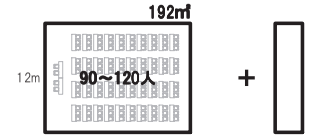
ミニ体育館
15m×24m程度
・バレーボールができる広さ
・250人程度の集会などができる広さ

※参考：
秋芳体育館約1,500㎡のうち、アリーナ部分面積は680㎡
（別資料：「屋内運動施設比較」）

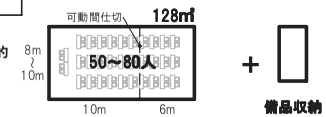


多目的ホール
12m×16m程度
・90～120人程度の集会などができる広さ

※参考：
バドミントコート一面の広さは210㎡程度必要
（別資料：「屋内運動施設比較」）

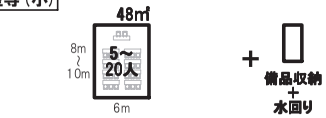


会議・研修・工作室等（大・小一体利用）
8～10m×16m程度
・大・小2つの部屋を一体的に利用
・50～80人程度の集会などができる広さ

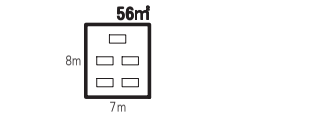


会議・研修・工作室等（大）
8～10m×10m程度
・20～40人程度の会議などができる広さ
・サークル活動に必要な水回り等の設置を検討

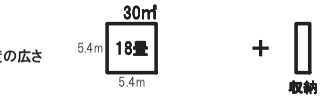
会議・研修・工作室等（小）
8～10m×6m程度
・5～20人程度の会議、活動などができる広さ
・サークル活動に必要な水回り等の設置を検討



調理室
8m×7m程度
・20人程度での調理実習、研修などができる広さ



和室
5.4m×5.4m程度
・現秋吉公民館と同程度の広さ



多目的ホール（200㎡程度）を整備し、体育館は代替施設を利用する場合

室名	寸法	面積
多目的ホール	12m×16m	192㎡
会議・研修室	8m×10m	80㎡
研修室	8m×6m	48㎡
調理室	8m×8m	64㎡
和室	5.4m×5.4m	30㎡

・20～40人の会議などは会議・研修室を利用する
・120人までの集会等は多目的ホールを利用する

※空間の構成図 タイプA-1、タイプB-1に対応
（資料5-1-①、資料5-2-①）

ミニ体育館を新総合支所に付加して整備する場合

室名	寸法	面積	
ミニ体育館	15m×24m	360㎡	
会議・研修室	10m×10m	100㎡	一体的な利用が可能
研修室	10m×6m	60㎡	
会議・研修室	8m×10m	80㎡	
研修室	8m×6m	48㎡	
調理室	8m×8m	64㎡	
和室	5.4m×5.4m	30㎡	

・多目的ホールをつくらない代わりに、会議室等の部屋を充実させる
・20～40人の会議などは会議・研修室を利用する
・50～80人の集会などは、会議・研修室と研修室を続き間で利用する
・80人以上の集会などはミニ体育館を利用する

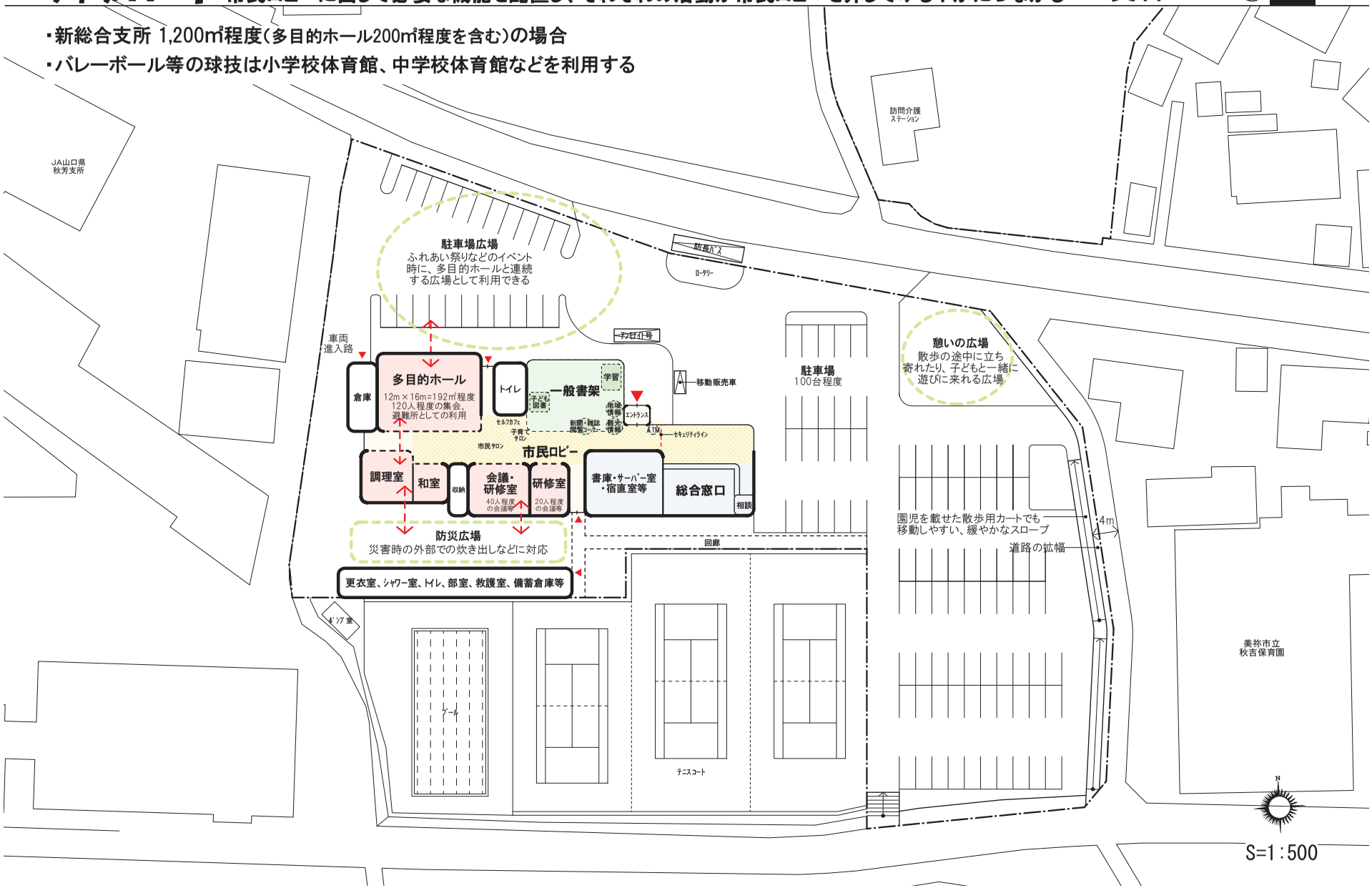
※空間の構成図 タイプA-2、タイプB-2に対応
（資料5-1-②、資料5-2-②）

「空間の構成図」の提案

タイプＡ－１　市民ロビーに面して必要な機能を配置し、それぞれの活動が市民ロビーを介してゆるやかにつながる

資料５-１-① 秋

・新総合支所 1,200㎡程度（多目的ホール200㎡程度を含む）の場合
・バレーボール等の球技は小学校体育館、中学校体育館などを利用する

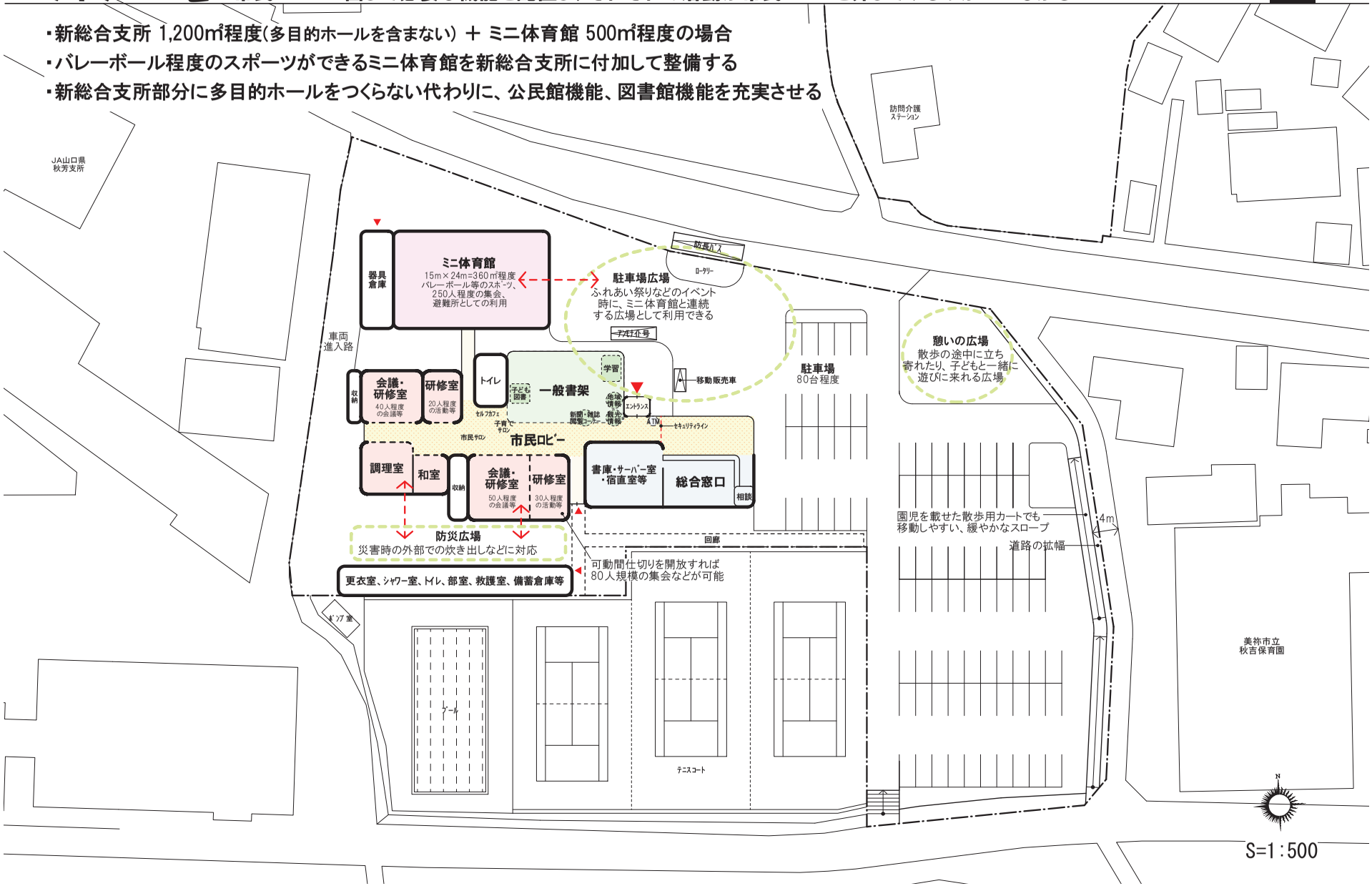


「空間の構成図」の提案

タイプA－2　市民ロビーに面して必要な機能を配置し、それぞれの活動が市民ロビーを介してゆるやかにつながる

資料５-１-② 秋

・新総合支所 1,200㎡程度(多目的ホールを含まない) ＋ ミニ体育館 500㎡程度の場合
・バレーボール程度のスポーツができるミニ体育館を新総合支所に付加して整備する
・新総合支所部分に多目的ホールをつくらない代わりに、公民館機能、図書館機能を充実させる

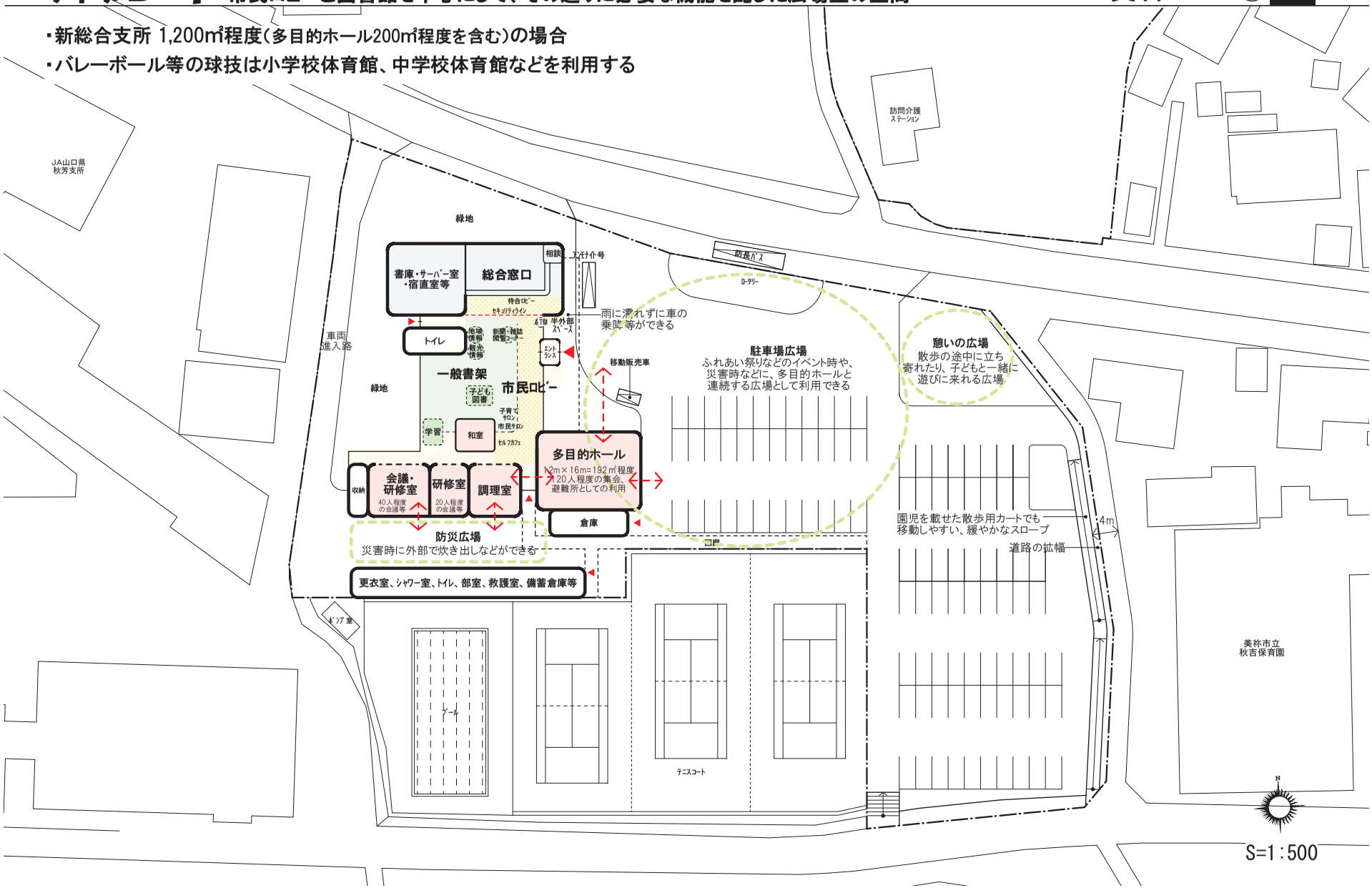


「空間の構成図」の提案

タイプB－1　市民ロビーと図書館を中心にして、その廻りに必要な機能を配した広場型の空間

資料５-２-① 秋

・新総合支所 1,200㎡程度（多目的ホール200㎡程度を含む）の場合
・バレーボール等の球技は小学校体育館、中学校体育館などを利用する

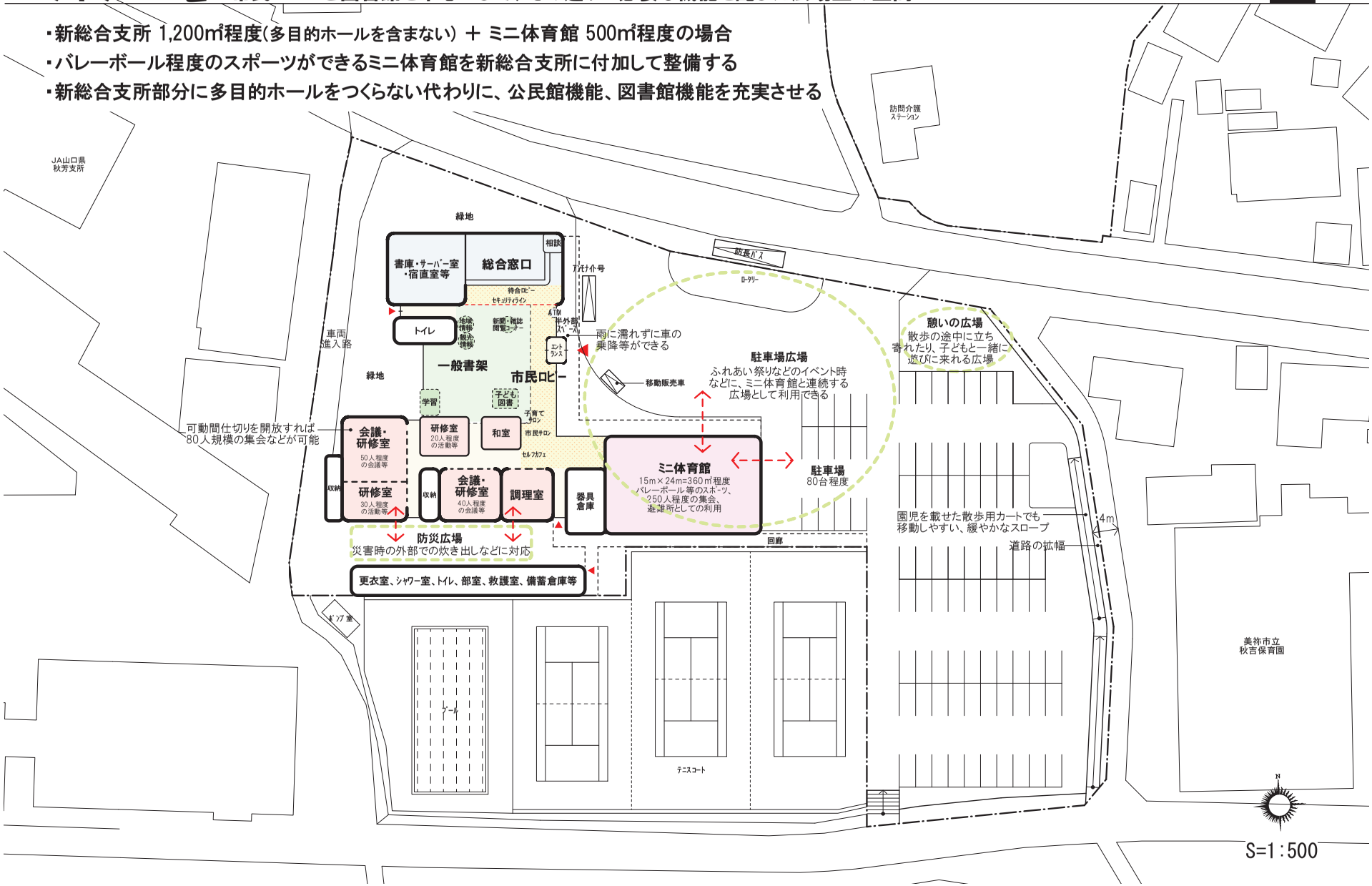


「空間の構成図」の提案

タイプB－2　市民ロビーと図書館を中心にして、その廻りに必要な機能を配した広場型の空間

資料５-２-② 秋

・新総合支所 1,200㎡程度(多目的ホールを含まない) ＋ ミニ体育館 500㎡程度の場合
・バレーボール程度のスポーツができるミニ体育館を新総合支所に付加して整備する
・新総合支所部分に多目的ホールをつくらない代わりに、公民館機能、図書館機能を充実させる



秋

別紙-評価シート

1. 評価項目に基づいてそれぞれのタイプを評価して、最も高い評価の案を一つ選んでシートに◎をつけてください。
2. 意見が割れた提案があれば2番目の提案を１つ選んでシートに〇をつけてください。

「空間の構成図」評価シート

評価項目	タイプ A-1	タイプ A-2	タイプ B-1	タイプ B-2
1)気軽に立ち寄ることができそうなのは？				
2)子どもたちが利用しやすいのは？				
3)高齢者が利用しやすいのは？				
4)観光客・地区外の人が利用しやすいのは？				
5)文化活動がより盛んになりそうなのは？				
6)図書館が使いやすそうなのは？				
7)管理がしやすそうなのは？				
8)建設工事費が安くなりそうなのは？				
9)祭りのときにうまく使えそうなのは？				
10)避難場所として安心して使えそうなのは？				
11)				
総合的な評価				

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える
市民ワークショップ便り

No.3
2020.2.28

※ワークショップ(WS)とは、参加者がグループに分かれて意見やアイデアを出し合い、意見をまとめていく話し合いの手法です。

施設の構成について、基本的な考え方を共有しました！

第３回目の市民ワークショップは、これまでで最多の38名の方々にお集まりいただき、充実した議論ができました。
第２回目の市民ワークショップにおいて、各班で作業してつくった５つの「空間の関係図」を整理すると、大きく２つの「空間の構成図」のタイプに整理出来そうであることが計画チームより報告されました。また、取り壊すことになる秋芳体育館の機能の維持・継承をどうするかが大きな課題ですが、前回までの議論をもとにCASE-1として、体育館機能は、中学校や小学校の体育館を利用することで、地域の拠点の中には必要ないという考え方、CASE-2ではバレーボールができる規模の体育館の広さがあれば、今まで秋芳体育館で担ってきた機能を引き継げるのではないかという考え方の２通りが提示されました。そこで、市民ワークショップの成果を基に整理した２つのタイプの「空間の構成図」に、体育館の考え方を組み合わせて４つの「空間の構成図」を提示して議論しました。その結果、タイプB-２（次頁参照）が総合的に評価が高く、今後の検討を進めていく上での基本的な考え方として全体で共有することができました。

施設の基本的な構成や、体育館機能の維持･継承などについて、議論を行いました！

第3回市民ワークショップ（2/15）プログラム

ステップ1	はじめに
ステップ2	第3回市民ワークショップの目的と流れを説明
ステップ3	第2回市民ワークショップの成果「空間の関係図」を確認
ステップ4	**「空間の関係図」を基に計画チームが作成した、「空間の構成図」について説明**
ステップ5	解体することになる**体育館機能の継承についての考え方を確認**
ステップ6	これまでの秋吉公民館の利用実績を基に、**公民館機能を担う所要室の構成に関して提案**
ステップ7	グループ毎に、計画チームが作成した**「空間の構成図」4案について、評価シートの項目に基づいて評価**
ステップ8	どのタイプの案が良いか、みんなで検討
ステップ9	まとめ

みんなで考える 新しい拠点づくりの流れ

◎第1回ワークショップ　12/14(土)
- 秋芳地域の魅力と抱える課題
- こんな複合施設だったらいいな！

↓

◎秋芳中学校ワークショップ　1/17(金)

◎第2回ワークショップ　1/18(土)
- 建設場所について
- 必要な場所・空間の相互関係

↓

◎第3回ワークショップ　2/15(土)
- 「空間の構成図」について検討
- 体育館機能の維持・継承の考え方

↓

◎第4回ワークショップ　4/11(土)
- 建設規模と、施設の構成について最終的な考え方を検討

次回開催

↓

パブリックコメント・住民説明会

↓

基本計画のとりまとめ

↓

◎第5回ワークショップ
- 配置、平面計画をみんなで考えよう
- 内部と外部空間のイメージを考えよう

↓

◎第6回ワークショップ
- 平面計画、断面計画をみんなで確認
- 建物の外観イメージを検討しよう
- 建物の性能を比較しよう

↓

基本設計のとりまとめ

↓

実施設計

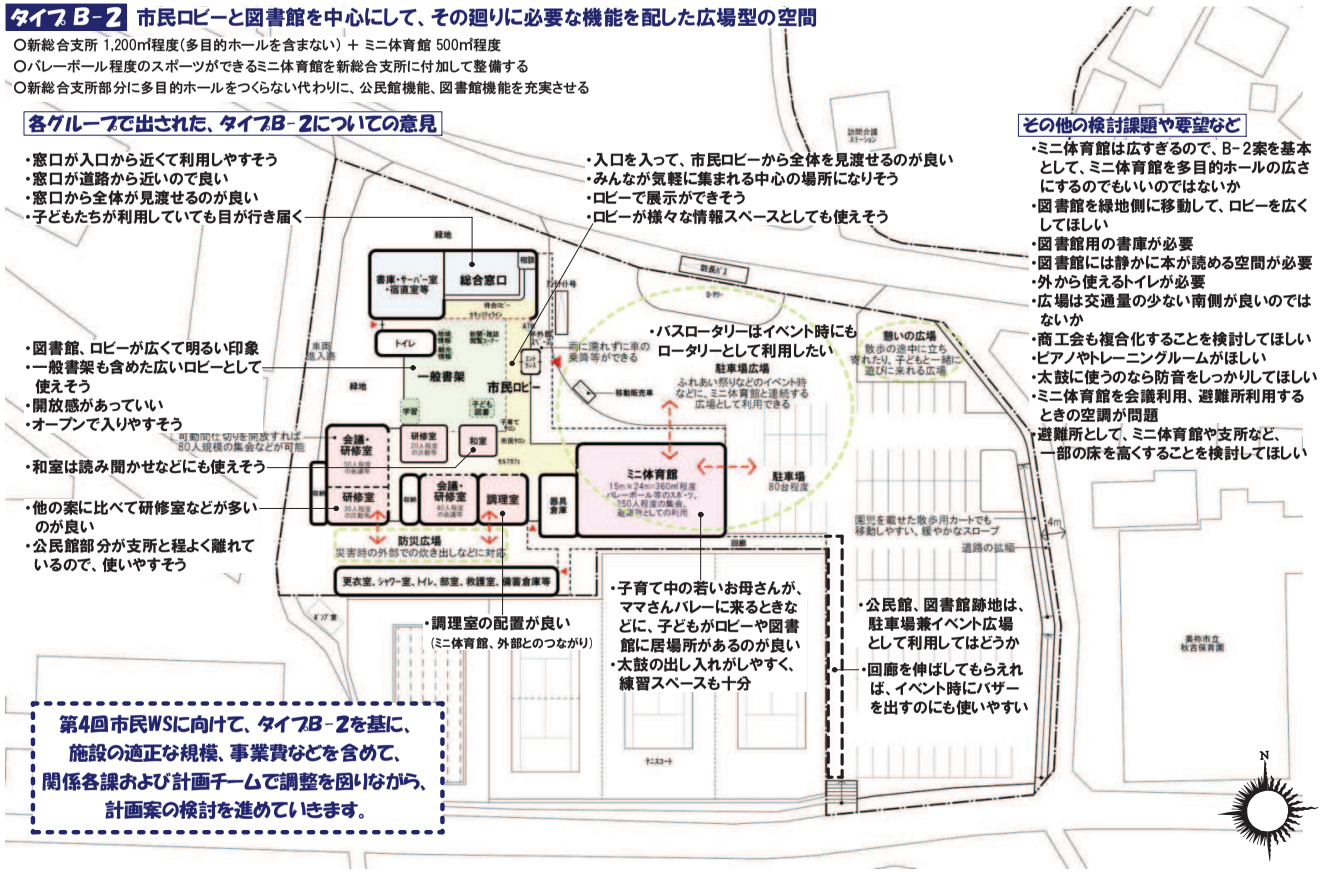
4つの「空間の構成図」を基に各グループで議論した結果、タイプB-2が最も高く評価されました！

タイプB-2　市民ロビーと図書館を中心にして、その廻りに必要な機能を配した広場型の空間

○新総合支所 1,200㎡程度（多目的ホールを含まない）＋ ミニ体育館 500㎡程度
○バレーボール程度のスポーツができるミニ体育館を新総合支所に付加して整備する
○新総合支所部分に多目的ホールをつくらない代わりに、公民館機能、図書館機能を充実させる

各グループで出された、タイプB-2についての意見

- 窓口が入口から近くて利用しやすそう
- 窓口が道路から近いので良い
- 窓口から全体が見渡せるのが良い
- 子どもたちが利用していても目が行き届く
- 入口を入って、市民ロビーから全体を見渡せるのが良い
- みんなが気軽に集まれる中心の場所になりそう
- ロビーで展示ができそう
- ロビーが様々な情報スペースとしても使えそう
- 図書館、ロビーが広くて明るい印象
- 一般書架も含めた広いロビーとして使えそう
- 開放感があっていい
- オープンで入りやすそう
- 和室は読み聞かせなどにも使えそう
- 他の案に比べて研修室などが多いのが良い
- 公民館部分が支所と程よく離れているので、使いやすそう
- バスロータリーはイベント時にもロータリーとして利用したい
- 調理室の配置が良い（ミニ体育館、外部とのつながり）
- 子育て中の若いお母さんが、ママさんバレーに来るときなどに、子どもがロビーや図書館に居場所があるのが良い
- 太鼓の出し入れがしやすく、練習スペースも十分
- 公民館、図書館跡地は、駐車場兼イベント広場として利用してはどうか
- 回廊を伸ばしてもらえれば、イベント時にバザーを出すのにも使いやすい



第4回市民WSに向けて、タイプB-2を基に、施設の適正な規模、事業費などを含めて、関係各課および計画チームで調整を図りながら、計画案の検討を進めていきます。

その他の検討課題や要望など

- ミニ体育館は広すぎるので、B-2案を基本として、ミニ体育館を多目的ホールの広さにするのでもいいのではないか
- 図書館を緑地側に移動して、ロビーを広くしてほしい
- 図書館用の書庫が必要
- 図書館には静かに本が読める空間が必要
- 外から使えるトイレが必要
- 広場は交通量の少ない南側が良いのではないか
- 商工会も複合化することを検討してほしい
- ピアノやトレーニングルームがほしい
- 太鼓に使うのなら防音をしっかりしてほしい
- ミニ体育館を会議利用、避難所利用するときの空調が問題
- 避難所として、ミニ体育館や支所など、一部の床を高くすることを検討してほしい

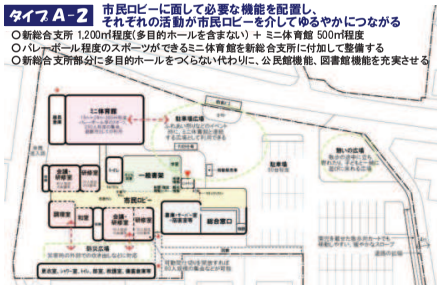
その他に計画チームが提案した「空間の構成図」

タイプA-1　市民ロビーに面して必要な機能を配置し、それぞれの活動が市民ロビーを介してゆるやかにつながる

○新総合支所 1,200㎡程度（多目的ホール200㎡程度を含む）
○バレーボール等の球技は小学校体育館、中学校体育館などを利用する

タイプA-2　市民ロビーに面して必要な機能を配置し、それぞれの活動が市民ロビーを介してゆるやかにつながる

○新総合支所 1,200㎡程度（多目的ホールを含まない）＋ ミニ体育館 500㎡程度
○バレーボール程度のスポーツができるミニ体育館を新総合支所に付加して整備する
○新総合支所部分に多目的ホールをつくらない代わりに、公民館機能、図書館機能を充実させる



タイプB-1　市民ロビーと図書館を中心にして、その廻りに必要な機能を配した広場型の空間

○新総合支所 1,200㎡程度（多目的ホール200㎡程度を含む）
○バレーボール等の球技は小学校体育館、中学校体育館などを利用する

評価シートの集計結果

4つの「空間の構成図」案についての各グループの評価を集計しました。

評価項目	タイプA-1	タイプA-2	タイプB-1	タイプB-2
1)気軽に立ち寄ることができそうなのは？			◎○	◎◎◎ ◎◎◎
2)子供たちが利用しやすいのは？	○		◎○	◎◎◎ ◎◎◎
3)高齢者が利用しやすいのは？			◎○	◎◎◎ ◎◎◎
4)観光客・地区外の人が利用しやすいのは？		◎	◎○	◎◎◎ ◎◎
5)文化活動がより盛んになりそうなのは？			○○	◎◎◎ ◎◎◎
6)図書館が使いやすそうなのは？		◎◎	◎○	◎◎◎ ◎○
7)管理がしやすそうなのは？	○		◎○	◎◎◎ ◎◎
8)建設工事費が安くなりそうなのは？	◎◎	○	◎	◎○
9)祭りのときにうまく使えそうなのは？			○	◎◎◎ ◎◎◎
10)避難所として安心して使えそうなのは？		○		◎◎◎ ◎◎◎
11)外から使えるトイレ（身障者用）（グループ分による追加評価項目）				B-2案を基に検討
総合的な評価			○○	◎◎◎ ◎◎◎

参加者の感想カードの中から、一部を紹介します。

- 総合的にタイプB-2に賛成多数であったことはよかった。今後は予算的なこともありますがよろしくお願い致します。
- 多くの方がB-2、体育館必要ということで意見がまとまってきていると感じました。これから詳細について、今日の意見から進化していけばと思います。
- 体育館が多目的ホールか、この地区に本当に必要なのはどの規模の施設なのか、考えると難しいと思いました。
- 今回は利用団体の方の話も聞けてよかったです。できれば他の利用団体の方の意見が聞けると、空間のイメージももっと作りやすかったと思います。誰もが利用しやすい施設になるといいと思います。
- 3回目にして、今までより参加者年齢が下がった気がし、若い人の意見が出たことは大変良かったと思います。
- 少子高齢社会、ますますひどくなる秋芳町ですが、子ども、大人、お年寄りが使いやすくなるような案になっていると思っています。今いる自分たちが一生懸命にならないといけないと思っています。今回初めて来ましたが、それを少々うかがうことが出来ました。
- 初めて参加しましたが、住民の意見をきちんと聞いて下さりありがたいです。とても楽しかったです。できるのが楽しみになりました。

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える
第4回市民ワークショップを開催します！！

日時：令和2年 4月11日(土) 14:00～16:30

会場：秋吉公民館 大会議室

事前申込不要 誰でも参加ＯＫ！

4回目からの参加も大歓迎！ 世代・地区に関わらず多くの方のご参加をお待ちしています。

第4回市民ワークショップの主な内容
・建設規模と、施設の構成について、最終的な考え方を検討

※ワークショップ(WS)とは、参加者がグループに分かれて意見やアイデアを出し合い、意見をまとめていく話し合いの手法です。

○問い合わせ先
〒754-0511 美祢市秋芳町秋吉5335-1
美祢市秋芳総合支所 総合窓口課
電話 0837-62-1910　fax.0837-62-1828
メール s-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp
基本計画・基本設計策定業務受託事務所
株式会社 龍環境計画 (03-3383-8673)
市民WS便り発行：美祢市秋芳総合支所 総合窓口課

各グループで、「空間の構成図」案について議論した際の成果を掲載します。

グループ1

グループ2

グループ3

グループ4

グループ5

グループ6

4つの「空間の構成図」案について、各グループで評価シートの項目に基づいて意見を出し合い、評価しました。

グループ毎に最も評価の高かった案について、グループ内で出された意見と併せて全体の場で発表してもらいました。

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える市民ワークショップ

紙上版

紙上ワークショップの開催について

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、４月 11 日以降延期しておりました第４回市民ワークショップについて、一度は７月 11 日に開催することを決定したものの、残念ながら再度延期せざるを得ない状況となりました。そのため、今回は紙上ワークショップのかたちをとらせて頂き、第３回ワークショップ以降に事務局と計画チームを中心に検討してきた内容を確認して頂くとともに、現段階の計画案についてご意見をお聞かせ願いたいと思います。この紙上ワークショップを経て、基本計画案のベースとなる考え方のとりまとめが出来ますように、皆様のご協力をお願い致します。

ーおねがいー

1．確認してください！

第3回市民ワークショップ以降に、事務局と計画チームを中心に検討してきた内容をまとめました。以下の資料について、確認をお願いします。

（１） **第３回市民ワークショップのおさらい**（資料1）
（２） **新秋芳総合支所庁舎等整備における市の基本方針**（資料2）
（３） **施設を構成する主要な機能についての基本的な考え方**（資料3-1、3-2）
（４） **公民館、図書館、総合支所の３つの機能のつながりについての考え方**（資料4）
（５） **多目的ホールの広さと、使い方のイメージ**（資料5-1、5-2）

2．ご意見をお聞かせください！

（１）**新秋芳総合支所庁舎等整備における市の基本方針**（資料2）
資料2をご覧になり、市の方針についてのご意見を「意見回答シート（別添1）」にお書きください。

（２）**公民館、図書館、総合支所の３つの機能のつながりについての考え方**（資料4）
資料4をご覧になり、計画案についてのご意見を「意見回答用図面（別添 2-1、2-2）」にお書きください。

意見回答シートおよび意見回答用図面は、

7月22日(水)まで に、同封の返信用封筒でお送りください。

頂いたご意見は、基本計画案をとりまとめる際に、参考にさせて頂きたいと思います。

資料の構成

資料は、**確認をお願いしたい資料**（青字表記）と、
ご意見を聞かせて頂きたい資料（赤字表記）の2種類があります。

また、ご意見を記入して頂くための意見回答シートおよび回答用図面と、返信用封筒を同封しています。

資料1　第 3 回市民ワークショップのおさらい

資料2　新秋芳総合支所庁舎等整備における市の基本方針

資料3-1　施設を構成する主要な機能についての基本的な考え方-1（公民館機能）

資料3-2　施設を構成する主要な機能についての基本的な考え方-2（図書館、総合支所機能）

資料4　公民館、図書館、総合支所の3つの機能のつながりについての考え方

資料5-1　多目的ホールで可能な活動のバリエーション-1

資料5-2　多目的ホールで可能な活動のバリエーション-2

別添 1　意見回答用シート

別添 2-1　意見回答用図面A

別添 2-2　意見回答用図面B

別添 3　返信用封筒

確認資料：第３回市民ワークショップをおさらいします。

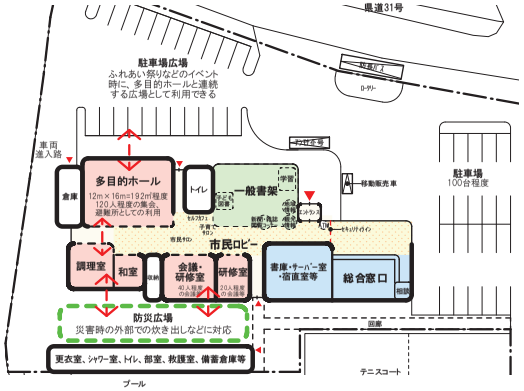
資料 1
内容をご確認ください
秋

第３回市民ワークショップでは、計画者が示した４つの「空間の構成図」について、グループ毎に議論を行い、評価シートに基づき評価しました。
議論の結果、タイプＢ－２が最も高く評価をされました。以下では、４つの「空間の構成図」、評価の結果、タイプB-2に対する意見を振り返ります。

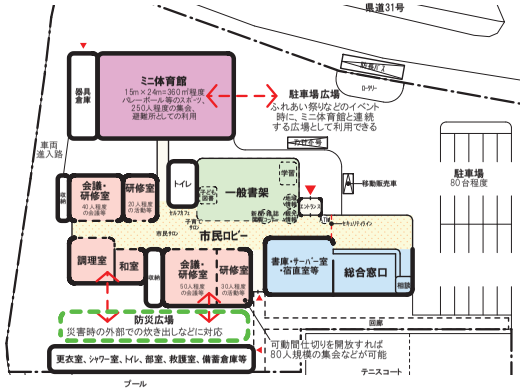
４つの「空間の構成図」

第2回市民ワークショップにおけるグループ毎の作業の成果を基に、計画者が4つの「空間の構成図」を示しました。

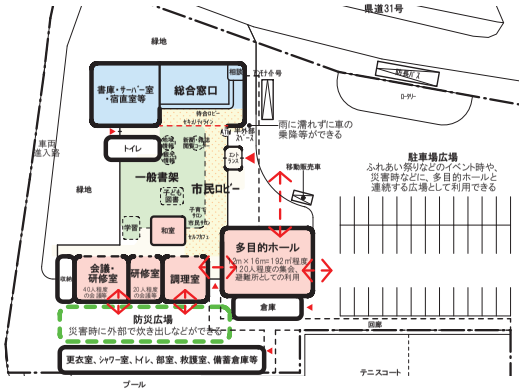
タイプＡ－１　市民ロビーに面して必要な機能を配置し、それぞれの活動が市民ロビーを介して緩やかにつながる空間構成



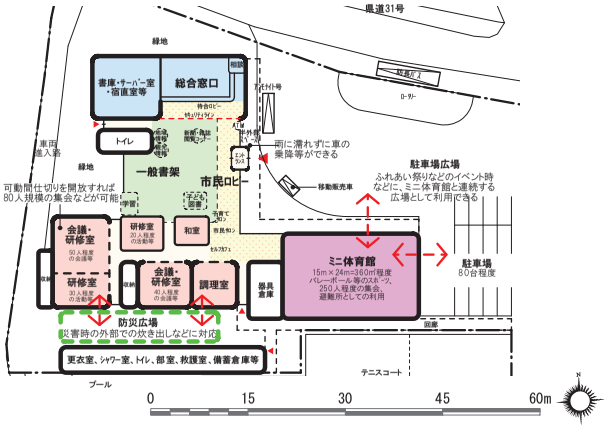
タイプＡ－２　タイプA-1を基に、多目的ホールの代わりにミニ体育館を設置し、さらに公民館と図書館機能を充実させた空間構成



タイプＢ－１　市民ロビーと図書館を中心にして、その廻りに必要な機能を配置した広場型の空間構成



タイプＢ－２　タイプB-1を基に、多目的ホールの代わりにミニ体育館を設置し、さらに公民館、図書館機能を充実させた、広場型の空間構成



評価シートの集計結果

4つの「空間の構成図」について、グループ毎に評価をしました。その結果、**タイプＢ－２が最も評価されました。**以下は評価のまとめです。

評価項目	タイプA-1	タイプA-2	タイプB-1	タイプB-2
1)気軽に立ち寄ることができそうなのは？			◎○	◎◎◎○○
2)子供たちが利用しやすいのは？	○		◎○	◎◎◎○○
3)高齢者が利用しやすいのは？			◎○	◎◎◎○○
4)観光客・地区外の人が利用しやすいのは？		◎	◎○	◎◎○◎○
5)文化活動がより盛んになりそうなのは？			○○	◎◎◎○○
6)図書館が使いやすそうなのは？		◎◎	◎○	◎◎◎○○
7)管理がしやすそうなのは？	○		◎○	◎◎◎◎○
8)建設工事費が安くなりそうなのは？	◎◎	○	◎	◎○
9)祭りのときにうまく使えそうなのは？			○	◎◎◎○○
10)避難所として安心して使えそうなのは？		○		◎◎◎○○
総合的な評価			○○	◎◎◎○○

タイプＢ－２に対する意見（一部）

ワークショップでは、タイプB-2を中心に、好意的な意見や、ここをもっとこうしたいなどの検討課題、要望等が挙がりました。
（検討課題、要望等は、赤字で示しています）

○市民ロビー、図書館機能について
- 図書館、ロビーが広くて明るい印象
- オープンで入りやすそう
- みんなが気軽に集まれる中心の場所になりそう

○公民館機能について
- 公民館部分が支所と程よく離れていて使いやすそう
- 調理室の配置が良い（ミニ体育館、外部とのつながり）

○総合支所機能について
- 窓口が入口から近くて利用しやすそう
- 窓口が道路から近いので良い
- 窓口から全体が見渡せるのが良い

○ミニ体育館について
- 子育て中のお母さんがママさんバレーに来るときに、子どもがロビーや図書館に居られるのが良い
- 太鼓の出し入れがしやすく、練習スペースも十分
- 太鼓に使うのなら防音をしっかりしてほしい
- ミニ体育館を会議利用、避難所利用するときの空調が問題
- ミニ体育館は広すぎるので、B-2案を基本として、ミニ体育館の部分を多目的ホールにするのでもいいのではないか

第３回市民ワークショップでは、ミニ体育館を複合し、図書館と市民ロビーを中心とした空間構成（タイプＢ－２）が最も高く評価されました。

確認資料：新秋芳総合支所庁舎等整備における市の基本方針について説明します。

資料２　ご意見を聞かせてください　秋

しばらくお会いできていませんが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。皆様方には日頃から、美祢市のまちづくりをはじめ行政各般にわたり御協力いただいております。この『秋芳地域の新しい拠点づくり』についても一緒にお考え頂いていることに改めて感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け４月以降延期しておりましたこの市民ワークショップも、残念ながら、今回改めて延期せざるを得ない状況となり、３か月ぶりに「紙上ワークショップ」の形で開催することになりました。

本来であれば、直接皆様に「施設整備における市の方針」をお伝えし、ご意見をいただきたいところですが、「合併推進債を活用した新複合庁舎建設」を進めるため令和５年３月までの完成期限を控えており、これ以上計画の延期が出来ず、このような形でのご報告となりました。

２月に開催した「第３回市民ワークショップ」の後、市では、皆様から頂いたご意見を基に、秋芳地区に相応しい施設のあり方を検討してまいりました。今回、施設整備における市の基本的な方針についてお伝えします。

施設整備における市の方針

第３回市民ワークショップでは、ミニ体育館を複合し整備するタイプの考え方が評価されたところですが、新秋芳総合支所庁舎等の整備における市の方針としては「**体育館機能は整備せず、施設規模は１,２００㎡程度とする**」ことになりました。

昨年の市の出生者数は７６人です。将来的な人口減少に備え市民への過度な負担を避けるため、コンパクトで利用しやすい施設整備が求められます。５００㎡の面積を追加した新たな体育館的な機能を備えたかたちでの整備は現実的には大変厳しい状況にあります。代替え可能な施設を活用して頂き、これまでの活動を継続して頂くことを切に願っております。

また、新庁舎の建設位置は、第２回市民ワークショップでの検討結果に従い「**秋芳体育館の解体跡地**」とすることになりました。

仮設庁舎を建てず建設可能であり、費用削減効果が期待できることもありますが、工事期間中でも総合支所や公民館、図書館での市民サービスが継続できることが理由として上げられます。

今後は、多目的ホールの有効活用を検討することになります。大会議室や災害時には避難所として、また、健康寿命を延ばすための軽運動場、大切に続けてきた地域のお祭り等を支える会場、また、文化的な活動の発表の場として現在の機能を継承していきたいという意見が上がっています。

バレーボールができる天井高はありませんが、音響や空調等の機能を充実させた使い勝手の良い施設として使って頂けるよう、今後も皆様とともに計画づくりを進めていきたいと考えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

美祢市秋芳総合支所
支所長　鮎川 弘子

「第３回市民ワークショップ」以後の検討の経緯

３月
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、第４回市民ワークショップ（４月１１日）を延期

４月
- 市長選挙、市議会議員選挙

５月
- 市長から新本庁舎整備について規模縮小を指示
  （内容）新築部分事業費を32億から、20億程度にする　他
  （理由）①昨年の市の出生者数は76人。将来的な人口減少に備え市民への過度な負担を避ける
  ②新型コロナウイルス感染症の影響で打撃を受けた市民の生活を守る

５月１３日
- **市長に秋芳総合支所整備の進捗状況を報告**
  「市民ワークショップの要望は、新総合支所1,200㎡＋ミニ体育館500㎡である」

６月１１日
- **第１５回庁内検討委員会を開催**
  秋芳：事業規模について検討
  （結果）「事業規模は1,200㎡程度とし、体育館は整備しない方向性」とする
  （理由）秋芳中学校、秋吉小学校の体育館が近くにあり、代替え施設の確保が可能と考えられるため
  美東：建設候補地について検討
  （結果）「整備候補地は美東保健福祉センターを活用し整備する方向性」とする
  （理由）美東保健福祉センターを有効活用し、全体事業費の縮減を図るため

６月１７日
- **市長・副市長に庁内検討委員会結果を報告**

６月２２日
- **議会特別委員会①　庁内検討委員会の結果を議会に報告**

７月　１日
- **議会特別委員会②　市長は庁内検討委員会の結果を尊重すると発言**

確認資料：施設を構成する主要な機能について、基本的な考え方を説明します。（その1 公民館機能）

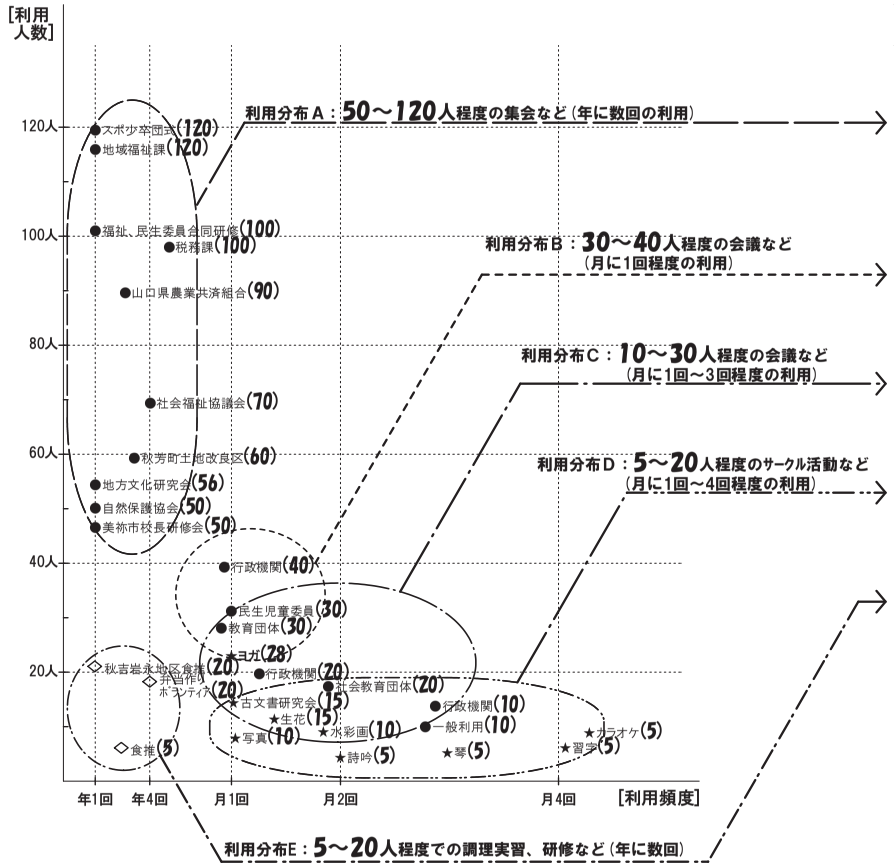
資料 3−1
内容をご確認ください
秋

資料２では、「体育館機能は整備せず、施設規模は1,200㎡程度とする」という市の方針を示しました。
現在の施設に比べると、全体の規模は縮小することになりますが、新しい拠点施設においても、地域の活動が今後も継続・展開できるような施設づくりを目指します。
そのために、公民館、図書館、総合支所が複合化しているメリットを最大限活かせるような機能の構成を検討しました。その基本的な考え方を説明します。

公民館機能について

公民館機能の構成を検討するにあたって、住民ヒアリングや、現在の秋吉公民館の利用状況の調査から、秋吉地区でどのような活動が行われているかを整理しました。（下左表）
その成果を基に、新しい公民館として必要な機能、空間の広さを想定し、公民館機能の構成を検討しました。（下右表）

現在の秋吉公民館における、主な利用状況の整理



新しい公民館として必要な機能の構成

必要な機能、空間		主な利用形態のバリエーション
多目的ホール 最大250人程度が収容でき、地域の様々な活動に利用できる ＊体育館機能を整備しない代わりに、ステージ、倉庫等の附属機能を充実させ、地域の文化活動を支えます。	平土間部分 200㎡程度 倉庫 ステージ 倉庫	・120人程度の研修、総会など ・250人程度の講演会、コンサートなど ・草炎太鼓などの練習・発表（100席程度の観覧席） ・健康体操、保育園児の室内運動など ・100人程度の避難所としての利用 ＊利用イメージについては、資料5で詳しく説明します。 ＊バレーボール等の運動については想定していません。
会議室 45人程度までの会議、研修などに利用できる	65㎡程度 ＋ 収納	・45人程度までの会議、講座、研修など ・35人程度までのワークショップなど
小会議室 30人程度までの会議、研修などに利用できる	45㎡程度 ＋ 収納	・30人程度の会議、講座、研修など ・20人程度のワークショップなど ＊計画によっては、会議室と続き間として利用できる設えにすることも可能
研修室 工作やサークル活動などに利用できる	45㎡程度 ＋ 収納、水回り	・書道、習字、生花、その他サークル活動（サークル活動に必要な水回りを設置） ・小会議室の代用など
調理室 20人程度の調理実習などに利用できる	50㎡程度 ＋ 収納	・20人程度の調理実習など ・食推、弁当づくりボランティアの活動 ＊隣接する他の部屋（小会議室など）を試食スペースとして活用することも可能
和室（畳コーナー） 他の機能と連続して利用できる	12畳程度 ＋ 収納等	・調理実習後の試食スペースとして利用 ・図書館の読み聞かせコーナーとして利用 ・小人数の避難所としての利用　など
その他、 **市民ロビー、トイレ、授乳室、公民館事務など**		［市民ロビーの利用バリエーション］ ・気軽に集まれる、市民の居場所 ・展示ギャラリーとしてのスペース　など

確認資料：施設を構成する主要な機能について、基本的な考え方を説明します。（その2 図書館、総合支所機能）

資料 3−2
内容をご確認ください
秋

図書館機能について

住民ヒアリングや、市民ワークショップでの議論で得られた意見をもとに、秋芳地域の新しい図書館としての基本的な役割と、その役割を果たすために必要な機能・空間を想定しました。ただし、基本構想において図書館面積が１５０㎡と想定されており、すべての機能のためのスペースを確保するのが難しいことから、市民ロビー部分や畳コーナーなどを代替利用、重複利用するような運用のあり方を検討していくこととします。

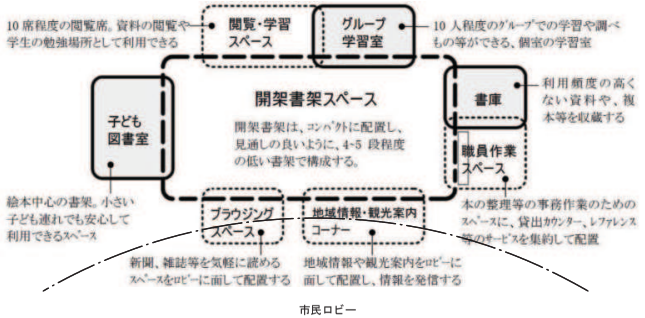
図書館機能の基本的な役割と、必要な機能・空間

住民ヒアリングや、市民ワークショップでの意見をもとにした、図書館の基本的な役割、および必要な機能・空間。

図書館機能の**基本的な役割**	**必要な機能・空間**
読書をしたり、新聞、雑誌などをゆっくり読んだり、必要な資料や情報を手にしたりすることができる	・開架書架スペース ・閲覧スペース（市民ロビーと共用を検討） ・新聞・雑誌コーナー（市民ロビーと共用を検討） ・貸出カウンター、レファレンス（公民館事務と共用を検討） ・書庫
音楽や映像作品などを鑑賞できる	・AVコーナー
個人での学習や、グループでの学習や調べものができる	・学習スペース（市民ロビーと共用を検討） ・グループ学習室
小さな子ども連れの親子でも気兼ねなく本に親しむことができる	・子ども図書コーナー ・読み聞かせコーナー（畳コーナーと共用を検討） ・幼児用トイレ ・授乳室
観光情報や、地域資料があり、地域のライブな情報を得ることができる	・地域資料コーナー ・観光情報コーナー（市民ロビーと共用を検討） ・地域情報コーナー（市民ロビーと共用を検討）

図書館機能の空間構成のイメージ

コンパクトに配置した開架書架のまわりに、必要な機能を配置する空間構成とする。



総合支所機能について

基本構想で想定された機能を基本とします。ただし、基本構想時点で想定されていた、小会議室、来庁者トイレについては、公民館機能の諸室と代替利用、重複利用することが可能なため、総合支所機能には含まないこととします。

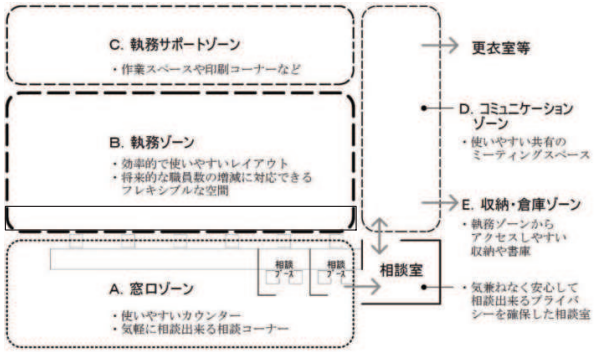
総合支所機能の基本的役割

総合支所機能としては、以下の基本的な役割が求められる。

- **地域住民に密着した行政サービスの提供**
- **地域まちづくり活動の支援**
- **災害時の防災拠点としての役割**

総合支所機能の空間構成のイメージ

総合支所機能の基本的役割を果たすために必要な機能をゾーンごとにまとめて配置し、単純で分かりやすい空間構成とする。



A. 窓口ゾーン　……窓口、相談コーナー、相談室など
B. 執務ゾーン　……執務室（19人程度を想定）
C. 執務サポートゾーン　……作業スペース、印刷スペースなど
D. コミュニケーションゾーン　……ミーティングスペースなど
E. 収納・倉庫ゾーン　……書庫、倉庫、サーバー室など

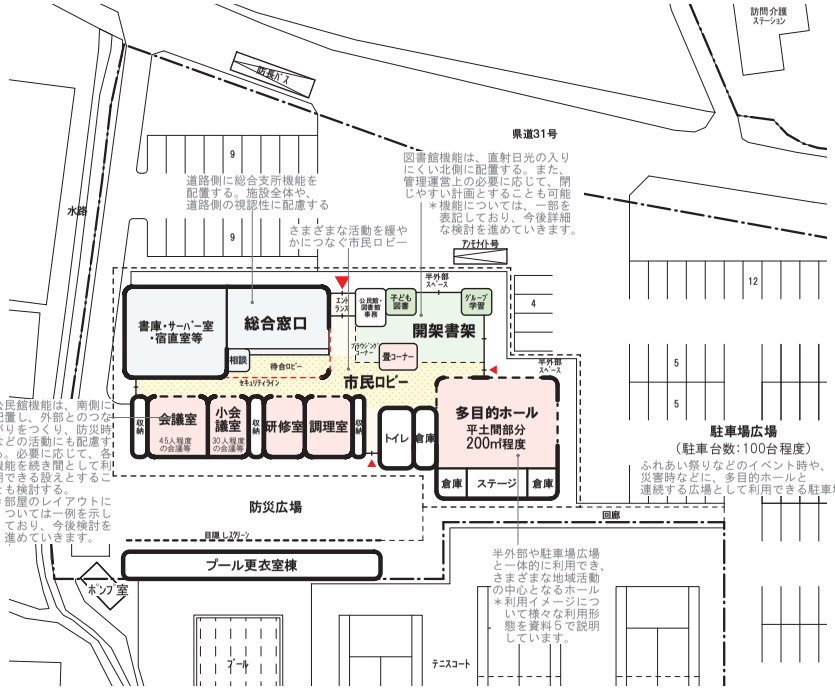
公民館、図書館、総合支所の各機能の構成は最終決定ではありません。今後計画を進めるにあたって皆様の意見を反映させて頂きたいと思います。

検討資料：公民館、図書館、総合支所の３つの機能のつながり方について、２つの考え方を示します。

資料 4
ご意見を聞かせてください
秋

市の方針を原則とした上で、これまでの市民ワークショップの成果をもとに、３つの機能のつながり方を２種類作成しました。
公民館、図書館、総合支所機能の配置などについて、皆様のご意見を頂き、基本計画案のベースとなる考え方をまとめていきたいと思います。

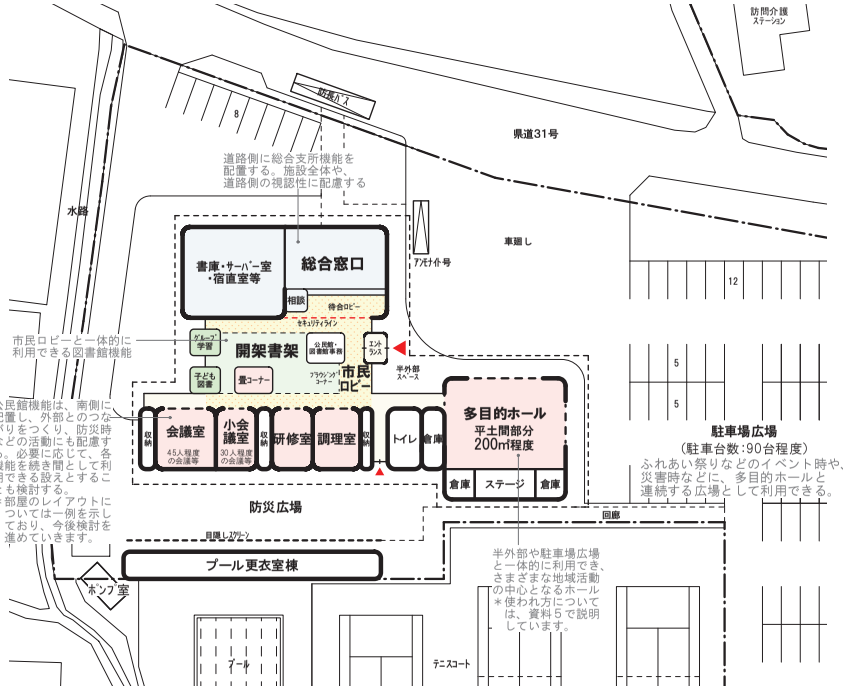
タイプA展開案



タイプA展開案の特徴

・第３回市民ワークショップで示した、タイプＡの空間構成を展開した案
・それぞれの機能が、市民ロビーを介して緩やかにつながる空間構成
・床面積**1,200㎡**程度

タイプB展開案



タイプB展開案の特徴

・第３回市民ワークショップで示した、タイプＢの空間構成を展開した案
・市民ロビーと一体的に利用できる図書館を中心とした空間構成
・床面積**1,200㎡**程度

タイプA展開案およびタイプB展開案に対する、皆様のご意見をお聞かせください！

ご意見は別紙の回答用図面に直接書き込んで頂きますようお願い致します。

確認資料：平土間部分２００㎡程度の多目的ホールで可能な、活動のバリエーション（１）

資料 5－1
内容をご確認ください
秋

現在秋吉公民館の大会議室を利用して行われている100人規模の集会や、健康体操、秋芳体育館での太鼓の練習など、
地域の活動が今後も継続・展開できるような規模として、平土間部分（アリーナ部分）で２００㎡程度の広さを提案します。

パターン1　研修会などに利用する場合（3人掛けテーブル）

［現施設での活動実績による広さの検証］

現秋吉公民館での利用実績：
研修会等で最大**100**人程度
↓
提案の多目的ホールの想定人数：
研修会等で最大**120**人程度

＊よって、広さとしては十分と考えられます。

パターン2　総会、講演会、コンサートなどに利用する場合（イスのみ）

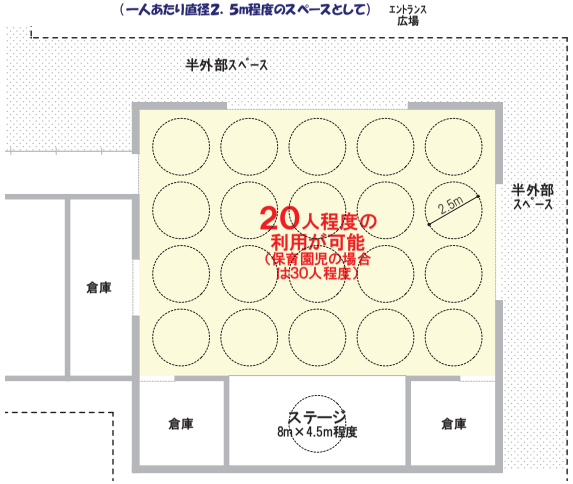
［現施設での活動実績による広さの検証］

現秋吉公民館での利用実績：
総会等で最大**120**人程度
↓
提案の多目的ホールの想定人数：
総会等で最大**250**人程度

＊よって、広さとしては十分と考えられます。

パターン3　健康体操、保育園児の室内運動などに利用する場合

（一人あたり直径2．5m程度のスペースとして）

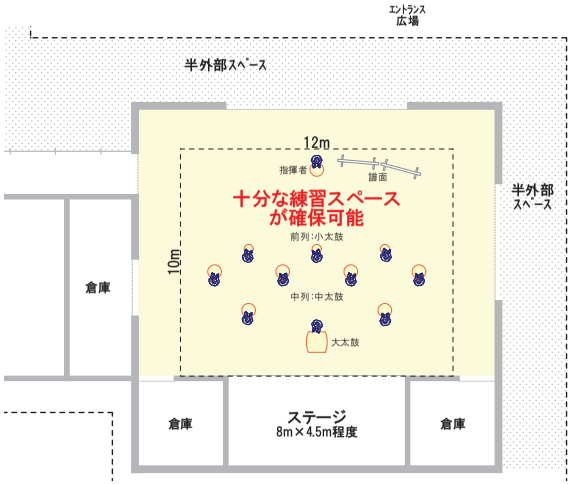


［現施設での活動実績による広さの検証］

現秋吉公民館での利用実績：
健康運動で**15**人程度
↓
提案の多目的ホールの想定人数：
健康運動で**20**人程度

＊よって、広さとしては十分と考えられます。

パターン4　草炎太鼓の練習場所として利用する場合



［現施設での活動実績による広さの検証］

現秋芳体育館での必要スペース：
太鼓の練習で**10m×12m**程度
↓
提案の多目的ホールのスペース：
平土間部分で**12m×16m**程度

＊よって、広さとしては十分と考えられます。

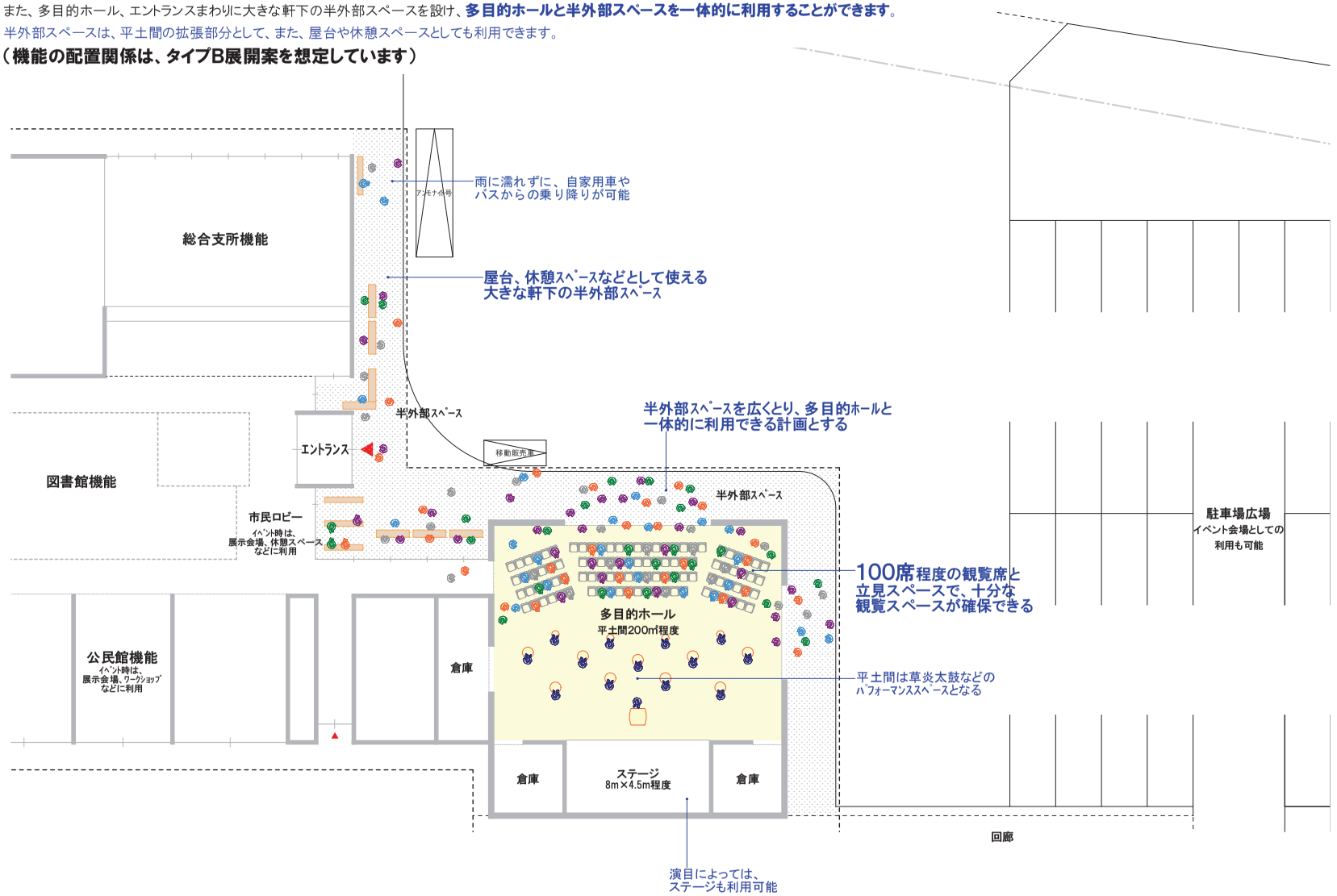
確認資料:平土間部分２００㎡程度の多目的ホールで可能な、活動のバリエーション（２）

資料 5−2
内容をご確認ください
秋

パターン５　ふれあい祭り等のイベントのメインステージとして利用する場合（雨天時など）

平土間部分200㎡程度の多目的ホールをメインステージとして利用した場合、草炎太鼓等の**パフォーマンスのスペースに加え、１００席程度の観覧席**を設置できます。
また、多目的ホール、エントランスまわりに大きな軒下の半外部スペースを設け、**多目的ホールと半外部スペースを一体的に利用することができます**。
半外部スペースは、平土間の拡張部分として、また、屋台や休憩スペースとしても利用できます。

（機能の配置関係は、タイプB展開案を想定しています）



別添1

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える市民ワークショップ（紙上版）

意見回答用シート

おなまえ［　　］　居住地（地区名）［　　］

（1）市の基本方針について、ご意見をお聞かせください！

「新秋芳総合支所庁舎等整備における市の基本方針（資料２）」において、「**体育館機能は整備せず、施設規模は 1,200 ㎡程度とする**」という、市の基本方針をお示しています。これまで体育館を使って活動されていた、バレーボールなどのスポーツに関しては、小学校、中学校の体育館をシェアしながら使って頂くことになります。また、ふれあい祭り、夏祭り、草炎太鼓の演奏、などの地域活動を展開する場所として、使いやすい多目的ホールを設置したいと考えています。その利用イメージについて、いくつかの場面を想定した資料を作成しています（資料５）。

この基本方針について、自由に意見をお書きください。

（2）計画案について、ご意見をお聞かせください！

「公民館、図書館、総合支所機能の配置の考え方（資料４）」において、体育館の跡地に建てることを想定して、公民館、図書館、総合支所の３つの機能のつながり方について、２つの考え方を示しています。

２つの考え方それぞれについて、意見回答用図面Ａ・Ｂ（別添 2-1、2-2）の中に自由に意見を書き込んでください。

２つの案のどちらかを選ぶのではなく、自由に記入いただいたご意見を参考に、今後、基本計画案として集約していきたいと考えています。

（ご意見は回答用図面の中に直接お書きください）

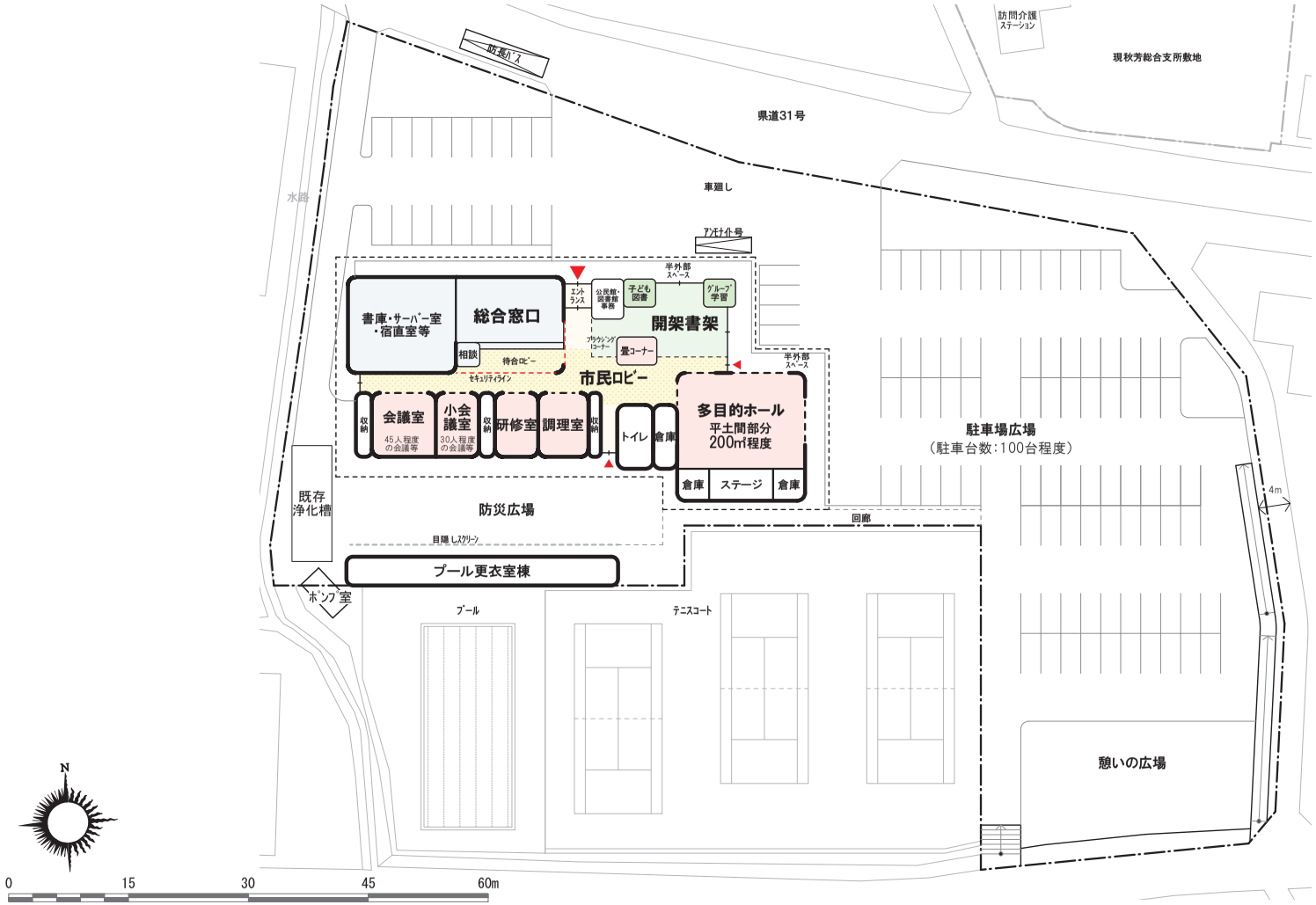
意見回答シートおよび回答用図面は、

7月22日（水）までに、同封の返信用封筒でお送りください。

市民の皆様のご協力よろしくお願い致します。

意見回答用図面Ａ：タイプA展開案についてのご意見を図面の中に自由に書き込んでください。

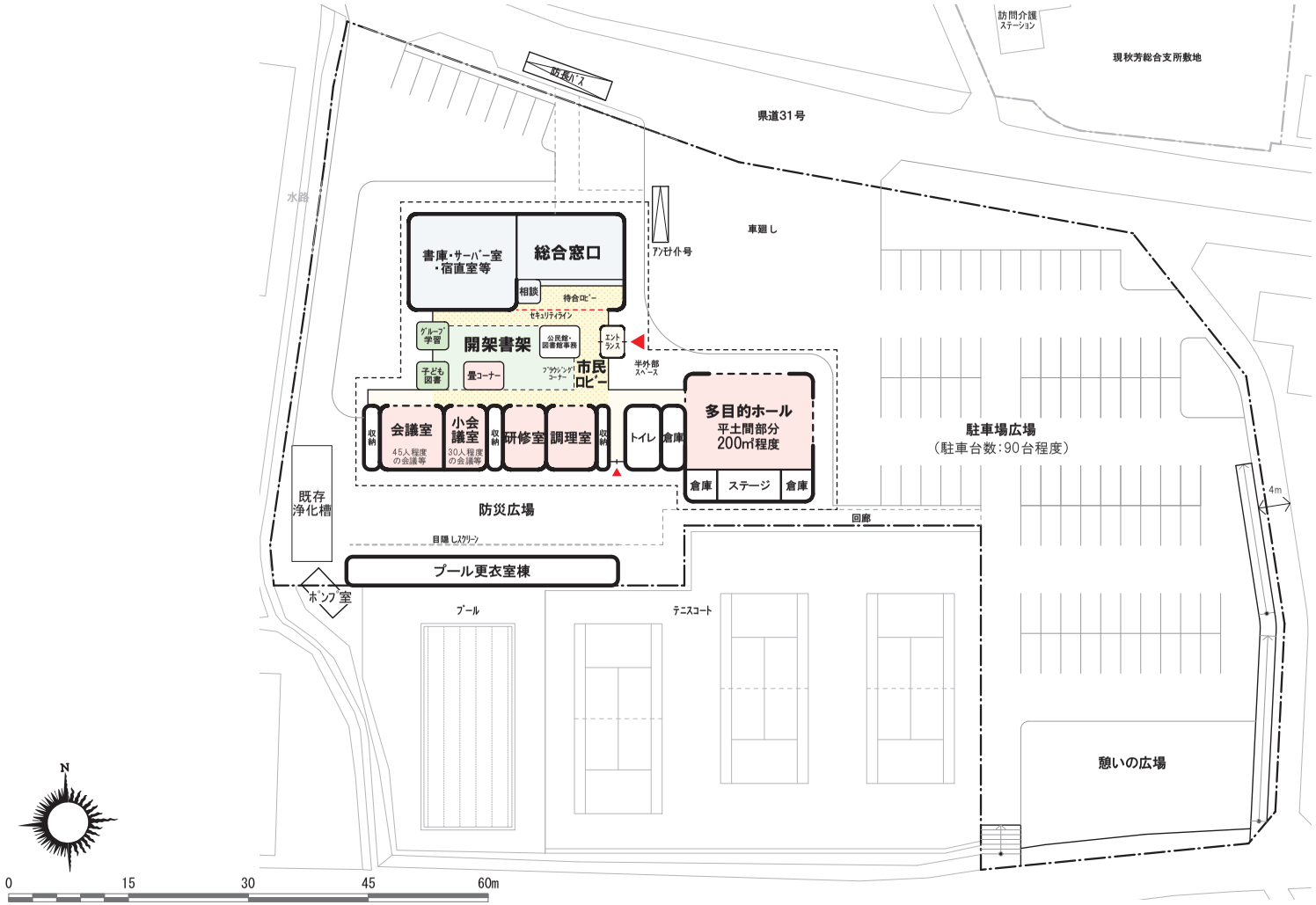
別添 2-1
意見回答用図面A　秋



お名前をお書き下さい
（　　）

意見回答用図面Ｂ：タイプB展開案についてのご意見を図面の中に自由に書き込んでください。

別添 2-2
意見回答用図面B　秋



お名前をお書き下さい
（　　）

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える
市民ワークショップ便り

No.4
2020.8.25

■施設整備における市の基本方針について、紙上で意見を募りました

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、４月以降延期を余儀なくされていた第４回市民ワークショップについては、７月中旬に紙上ワークショップというかたちで実施しました。

この紙上ワークショップでは、第３回市民ワークショップまでの議論の成果を踏まえながら、市から示された施設整備における基本方針「**体育館機能は整備せず、施設規模は1,200 ㎡程度とする**」について、市民の皆さまにお知らせするとともにご意見を頂きました。

■市の方針に概ねの理解は得られたものの、ご批判の声もありました

第３回までの市民ワークショップ参加者をはじめとする市民70名に資料を配布し、うち45名分の回答が得られました。回答を整理した結果、市の基本方針については、厳しい財政事情や、益々進行する人口減少という状況の中で、出来るだけコンパクトで、使いやすい施設として整備し、将来的な市民の負担を出来るだけ軽くすべきであるという考えの基で、概ねの理解が得られたのではないかと思います。

しかし、住民ヒアリングや、市民ワークショップで、解体する秋芳体育館の代わりにミニ体育館機能を併設することについて、多くの意見が出されたことに対する充分な議論が出来ていないことや、図書館機能に対する意見、この内容で新しい地域の中心がつくれるのかなどといったご批判の声もありました。

■新しい拠点施設が備えるべき機能等について引き続き議論を重ねます

本来、第４回市民ワークショップにおいて議論すべき内容を、一方通行のようなかたち（紙上ワークショップ）でお図りしたことで、大切な議論の流れを混乱させてしまったように感じています。第４回市民ワークショップは、最も時間をかけて話し合うべき段階でしたが、コロナ禍で４ヶ月の空白が生じたことで、少し性急に過ぎたと思っております。ご批判頂いた内容についても、引き続き検討が必要です。

現在は基本計画段階で、施設の大まかな枠組みを決める段階です。今後、基本設計段階でも、市民ワークショップにより検討を重ねて行く予定です。ご理解とご協力をお願い致します。

みんなで考える新しい拠点づくりの流れ

◎第1回ワークショップ　12/14(土)
- 秋芳地域の魅力と抱える課題
- こんな複合施設だったらいいな！

↓

◎秋芳中学校ワークショップ　1/17(金)

◎第2回ワークショップ　1/18(土)
- 建設場所について
- 必要な場所・空間の相互関係

↓

◎第3回ワークショップ　2/15(土)
- 「空間の構成図」について検討
- 体育館機能の維持・継承の考え方

↓

◎第4回ワークショップ(紙上) 7月中旬
- 市の基本方針について
- 公民館、図書館、総合支所の３つの機能のつながり方について

↓

◎第5回ワークショップ　9/19(土)　次回開催
- 基本計画案について

↓

パブリックコメント・住民説明会

↓

基本計画のとりまとめ

↓

◎第6回ワークショップ
- 配置、平面計画
- 内部空間と外部空間

↓

◎第7回ワークショップ
- 平面計画、断面計画、外観イメージ
- 建物の性能を比較

↓

基本設計のとりまとめ

施設整備における市の方針（配布資料から一部抜粋）

第３回市民ワークショップでは、ミニ体育館を複合し整備するタイプの考え方が評価されたところですが、新秋芳総合支所庁舎等の整備における市の方針としては「**体育館機能は整備せず、施設規模は1,200㎡程度とする**」ことになりました。

昨年の市の出生者数は７６人です。将来的な人口減少に備え市民への過度な負担を避けるため、コンパクトで利用しやすい施設整備が求められます。５００㎡の面積を追加した新たな体育館的な機能を備えたかたちでの整備は現実的には大変厳しい状況にあります。代替え可能な施設を活用して頂き、これまでの活動を継続して頂くことを切に願っております。

また、新庁舎の建設位置は、第２回市民ワークショップでの検討結果に従い「**秋芳体育館の解体跡地**」とすることを予定しています。仮設庁舎を建てず建設可能であり、費用削減効果が期待できることもありますが、工事期間中でも総合支所や公民館、図書館での市民サービスが継続できることが理由として上げられます。

今後は、多目的ホールの有効活用を検討することになります。大会議室や災害時には避難所として、また、健康寿命を延ばすための軽運動場、大切に続けてきた地域のお祭り等を支える会場、また、文化的な活動の発表の場として現在の機能を継承していきたいという意見が上がっています。バレーボールができる天井高はありませんが、音響や空調等の機能を充実させた使い勝手の良い施設として使って頂けるよう、今後も皆様とともに計画づくりを進めていきたいと考えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

第４回市民ワークショップ（紙上協議）のまとめ

第４回市民ワークショップ（紙上協議）では、次の２つのテーマについて市民の意見を募りました。

1：市の基本方針「体育館機能は整備せず、施設規模は1,200㎡程度とする」について

2：公民館、図書館、総合支所の、3つの機能のつながりについて

第４回市民ワークショップ（紙上協議）基本情報

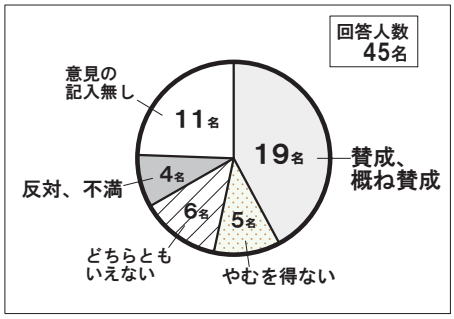
配布期間	2020.7.11～7.13	**配布数**	市民WS参加者	47名	**回答数**	市民WS参加者	32名
回答期間	2020.7.13～7.22		その他	23名		その他	13名
			合計	**70名**		**合計**	**45名**

1　市の基本方針について出された意見

「体育館機能は整備せず、施設規模は1,200㎡程度とする」という市の基本方針について出された記述式の意見を、１）体育館機能は整備しないことについて、２）施設規模は1,200㎡とすることについて、３）多目的ホール200㎡程度について、それぞれ「賛成寄りの意見」、「反対寄りの意見」等に整理し、意見をまとめました。なお、出された意見の中に各項目に関連するキーワード等が無かった場合は、「意見の記入無し」として分類しています。

１）体育館機能は整備しないことについて

■体育館機能の整備は不要：市の基本方針に賛成、概ね賛成、やむを得ない……24／45名



○秋吉小や秋芳中の体育館をシェアして利用すればよい

・室内スポーツは、秋吉小や秋芳中の体育館を活用すれば十分対応できる

・現在の使用頻度を考えると体育館機能は新たには不要

・小学校、中学校体育館の利用率を上げてほしい

○市の財政状況や出生率を踏まえ、将来の負担を少なくすることは重要

・人口減少など、将来的なことや予算面を考慮すれば、市の基本方針が妥当

■体育館機能の整備は必要：市の基本方針に反対、不満……4／45名

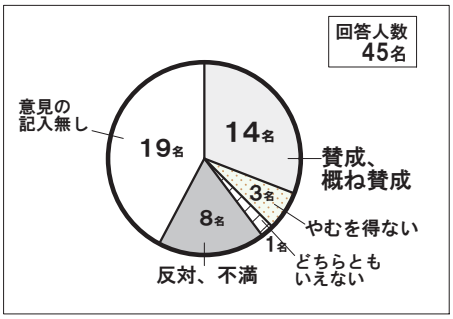
○学校体育館と、市民が利用する体育施設のシェアは難しい

・学校教育の中で求められる体育館の機能と市民活動の中で求められる機能は違っている

・市民の体育館を学校とシェアすることは、学校側、一般側も双方に使いにくいものになり、活動を抑えてしまう

２）施設規模は1,200㎡程度とすることについて

■コンパクトで利用しやすい施設にすべき：市の基本方針に賛成、概ね賛成、やむを得ない……17／45名



○将来的な負担を軽減するために、コンパクトで利用しやすい施設としてほしい

・今後の市の財政状況および将来の維持管理費用なども十分考慮したうえでの計画づくりが重要
・市民のニーズにしっかり応えつつも、なるべくコンパクトな庁舎を建てるのに賛成
・将来的な人口減少を考えれば、やむを得ない

■中途半端な施設では利用しにくくなる：市の基本方針に反対、不満……8／45名

○施設整備には、将来に向けたまちづくりという観点が必要

・「文化的で、安心安全な生活を提供する〝秋芳地域の新しい拠点〟を創る」という目的が、「建設費をカットする」という目的にすり変わっている
・人口が少なくなるといっても、ある程度の広さは必要。若者が定着する魅力あるまちづくりが必要

○中途半端な施設にならないように十分な検討が必要

・中途半端で使いにくいものをつくる方が余程無駄使いである
・何回も建て替えることができないので、十分なスペースの確保を検討し住民が納得できる施設としてほしい

３）多目的ホール200㎡程度について

■200㎡程度の多目的ホールで十分：市の基本方針に賛成、概ね賛成、やむを得ない……15／45名

○地域の文化活動の拠点として、200㎡程度の多目的ホールが整備されれば十分

・ステージが設置されていることで「ふれあい祭り」等のイベントに活用できることは大変利用価値がある
・半外部スペースの平土間部分が設けられており、多面的な利用が可能だと考えられる
・多目的ホールは、広さとしては現在の秋吉公民館大会議室以上に確保でき、十分である
・草炎太鼓の活動場所が無くなることを心配していたが、多目的ホールの設置によりその心配もなくなり安心

■200㎡程度よりも大きなホールが必要：市の基本方針に反対、不満……7／45名

○避難所としての利用を考え、面積を広くして出来るだけ収容人数を増やしたい

・多目的ホールは避難所等の利用を考えればもっと広い方が将来的に有効活用できる
・避難所として利用する場合の避難者の居住スペースとして、1人あたり3㎡は確保してほしい

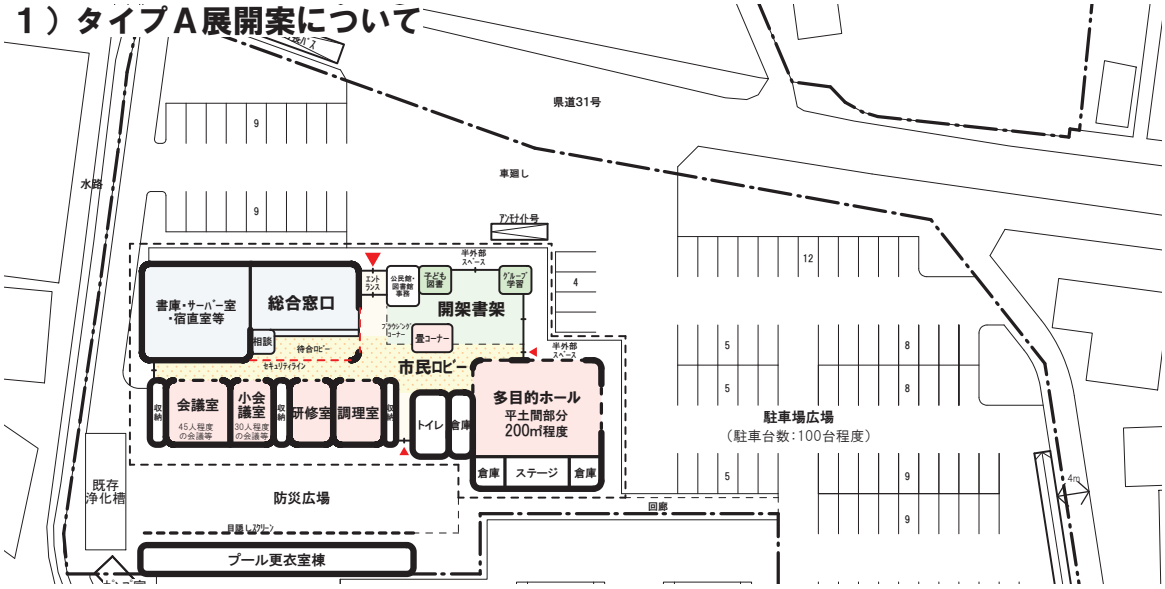
○市民の様々な活動のために、250～360㎡の面積を確保してほしい

・施設を構成する機能の広さを再検討し、1,200㎡の枠内で、多目的ホールをできるだけ広くしてほしい

２ 公民館、図書館、総合支所のつながり方について出された意見

公民館、図書館、総合支所の、３つの機能のつながり方について、紙上ワークショップで示したタイプＡ、タイプＢの２つの考え方について、出された意見をまとめました。

１）タイプＡ展開案について



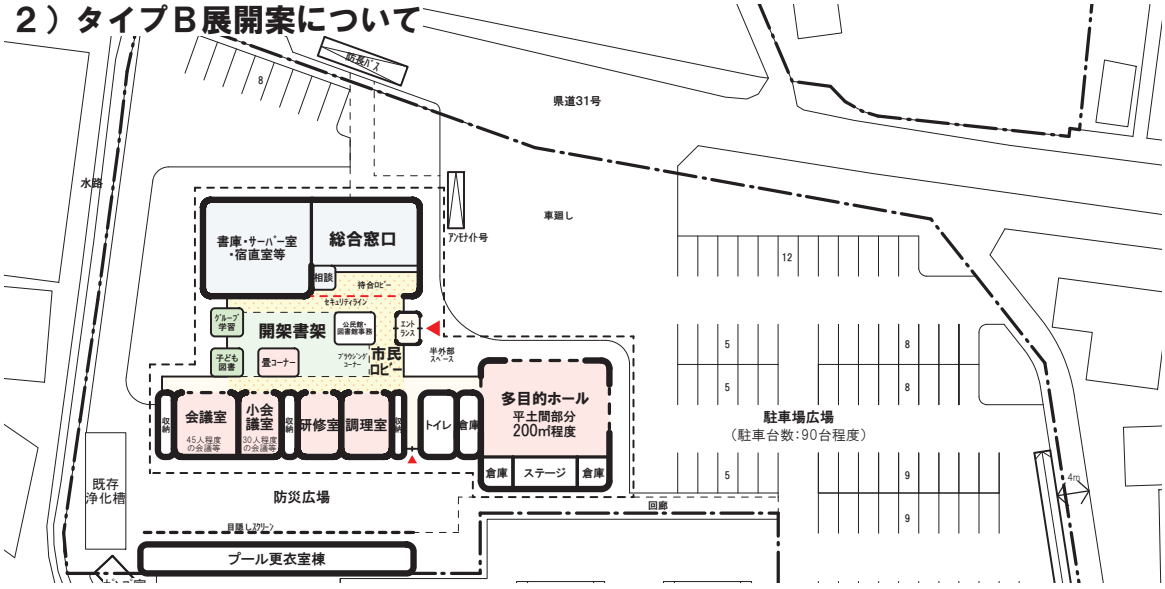
評価された点

〇市民ロビーを介して、それぞれの機能がつながる空間構成は、コンパクトでまとまりがあって良い
〇図書館が、タイプＢに比べて管理がしやすそう
〇図書館から、バスや送迎車が確認できるのが良い
〇エントランスが、北側駐車場から近くて良い

改善すべきとされた点

〇図書館と多目的ホールは、防音上離した方がよい
〇公民館と支所は、離した方がお互い利用しやすい
〇公民館は、全ての部屋を壁で仕切るのではなく、柔軟な使い方ができるような工夫をしてほしい

２）タイプＢ展開案について



評価された点

〇市民ロビーが、図書館と一体的に利用できる空間構成は、明るく広がりが感じられて良い
〇市民ロビーから、バスや送迎車が確認できて良い
〇総合窓口と公民館に適度な距離があるのが、お互い利用しやすそうで良い
〇他の機能への音の影響を考えると、多目的ホールが別棟的に配置されているのが、防音上良さそう

改善すべきとされた点

〇市民ロビーが狭く感じる。通路のようになりそう
〇オープンな図書館は、時間外の管理が難しそう
〇図書館が、落ち着いて利用ができなさそう
〇公民館は、全ての部屋を壁で仕切るのではなく、柔軟な使い方ができるような工夫をしてほしい
〇エントランスが駐車場から遠い

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える市民ワークショップ

第5回

日　時：令和2年　9/19(土) 14：00～16：30

場　所：秋吉公民館２階 大会議室

－テーマ－

- 第3回市民 WS から第4回市民 WS(紙上 WS)までの流れを振り返ります
- 第4回市民 WS に頂いた回答･意見についてまとめたものを確認します
- これまでの WS の成果を基にまとめた平面計画素案について説明します
- 平面計画素案について意見を出し合います

－プログラム－

14:00

ステップ１：はじめに

･あいさつ(秋芳総合支所長)

14:10

ステップ２：第５回市民ワークショップの目的と流れを説明します

･第5回市民ワークショップの目的と流れを説明します。

14:15

ステップ３：第３回市民ワークショップから、第４回市民ワークショップ（紙上 WS）までの流れを振り返ります

･第3回市民ワークショップ（2/15 開催)以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、ワークショップが開催出来ない状況の中で、7月に行った第4回市民ワークショップ(紙上 WS)までの流れを振り返ります。(資料－１)

14:30

ステップ４：第４回市民ワークショップ（紙上 WS）で頂いた回答・意見についてまとめたものを説明します

･第4回市民ワークショップで出された意見をまとめた内容について説明します。
（ワークショップ便り、資料-2）
･まとめた意見について、全体で議論します。

14:50
ステップ５：これまでの市民ワークショップで出された意見を集約して計画チームでまとめた平面計画素案について説明します

・これまで市民ワークショップなどで出された意見と、いろいろな計画的な条件を踏まえて、計画チームでひとつの案（平面計画素案）にまとめました。（資料−３）

・平面計画素案について、敷地の中での配置、空間要素ごとのつながりなどについて検討して、気がついたことなどを発表して、全体で議論します。

15:30
ステップ６：施設を構成する主要な機能のうち、多目的ホールの場所について話し合います

・これまで地域で行われて来たお祭りや、太鼓の練習などの場所としての役割を担うことが期待されている多目的ホールのつくり方について、計画チームの案を説明します。（資料−４）
・位置、外の広場との関係、他の空間とのつながり方などの視点から評価しましょう！
・全体で意見を出し合って議論します。

16:00
ステップ７：新総合支所の主な整備方針および事業スケジュールなどについて確認します

・新総合支所への交通アクセス計画、防災計画、事業スケジュールなどについて確認します。（資料−５）
・全体で意見を出し合って議論します。

16:20
ステップ８：　まとめ

・今日のまとめと今後の計画づくりの流れを確認します。
・感想カードを書いて下さい。

第3回市民ワークショップから、紙上ワークショップに至った経緯

第3回市民ワークショップでの議論(2/15)

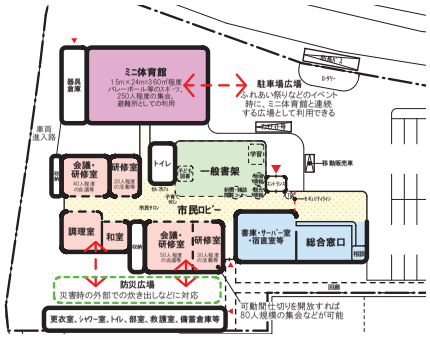
第3回市民ワークショップでは、計画チームが示した4つの「空間の構成図」について議論した。
議論の結果、「ミニ体育館を複合して整備し、施設規模を1,700㎡程度とした、タイプB-2案」が最も高く評価された。

タイプA－1

市民ロビーに面して必要な機能を配置し、それぞれの活動が市民ロビーを介して緩やかにつながる空間構成（施設規模 1,200㎡程度）

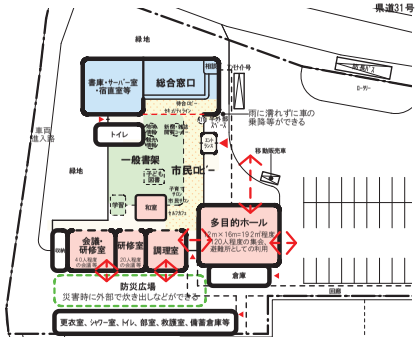
タイプA－2

タイプA－1を基に、多目的ホールの代わりにミニ体育館を設置し、公民館と図書館機能を充実させた空間構成（施設規模 1,700㎡程度）



タイプB－1

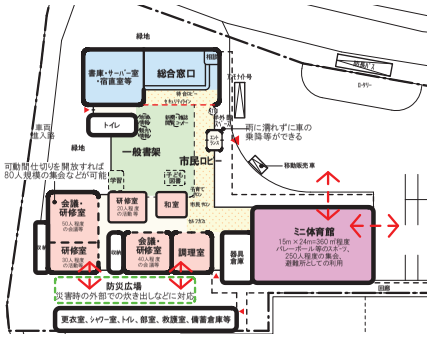
市民ロビーと図書館を中心にして、その廻りに必要な機能を配置した広場型の空間構成（施設規模 1,200㎡程度）



第3回市民ワークショップにおいて最も評価された案

タイプB－2

タイプB－1を基に、多目的ホールの代わりにミニ体育館を設置し、公民館、図書館機能を充実させた空間構成（施設規模 1,700㎡程度）



美祢市の方向性の決定

第3回市民ワークショップで最も評価されたタイプB-2

「ミニ体育館360㎡程度を併設し、全体で1,700㎡程度の案」

↓

・美祢市が直面する、高齢化の進行、出生率の低下（昨年度の美祢市の出生数76人）といった課題を踏まえると、できるだけコンパクトにつくり、財政負担を減らすという方針が、庁内検討委員会(6/11)で示された。

「事業規模は1,200㎡程度、体育館は整備しない」

という市の方向性が決定された。

・新庁舎等建設特別委員会(7/1)にて、市長より「新総合支所庁舎等整備庁内検討委員会の方針は、妥当であり尊重する。整備に当たっては、本市の財政計画とも整合を図りつつ、ワークショップでの住民からの意見を可能な範囲で反映させ、また、議会新庁舎等建設特別委員会のご報告を踏まえて事業を進めていく。」と発言があった。

↓

・市の方向性を受けて、タイプB-2の基本理念を大切にして、基本計画案の作成作業を進めた。

計画づくりの原則

- **事業規模1,200㎡程度**
- **体育館は整備しない**
- **地域の文化活動の拠点として多目的ホールを整備する**

第4回市民ワークショップ（紙上協議）の開催(7/11～22)

・第3回市民ワークショップで評価された考え方と、市の方向性を受けて、基本計画案を詰める作業の場として位置づけていた第4回市民ワークショップが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、4月以降延期になっていた。

・合併推進債の期限が2022年度末に定められており、これ以上基本計画の策定を遅らせることが出来ず、紙上というかたちでワークショップを開催した。

・紙上ワークショップでは、「**市の方向性**」および、市の方向性を踏まえた、「**公民館、図書館、総合支所の、3つの機能のつながり**」について、市民の意見を求めた。

「公民館、図書館、総合支所の、3つの機能のつながり」について示した、2つのタイプの考え方

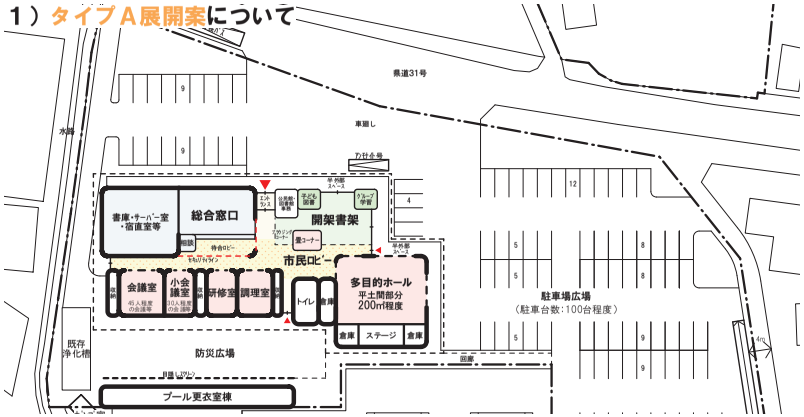
タイプA 展開案

タイプB 展開案

平面計画素案をまとめる上での大事な考え方

第4回市民ワークショップ（紙上協議）で示した、「公民館、図書館、総合支所の3つの機能のつながりについての考え方」について、市民から出された意見のまとめ

1）タイプA展開案について



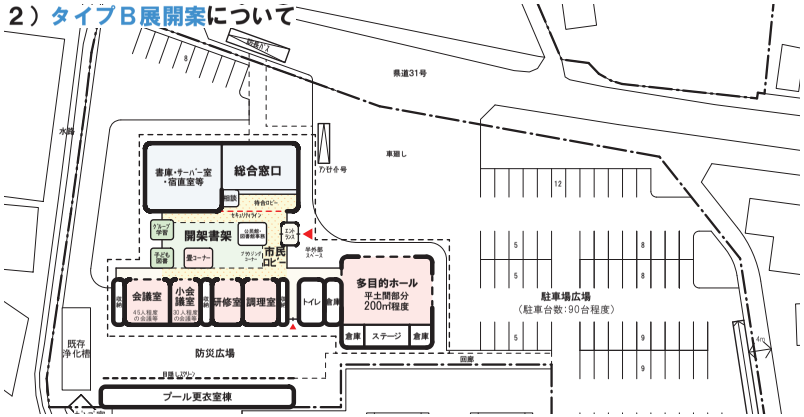
評価された点

○市民ロビーを介して、それぞれの機能がつながる空間構成は、コンパクトでまとまりがあって良い
○図書館が、タイプBに比べて管理がしやすそう
○図書館から、バスや送迎車が確認できるのが良い
○エントランスが、北側駐車場から近くて良い

改善すべきとされた点

○図書館と多目的ホールは、防音上離した方がよい
○公民館と支所は、離した方がお互い利用しやすい
○公民館は、全ての部屋を壁で仕切るのではなく、柔軟な使い方ができるような工夫をしてほしい

2）タイプB展開案について



評価された点

○市民ロビーが、図書館と一体的に利用できる空間構成は、明るく広がりが感じられて良い
○市民ロビーから、バスや送迎車が確認できて良い
○総合窓口と公民館に適度な距離があるのが、お互い利用しやすそうで良い
○他の機能への音の影響を考えると、多目的ホールが別棟的に配置されているのが、防音上良さそう

改善すべきとされた点

○市民ロビーが狭く感じる。通路のようになりそう
○オープンな図書館は、時間外の管理が難しそう
○図書館が、落ち着いて利用ができなさそう
○公民館は、全ての部屋を壁で仕切るのではなく、柔軟な使い方ができるような工夫をしてほしい
○エントランスが駐車場から遠い

第4回市民ワークショップで出された意見を踏まえた、平面計画素案をまとめる上での大事な考え方

①エントランス
・市民の誰もが気軽に入りやすいような表情、構えをつくる
・駐車場からの動線を短くし、高齢者等が利用しやすい配置とする
・大きな半外部スペースを設けるなど、車寄せから雨に濡れずに入れるように工夫する

②市民ロビー
・明るく広がりが感じられる、大らかな空間とする
・市民の誰もが気軽に集まることができる、みんなの居場所とする
・公民館、図書館、総合支所の３つの機能を緩やかにつなぎ、活動が展開する場とする

③総合支所機能
・駐車場、エントランスから近い位置とし、アクセスしやすい配置とする
・外部空間を含め、施設全体が管理しやすい位置に配置する
・公民館と適度に距離を保ち、お互いに使いにくくならないように配慮する
・浸水被害に備え、中２階にサーバー室などを配置することを検討する

④図書館機能
・図書館を利用しながら、バスや家族の迎えなどを待てるように工夫する
・静かに落ち着いて利用ができるように配置を配慮する
・閉館時に適切に本を管理するため、他の機能と区切りやすい配置とする

⑤公民館機能
・壁の配置と間仕切りの工夫により、柔軟な使い方ができる部屋の構成を工夫する
・総合支所と適度に距離を保ち、お互いに使いにくくならないように配慮する
・公民館事務と図書館事務が連携しやすく、それぞれの業務が行いやすいような配置とする

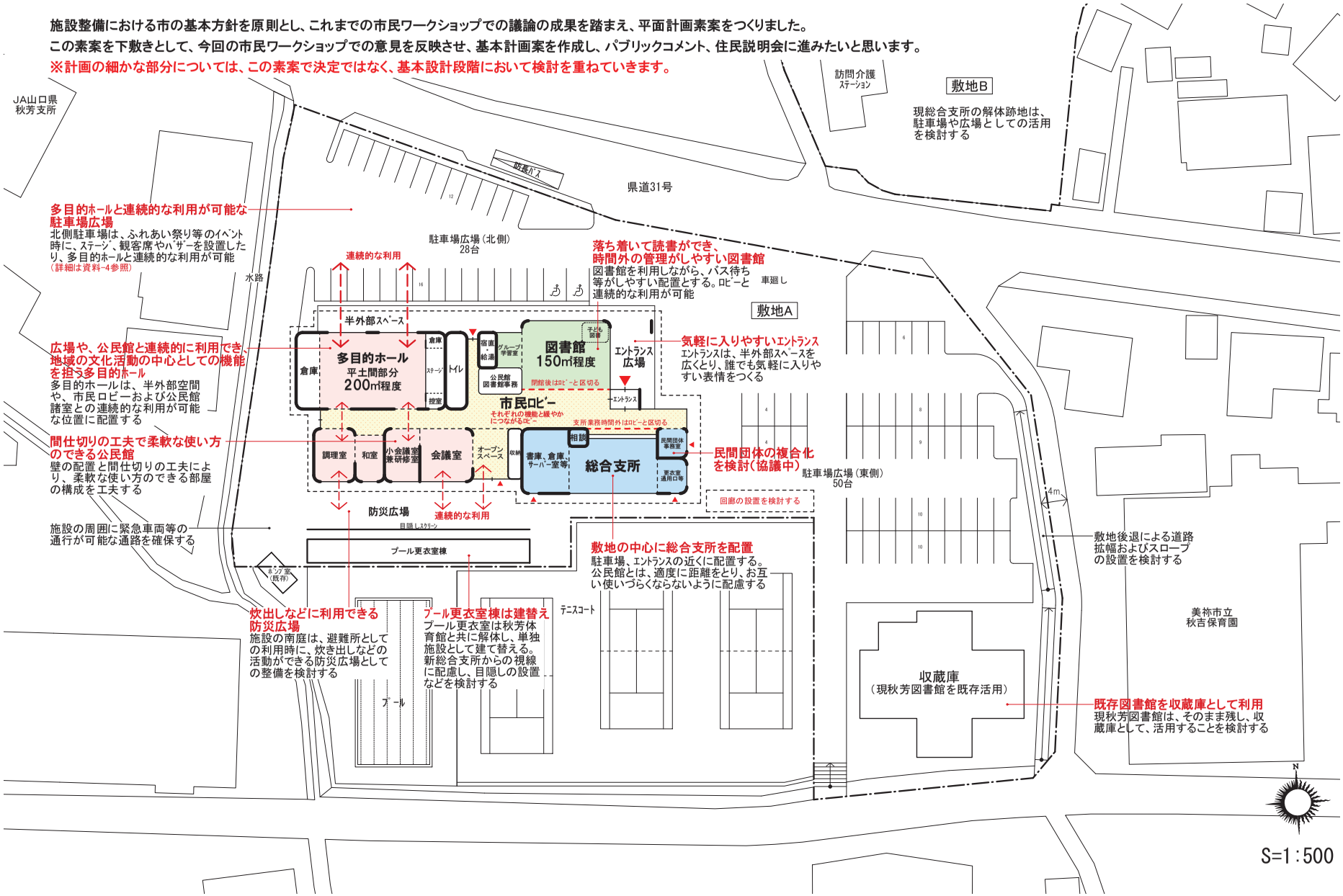
⑥多目的ホール
・地域の文化活動の拠点機能を担うため、イベント時などの半外部とのつながりに配慮する
・利用率をできるだけ高めるため、公民館機能との連続的な利用ができる配置とする
・太鼓の練習時など、音の問題に配慮する
・避難場所としての利用に配慮する

⑦民間施設（複合化に向けて協議中）
・公共施設部分と民間施設部分の区切り方に配慮し、セキュリティやプライバシーを保つ
・民間施設の職員の利便性向上のため、直接外部へ出られるような配置とする

市の基本方針と市民ワークショップの成果を踏まえた平面計画素案

資料-3 秋

施設整備における市の基本方針を原則とし、これまでの市民ワークショップでの議論の成果を踏まえ、平面計画素案をつくりました。
この素案を下敷きとして、今回の市民ワークショップでの意見を反映させ、基本計画案を作成し、パブリックコメント、住民説明会に進みたいと思います。
※計画の細かな部分については、この素案で決定ではなく、基本設計段階において検討を重ねていきます。



ふれあい祭りなど、イベント時の利用イメージ

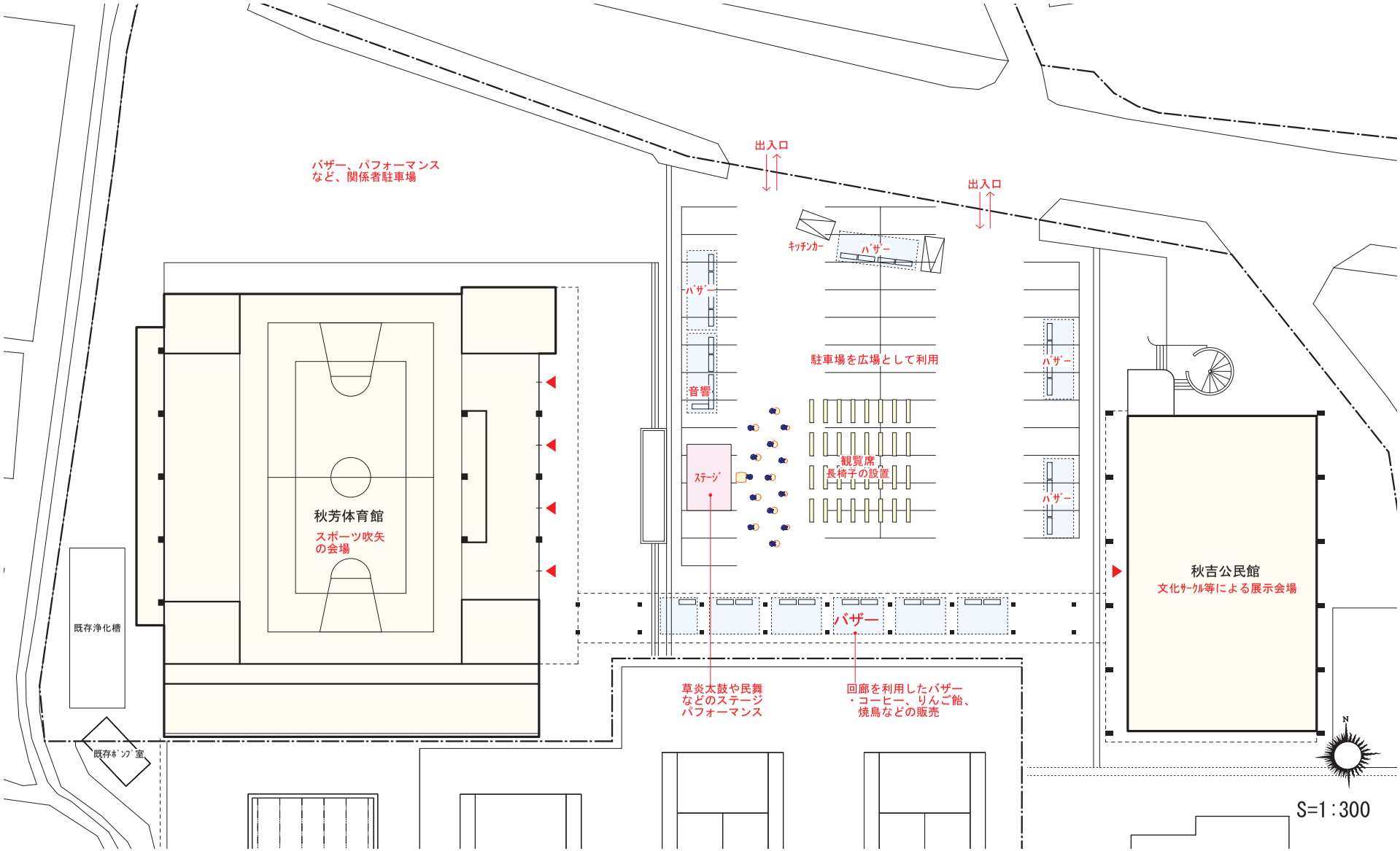
資料-4-1 秋

今回提示した平面計画素案では、多目的ホールを施設の北西側に配置しています。この配置は、北側駐車場広場と連続的な利用が可能な配置であるため、
ふれあい祭りなどのイベント時には、多目的ホールと、半外部空間および駐車場広場、さらに公民館機能を連続的に利用することができ、施設の利用の幅が広がります。
※計画の細かな部分については、この素案で決定ではなく、基本設計段階において検討を重ねていきます。

参考資料：２０１９年ふれあい祭り 現況調査

資料-4-2 秋

イベント時の広場の使い方の参考資料として、2019年度のふれあい祭りにおける駐車場広場の利用状況の資料を示します。



新総合支所の主な整備方針および事業スケジュール

秋吉地区のまちの構造を踏まえた、新総合支所が担う役割

秋吉台、秋芳洞という世界有数の景勝地の入口にあり、地域の中心の役割を担っていた歴史を踏まえ、地域固有の資源に関する情報の受発信拠点としての役割を担うことを検討します。

秋吉地区は、山に囲まれた盆地状の平場にひろがった農村集落である。古くは下関と萩をつなぐ赤間関街道中道筋の宿場であり、山陰側の三隅と十文字・小郡方面をつなぐ道（現県道31号）との結節点となっている。
世界有数の鍾乳洞である秋芳洞の入口に近く門前町的な役割を担い、観光客で賑わっていた時には多くのお店が立ち並んでいた。旧街道の宿場であり、景勝地の入口にあるという結節点としての立地上の特性が、周辺の集落を含めた地域の中心としての役割を担うことにつながっていた。
秋芳地域の地域づくりにおいては、秋吉台、秋芳洞という地域域固有の資源に関する情報の受発信拠点（ビジターセンター）として、複合施設の役割が期待される。

交通アクセス計画

敷地の前まで「あんもないと号」を延伸することを検討します。

新総合支所の敷地が面する県道31号秋芳美東西寺線は、防長バスの路線（秋芳洞～新山口駅線）になっており、敷地に面して秋吉下里バス停留所が設置されている。
また、敷地付近には、「美祢市地域公共交通網形成計画」において、美祢市内の主要な交通結節点として設定されている、中国JRバス秋吉駅が立地している。
公共交通によるアクセス性の向上を目的とし、中国JRバス秋吉駅に停留するあんもないと号の経路を、新総合支所の敷地を経由するよう変更することを今後検討する。

防災計画

「美祢市地域防災計画」に基づき、災害対策拠点としての役割および地域住民の避難場所として、必要な機能を検討します。

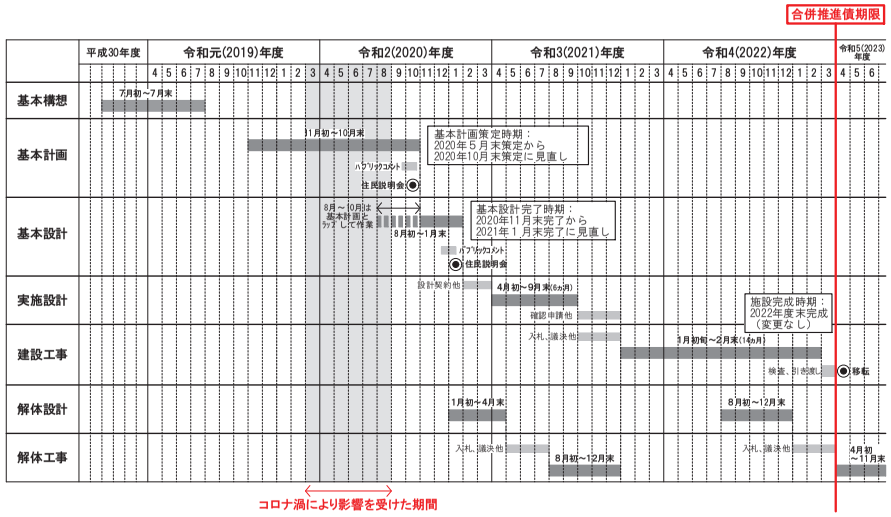
（1）災害対策拠点としての機能
災害発生時等の非常時において、ライフラインが途絶した場合でも、最低限業務を継続できるために、以下のような設備、機能を備えることを検討する。
① 支所部分において、災害発生後は直ちに災害対策拠点として利用できるように検討する
② 災害発生時における管内の情報収集、及び、応急対策、関連機関との伝達機能に支障をきたさないように、自家発電設備やバッテリー等の予備電源の整備を図る
③ 保管上重要な書類、サーバーや非常用電源などの災害対策応急活動等に必要な機能を収蔵する場所は、河川氾濫時の想定浸水深よりも高い位置とし、耐火性の高いつくりとする
④ 緊急時、災害時における被災者等への的確な情報提供を行う設備の整備を図る
⑤ 災害時に対応した備蓄倉庫の整備を計画する

（2）避難場所としての機能
あらかじめ、災害時において避難する被災者数や避難期間、受け入れ態勢などを想定し、安全に一定の生活環境を確保できるよう検討する。
① 多目的ホールや会議室、和室を避難所として有効に活用できる構成とする
② 炊き出しや支援物資集積拠点として活用できる構成とする
③ 断水時に雨水や井水の中水利用の可能性を検討する
④ 駐車場や広場などを屋外避難場所として活用できる計画とする

事業スケジュール

合併推進債の期限である2022年度末の完成を目標とします。

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、事業スケジュールを基本構想策定時点のスケジュールから見直しました。
ただし、合併推進債の期限が2022年度末であるため、施設の完成時期は当初の予定通り2022年度末を目標とします。



秋芳地域の新しい拠点づくりを考える
市民ワークショップ便り

No.5
2020.10.28

基本計画の素案について、概ねの合意が得られました！

昨年末から取り組んできた新秋芳総合支所整備の基本計画づくりの「第５回市民ワークショップ」が、９月19日に開催されました。途中、コロナ渦で６ヶ月間ワークショップが開催できず、第４回は紙上での変則的な開催となりました。第５回もグループでの議論を避け、間隔を開けた教室型の配置での開催になりました。

計画チームから、施設を構成する各機能の大まかなつながり方や、ふれあい祭りなどのイベント時の利用イメージなどについて説明を行ったのちに、参加者の皆さんから自由に意見を出してもらいました。主には、1,200㎡程度の規模で新しい地域の拠点の役割が担えるのか、という意見や、地域で協力して賑わいをつくることが大切という意見のほか、人口減少が進む状況を踏まえ、コンパクトにつくり、しっかり使いこなすべき、という意見なども出されました。

議論の末、地域がおかれている状況の中で、基本計画の素案として概ねの合意が得られました。この成果を反映して基本計画（案）を取りまとめ、９月29日から30日間、総合支所や各出張所などで公開し、パブリックコメント（意見募集）を実施しました。

基本計画は、施設整備の基本理念や施設構成の大枠についての考え方を示すもので、施設の詳細については、基本設計段階で引き続き検討を重ねていきます。

新型コロナウイルス感染症対策として、これまでと違って教室型の机配置でのワークショップとなりましたが、参加者の方々からは活発に意見が出されました！

第5回市民ワークショップ（9/19）プログラム

ステップ1	はじめに
ステップ2	第5回市民ワークショップの目的と流れを説明
ステップ3	第3回市民ワークショップから、第4回市民ワークショップ（紙上）までの流れの確認
ステップ4	第4回市民ワークショップ（紙上）で出された意見についてまとめたものを説明
ステップ5	これまでの市民ワークショップで出された意見を集約して計画チームでまとめた平面計画素案について説明
ステップ6	施設を構成する主要な機能のうち、多目的ホールの場所について議論
ステップ7	新総合支所の主な整備方針および事業スケジュールなどについて確認
ステップ8	まとめ

みんなで考える新しい拠点づくりの流れ

基本計画段階

◎第1回ワークショップ　12/14(土)
- 秋芳地域の魅力と抱える課題
- こんな複合施設だったらいいな！

↓

◎秋芳中学校ワークショップ　1/17(金)

◎第2回ワークショップ　1/18(土)
- 建設場所について
- 必要な場所・空間の相互関係

↓

◎第3回ワークショップ　2/15(土)
- 「空間の構成図」について検討
- 体育館機能の維持・継承の考え方

↓

◎第4回ワークショップ(紙上) 7月中旬
- 市の基本方針について
- 公民館、図書館、総合支所の３つの機能のつながり方について

↓

◎第5回ワークショップ　9/19(土)
- 基本計画案について

↓

パブリックコメント・住民説明会

基本計画のとりまとめ

↓

基本設計段階

◎第6回ワークショップ
- 配置、平面計画
- 内部空間と外部空間

次回開催

↓

◎第7回ワークショップ
- 平面計画、断面計画、外観イメージ
- 建物の性能を比較

↓

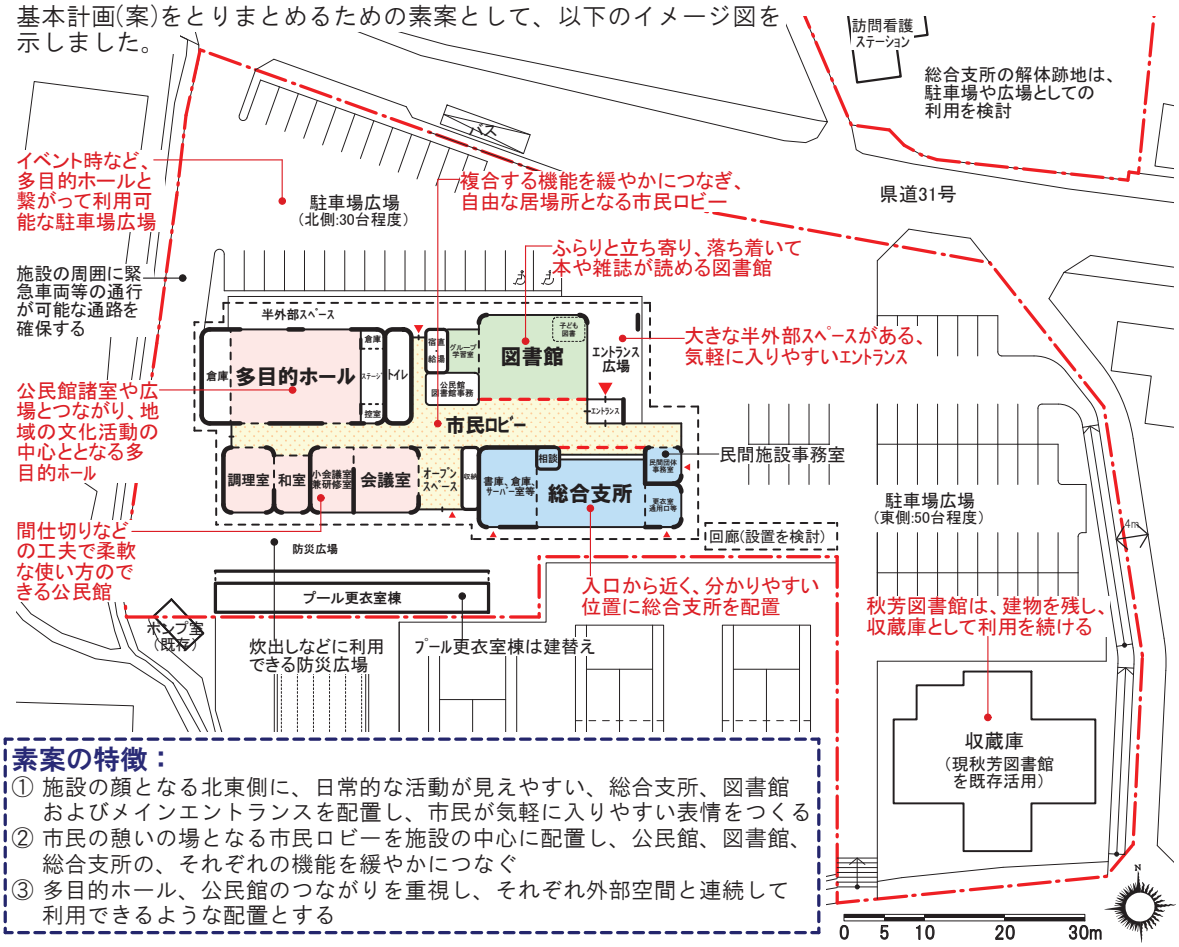
基本設計のとりまとめ

↓

実施設計段階へ

施設の大まかな枠組みを示し、それぞれの機能の配置の考え方などについて説明しました

基本計画(案)をとりまとめるための素案として、以下のイメージ図を示しました。



素案の特徴：

① 施設の顔となる北東側に、日常的な活動が見えやすい、総合支所、図書館およびメインエントランスを配置し、市民が気軽に入りやすい表情をつくる
② 市民の憩いの場となる市民ロビーを施設の中心に配置し、公民館、図書館、総合支所の、それぞれの機能を緩やかにつなぐ
③ 多目的ホール、公民館のつながりを重視し、それぞれ外部空間と連続して利用できるような配置とする

ワークショップでは、参加者から様々な意見が出されました

施設内容について、○○をもっとこうしてほしい

○ふれあい祭りなど、イベント時の利用を考え、多目的ホールは東側にひらく位置に配置してほしい。素案で示された建物の北側の広場では、狭い気がする。

○地域に賑わいを生むためにはお店や金融機関などの複合が重要。ここに来れば何でも揃っているという、ワンストップサービスを実現してほしい。

○地域の情報発信機能や、加工所としても使える調理室など、地域で頑張っている人を後押しできるような施設にしてほしい。

○施設の充実のため、多目的ホールを除いた部分で1,200㎡程度として計画してほしい。公民館に会議室がもう一部屋ほしい。

○地域の中心を担う施設なので、多目的ホールをもう少し大きくしてほしい。

賑わいをつくるのは、これからの私たちの仕事

○地域に点在している他の施設とのつながりを生むビジターセンターとしての役割を果たせば、新総合支所に何から何まで揃っていなくてもよい。

○建物だけでなく運営こそ大事。地域のみんなで協力して、賑わいをつくることがこれからの地域づくりに重要。

○市にお金がなければ、外貨を稼ぐという考え方はどうか。地域には歴史家や生け花の先生などたくさんの人材がいる。市外から受講生を集め、受講料をもらったりするようなことは考えられないか。

○今日のような議論を継続することが大事。市民と行政が身近に話し合える場をつくってほしい。みんなが一緒になって取り組むことで、賑わいが生まれる。

感想カードの中から、一部を紹介します

○前向きな意見がたくさん出て、これまでのワークショップ以上に参加された皆様の熱意を感じた。参加された者だけではなく、町民（市民）一人一人が、このような気持ちで、まちづくりを進めることが大切だと思います。

○１つの場所に集約して人を集めることはとてもいいことだと思うが運営の仕方、市民の使い方が大切になると思う。施設は小さくても構いませんが、将来的に盛り上がるような使い方をしていきたい。

○限られた予算の中で、多くを取り込むことは大変だと思いますが、要は人にありきだと思います。いかに人材を掘り起し、やる気を出させるのも行政の仕事だと思います。施設を生かすために。

○秋芳地域独自の特徴を活かした資源、産業等、外部へ情報発信している団体などの情報発信の場として活用できれば、観光と経済の両立が実現できるのではと思います。

○会議室の隣の和室はいるのか。防災のためなら、ホールに一部畳をひけばいいのでは？図書館の中に、畳の部分が欲しい（幼児が寝たり、本を読んでもらったりできるのでは）。

○テニスコートとの関連性を考えてください。毎日、中学生、一般の人が使用していますので、大会等開催の時、父兄の応援の場所が回廊側ですので、検討お願いします。

基本計画は施設の大まかな枠組みを決める段階です。今後の基本設計段階では、施設の詳細な部分を検討していきます。
今後も市民ワークショップを予定しておりますので、市民の皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

○お問い合わせ先：美祢市秋芳総合支所 総合窓口課　〒754-0511 美祢市秋芳町秋吉5335-1
TEL: 0837-62-1910　FAX: 0837-62-1828　E-mail: s-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp
○市民ワークショップ便り発行：美祢市秋芳総合支所 総合窓口課
○基本計画・基本設計策定業務受託事務所：
株式会社 龍環境計画 TEL:03-3383-8673

まちの中心づくりを考えよう！
秋芳中学校 まちづくりワークショップ

日 時：令和２年 **1/17(金) 13:40~15:30 (5･6 時限)**

場 所：秋吉公民館 大会議室

－プログラム－

13:40
ステップ1：はじめに

・あいさつ
・現在計画づくりを進めている秋芳総合支所、秋吉公民館、秋芳図書館の建替え計画と、12/14 に開催した第１回市民ワークショップの内容等について説明します。
・今日の秋芳中学校まちづくりワークショップの進め方について説明します。

13:50
ステップ2：秋芳のまちの、ここが好き

・まちの中で、気に入っていること、ものは何ですか？
・秋芳のまちに暮らしていて好きな場所や、大切な場所はどこですか？
ポストイットに記入して下さい。
※いくつでも構いません。一つのことを一枚に書いて下さい。(以下の作業でも同様にして下さい)

14:00
ステップ3：秋芳のまちの、ここは何とかしたいな

まちの中で、ここは何とかしたいな(課題だな)と思うことはなんですか？
ポストイットに記入して下さい。

14:10

ステップ4：「こんな場所があったらいいネ」、
「こんなことができたらいいネ」について考えましょう

まちの中心に、秋芳総合支所と秋吉公民館と秋芳図書館を一緒につくる計画です。
その中に、「こんな場所があったらいいネ」、「こんなことができたらいいネ」と思うことはなんですか？ ポストイットに記入して下さい。

＊ 休 憩（14:30～14:40）＊

14:40

ステップ5：ポストイットを模造紙に貼り付けて整理しましょう

グループで出た、「こんな場所があったらいいネ」、「こんなことができたらいいネ」などの意見を、模造紙に貼り付けて整理しましょう。

14:55

ステップ6：全体に発表しましょう

ステップ５の成果を、全体に発表しましょう。

市民ワークショップでの作業成果物

15:20

ステップ7：感想カードを書いてください

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える 市民ワークショップ便り

特別号

2020.3.27

WS便り発行：美祢市秋芳総合支所 総合窓口課

秋芳中学校ワークショップを開催しました！

私たちは、こんな拠点施設が欲しい！！

秋芳地域の新しい拠点づくりを考える市民ワークショップが進んでいる中、地域の将来を担うことになる中学生は、今、何を考え、何を求めているのかを探ろうということで、2020年１月17日、秋吉公民館において、秋芳中学校1・2年生45名の参加による中学生ワークショップを開催しました。5～6名ずつ、８班に分かれて、まず、自分たちが住んでいる地域の良さをどのように感じているのか、また、何を課題と感じているのかについての意見を出し合ってもらいました。自然環境の豊かさや地域の人のやさしさ等について多くの生徒さんが高く評価している様子が分かりました。また空き家が多くなっていることや人が少ないことなどに対する不安を持っていることも分かりました。

次に、これから整備する秋芳地域の新しい拠点施設に対し、こんなことが出来たら良いな、こんな場所があったら良いな、という希望を班に分かれて自由に出し合ってもらいました。カフェのような落ち着いた場所が欲しい、静かに集中して勉強できる場所が欲しい、みんなのふれあいの場所にして欲しいなどといったみんなが集まることが出来る居場所づくりへの希望や、地域でつくった野菜の直売所があったらいい、子ども達が安全に遊べる大きな広場が欲しい等、現実的な希望や、娯楽施設が欲しいといった賑やかさに憧れる中学生らしい希望もありました。これらの意見は、今後の計画づくりにできるだけ生かしていきたいと思っています。

この便りでは、中学生ワークショップでの話し合いの詳細についてお知らせします。

秋芳中学校まちづくりワークショップ プログラム

ステップ1　はじめに
・現在計画づくりを進めている秋芳総合支所、秋吉公民館、秋芳図書館の建替え計画と、12/14に開催した第1回市民ワークショップの内容等について説明しました

ステップ2　秋芳のまちの「ここが好き」
・まちの中で、気に入っていること、ものについてポストイットに書き出してもらいました
・秋芳のまちに暮らしていて好きな場所や、大切な場所に丸シールを貼ってもらいました

ステップ3　秋芳のまちの「ここは何とかしたいな」
・まちの中で、ここは何とかしたいな（課題だな）と思うことをポストイットに書き出してもらいました

ステップ4　新しい施設に「こんな場所があったらいいネ！」
新しい施設で「こんなことができたらいいネ！」
・まちの中心に、秋芳総合支所と秋吉公民館、秋芳図書館を一緒につくる計画です
その中に、「こんな場所があったらいいネ」、「こんなことができたらいいネ」と思うことをポストイットに書き出してもらいました

ステップ5　班で出し合った意見を模造紙に整理
・班で出た、「こんな場所があったらいいネ」、「こんなことができたらいいネ」などの意見を、模造紙に貼り付けて整理してもらいました

ステップ6　発表、まとめ
・ステップ4、ステップ5での意見を整理し、全体に発表しました

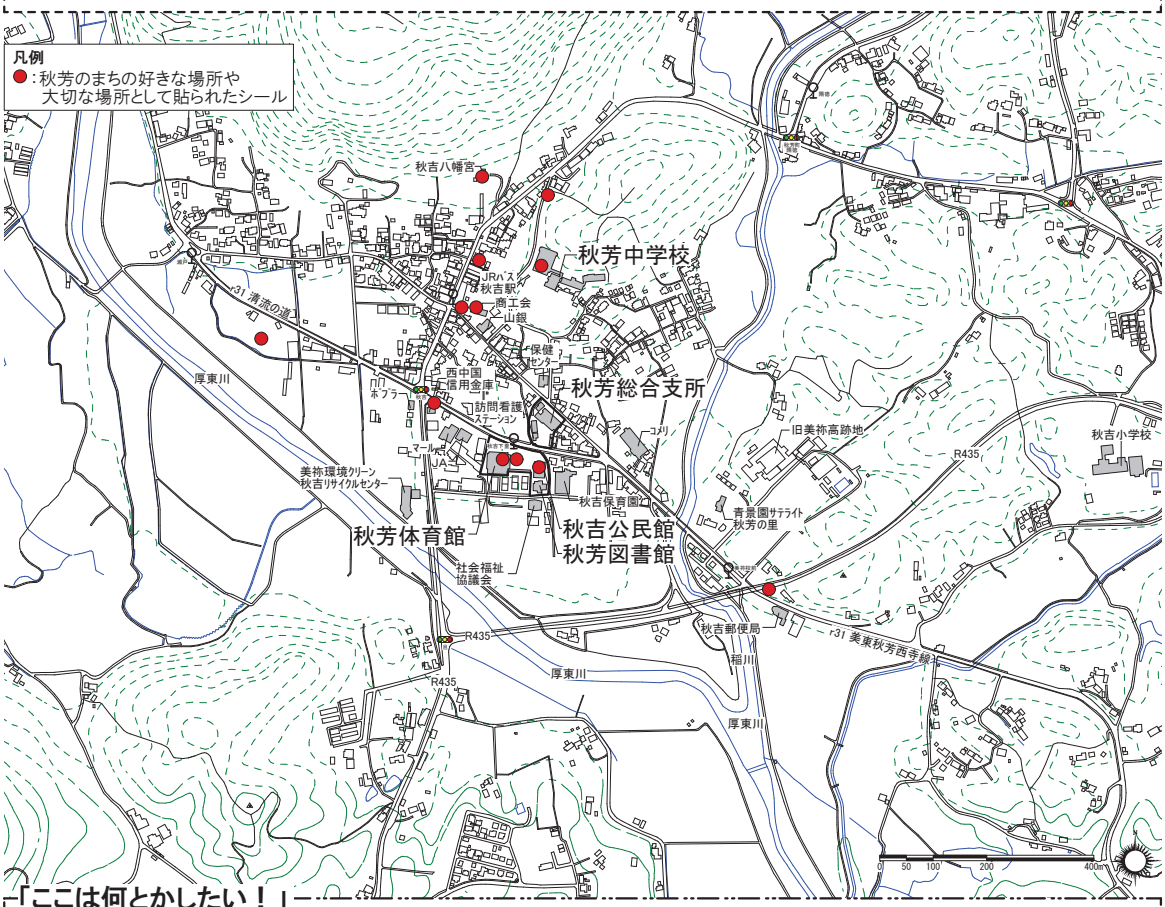
ステップ2・3：秋芳のまちのここが好き、ここは何とかしたい

●ステップ2では、8班に分かれて、「秋芳のまちのここが好き」をテーマに自由に意見を出してもらいました。
自然が豊か、緑が多くリラックスできる、水がきれい、涼しいなど、自然の豊かさに関することに高い評価が示されました。また、秋吉台、秋芳洞、景清洞、白糸の滝、サファリランド、国際芸術村などに多くの人が訪れることや、秋芳梨等の特産品が多いことも気に入っていることがわかりました。

●ステップ3では、「秋芳のまちのここは何とかしたい」と思うことについて意見を出してもらいました。
空き家が多い、後継者が少ない、お店が少ない、買い物が不便、交通手段が少ない等、人口が減少してしまったことで生じている生活上の不便さについての意見が多く出されました。

「ここが好き！」

- 自然がたくさんある
- 自然豊か
- 緑が多くリラックスできる
- 水がきれい
- 涼しい
- 秋吉台
- 秋芳洞
- 景清洞
- 白糸の滝
- 桂木山
- 花尾山
- 弁天池
- 白水の池
- 厚東川
- 秋芳梨
- 梨農園
- サファリランド
- 国際芸術村
- 歴史を感じることができる
- 秋吉八幡宮
- 動物が多い
- 動物とふれあえる
- トロン温泉
- ぬくもりの里
- 夏祭りがあり、楽しめる
- 食べ物がおいしい
- 町の人が元気
- 地域の人が優しい
- 親切な人が多い
- 釣りができる
- ニジマスが釣れる
- 桜がきれい
- テニスなど運動ができる
- 事故が少ない
- 魚、ごぼうがおいしい



「ここは何とかしたい！」

- 空き家が多い
- 人口が少ない
- 後継者が少ない
- 街灯が少ない
- 買い物が不便である
- お店が少ない
- 大きなスーパーが近くにない
- 外食する場所が少ない
- 遊べる場所がほしい
- 運動する場所がない
- 道路の白線が薄い
- 交通手段を増やしてほしい
- 交通手段が少ない
- 秋吉駅が古い
- バスの運行計画表をきれいにしてほしい
- 図書館の本がおもしろくない
- 旧美祢高を有効活用してほしい
- 車椅子の人が入れるトイレをつくる
- スクールバスのバス停
- トイレが汚い
- 不法投棄がある
- 町が流行りにのれていない
- 公衆電話がきたない
- 自動販売機を増やす

ステップ4・5：「こんな場所があったらいいネ」、「こんなことができたらいいネ」

●ステップ4、ステップ5では、まちの中心部に計画されている新しい拠点施設に「こんな場所があったらいいネ」、「こんなことができたらいいネ」について自由に意見を出してもらいました。以下にそれらの意見を整理しました。

班ごとの作業の成果

○図書館を広くしてほしい
- 広い図書館にしてほしい
- 本がたくさんある図書館にしてほしい
- 図書館の本がもっと増えてほしい
- 本を検索する機械がほしい

○気軽に勉強できる場所がほしい
- 気軽に勉強できる場所がほしい
- 図書館をカフェみたいにしてほしい
- 受験生や学生が気軽に利用できる勉強スペースがほしい

○静かに集中して勉強できる場所がほしい
- 勉強に集中できる場所がほしい
- 静かに勉強できる場所がほしい

○カフェのような落ち着いた場所がほしい
- 気軽に入れるカフェのような場所がほしい
- 仕事体験ができるカフェがほしい
- 落ち着いた雰囲気でゆったりできる場所がほしい
- 誰でも使えるWi-Fiスペースがほしい
- 寝転びながら（リラックスしながら）映画が見られる場所がほしい
- ウォーターサーバー、冷水機を設置してほしい

○みんなのふれあいの場にしてほしい
- 誰もが使いやすい場所にしてほしい
- 障害者にも優しい場所にしてほしい
- いろいろな人が触れ合える場所がほしい
- 便利な場所にしてほしい
- 猫カフェ、犬カフェなど動物と触れ合える場所がほしい

○ちょっとした利用ができたらいい
- ちょっとしたお金を下ろすところ（ATM）がほしい
- 小さい病院や小さい子を預けられる場所があったらいい

○体を動かせる場所がほしい
- スポーツジムなど室内トレーニング室がほしい
- バッティングセンターがほしい
- ボルダリング場がほしい
- 野球場がほしい

○公衆電話や無料貸し出し自転車を設置したらいい
- 公衆電話をきれいにしてほしい
- 無料貸し出し自転車があったらいい

○地域で作った野菜を売り買いできる直売所があったらいい
- 直売所があったらいい
- 地域で作っている野菜などを売って、手軽に買い物ができる場所がほしい

○子どもが安全に遊べる大きな広場がほしい
- 小さい子どもが安全に遊べる場所にしてほしい
- 大きな広場がほしい
- 遊べる場所が少ない
- 桜の木やベンチがほしい
- たくさんの人が来れるように駐車場を広くしてほしい
- 屋外トイレを設置してほしい

○きれいなトイレにしてほしい
- 高齢者でも安心して利用できるトイレがほしい
- 広くて綺麗なトイレがほしい（高齢者にも優しい）
- 多目的トイレがほしい
- どんなところもバリアフリー（段差がない）にしてほしい

○バス停を使いやすくして欲しい
- バス停をきれいにしてほしい
- バス停を増やしてほしい
- バス停を一緒にしてほしい

○娯楽施設がほしい
- カラオケやゲームセンターなど遊ぶ場所がほしい
- 映画館やコンサートができる場所がほしい
- プラネタリウムがほしい

○文房具店や飲食店がほしい
- 文房具が買える場所がほしい
- 駄菓子屋や模型店がほしい
- ご飯が食べられる場所がほしい（レストランなど）
- スーパーマーケット、コンビニなどがほしい

○こんなまちにしてほしい
- 道路や横断歩道（自転車専用道など）の整備をしてほしい
- 街灯や時計台を設置してほしい
- 障害のある方でも安心して暮らせる場所にしてほしい
- コインランドリーがほしい
- 環境にやさしいものを使うようにする
- 梨狩りやぶどう狩りなどができる場所がほしい

ワークショップで示された、中学生が新しい拠点施設に対して期待すること

●ステップ4、ステップ5で出された意見を集約しました。
中学生が新しい拠点施設に求めているものが浮び上ってきます。

・気軽に勉強しやすく、本がたくさんある、ゆったりとした図書館にしてほしい
・だれもがくつげるカフェのような落ち着いた居場所がほしい
・地域で採れた野菜などが買える直売所がほしい
・ユニバーサルで使いやすい、みんなのふれあいの場所にしてほしい
・子どもでも安全に遊べる大きな広場がほしい
・利用しやすい待合場所にしてほしい
・文房具など子どもが利用するものを買える場所がほしい
・運動ができる場所、飲食や買い物ができる場所が増えてほしい

新しい拠点施設に対しての意見をたくさん出してもらいました！

「こんな場所があったらいいネ」などについてまとめた意見を発表してもらいました！

秋芳中学校まちづくりワークショップ 感想カード

ワークショップについての感想を書いてもらいました。いくつかを抜粋して掲載します。

○美祢市の良いところや悪いところを話す機会はあまりないので、今日改めて知ることができて良かったと思いました。今日の話し合いでまとめたことが、少しでもこの町のためになっていたらうれしいです。これから建つ建物が秋芳町の方にとって、快適で過ごしやすい場になっていたらいいなと思いました。
○今日のワークショップで、これからどんな場所ができたら自分たちが安心して過ごせるか、たくさん考えることができました。この場所をより良くしていくために必要なこともあると思うので、自分でも考えて行動できるようにしたいです。班のみんなでアイデアを出し合って、このアイデアが役に立つとうれしいです。
○僕は、まちづくりワークショップに参加してみて今日改めて、今自分が住んでいる地域の良いところや少し不便なところを見つけることができました。自分たちの周りが少しでも良くなればいいなと思い、積極的に意見を出すことができたと思います。これからの経過がとても楽しみです。
○今日ワークショップをやり、将来自分たちが使いやすい建物にするために、しっかり意見を班の人たちと出し合うことができたし、他の班の意見を聞いて「確かにな」と思うこともありました。こんなことができたらいいなということは自分の中でしっかり案を出すことができたと思う。どんな建物になるか楽しみです。
○今、秋芳町にあるもの、自然や秋吉台、秋芳洞を通して多くの観光客の方に来てほしいという思いが強まりました。またそれらの良いところだけでなく、カラオケや映画館など大人から子供まで楽しめる場所がほしいなど、秋芳町の未来を考えることができて良かったです。でもそれだけでなく、障害者がより楽に簡単に足を踏み入れることのできる公共の場も大切だということが分かりました。
○初めてワークショップということをしたけど、考えてみると秋芳町のいいところや悪いところをいっぱい見つけることができました。これから建て替わったときには町の人みんなが使うと思うので、みんなが考えた意見が使われて、みんなが楽しめる場所になったらいいと思いました。
○僕は今日のワークショップはすごく大切でいい取組みだと思いました。みんなで一生懸命案を出していてすごい良かったと思います。これからも地域のために頑張りたいと思ったし、新しく建てられるものを大切に使い、秋芳町をもっと盛り上げていきたいと思いました。

秋芳中学校の１・２年生の皆さん、ご協力ありがとうございました！
ワークショップで出された意見を新しい拠点づくりの参考にします！

資料４　住民説明会での意見等について

美祢市新秋芳総合支所庁舎等整備基本計画（案）に関する住民説明会

開催日時・会場・参加人数

①令和２年 10 月　９日（金）	午後７時から	別府公民館	11 人
②令和２年 10 月 12 日（月）	午後７時から	秋芳桂花小学校体育館	24 人
③令和２年 10 月 13 日（火）	午後７時から	秋吉公民館	23 人
④令和２年 10 月 16 日（金）	午後７時から	岩永公民館	17 人
		合計	75 人

①別府地区住民説明会（別府公民館）

ご意見・ご質問	応　答
美東の施設規模は 1,615 ㎡なのに、秋芳は面積が狭隘であるという市民の意見が多いにも関わらず、1,220 ㎡となっている。何故そういう結果になるのか。	美東の施設整備は、既存の保健福祉センター改修プラス増築であり、既存の間取りや体力要素を活かしながら行うため平面的な制約等が生まれ、新築の秋芳の施設規模より面積が大きくなっている。 秋芳の施設規模を 1,220 ㎡程度としているのは、庁内検討委員会で検討した結果であり、後世にできるだけ財政負担を残さないために、基本構想の基本面積どおりの 1,200 ㎡程度としている。
秋芳はワークショップでスペースが狭隘であるという意見が出ている。秋芳総合支所庁舎等整備は、予算、面積、まちづくりの何をベースとして考えた計画なのか。	第４回のワークショップにおいて、「事業規模は 1,200 ㎡程度とし体育館は整備しない」という市の方向性を示し、ご意見を伺ったところ、45 名中 17 名の方が「賛成、概ね賛成、やむを得ない」というご意見でした。「反対、不満」の意見の方は 45 名中８名でした。面積的なことに対して不満をお持ちの方がいらっしゃることは認識している。
体育館機能は、小・中学校の体育館を活用すれば良いということですが、学校行事の入っているとき、また平日は利用できないという理由で利用しづらいという意見が出ている。	
市長もワークショップや市民の意見を尊重すると議会で発言されたので、皆さんの意見をしっかり伝えて、規模など判断して欲しい。	

ご意見・ご質問	応　答
多目的ホールの面積は 200 ㎡にこだわらずもう少し大きなホールを検討してもらいたい。	
秋吉宿にある交通拠点を建設場所に移す計画はあるのか。	秋吉宿のバスセンターを移転するにはバス業者等と協議が必要。移転は困難としても、現在、あんもないと号の経路の延伸及びジオタクの総合支所への乗り入れを検討している。
民間施設が 20 ㎡とあるが、これは何か。	はっきり決まっていないが、この 20 ㎡に入れる程度の施設と前向きに話しを進めている。
「最新のＩＣＴ環境の整備を進め、情報ネットワークの拠点となる建築」にするとあるが、具体的にどのような整備を考えているのか。 これは秋芳だけの問題でなく、美祢市全体のこととなるので気合いを入れて取り組んでほしい。	具体的に何を整備するということは、現在決まっていない。本庁舎等との連携も考えながら、これから詰めていく。
ＩＣＴ環境の整備ということで、ＮＴＴの光回線を入れることはあるのか。	経済的に採算が取れるかという相手方の考えもあるが、関係部署にこのような意見があったことを伝える。
現在、秋芳は告知放送が入らない状況だが、情報ネットワークの拠点とは何を目指すのか。	現在、新しい情報伝達手段を検討している段階にある。 情報ネットワークの拠点となるように、市全体で考える必要があると認識している。
秋芳体育館の解体中など、テニスコートの使用制限があるのか。	安全面等を考えると、体育館や公民館の解体中の使用は難しい。今後の対応は学校と協議し決定する。
テニスコート等の使用停止の周知はどれくらい前にするのか。	できるだけ早い時期に周知したい。
秋吉公民館の解体は、令和５年４月以降に計画され、解体中はテニスコートが使用できない可能性があると思う。７月はテニスの大会があるので、解体時期はテニスの大会後にするなど考慮していただきたい。	
プール更衣室棟のレイアウト案はあるのか。	現在、利用頻度等を考慮し、レイアウトを検討している段階。

ご意見・ご質問	応　答
現在の建物レイアウトでは、図書館側のコートしか見渡せない。テニスの試合のときは保護者等が見に来るので、新しいプール更衣室棟に手すりを付け、高いところから見ることができると良いと思う。プールの監視もやりやすくなる。	現在、プールの一般開放は行っていない状況である。
建物の建設工事期間中は、テニスコートのトイレはどうなるのか。	秋吉公民館が開いているときは、公民館のトイレを使用できる。
新しい施設は避難所になると思うが、何人が避難できる想定なのか。	多目的ホールや会議室の面積により人数が変動するが、２㎡当たり１人と想定している。コロナウイルスのことを考慮すると、人数はもっと少なくなる。
現在、「秋芳の里」は 39 名の高齢者が入所している。段差が無く、高齢者にも使用できるトイレを設置し、この 39 名と秋吉地域の高齢者が避難できる広さを確保して欲しい。秋吉小学校体育館は避難所になっているが、段差が多く、トイレも和式のため高齢者が避難場所として利用できない。	バリアフリーや高齢者が使用し易いトイレのことも考慮し、施設整備を考えていく。
子育て支援について、小さい子どもを連れたお母さん達が交流でき、子ども達を遊ばせる場所として、多目的ホールの面積を増やして欲しい。 多目的ホールの面積は増やせる可能性があるのか。	面積は、財政的なこともあるため、全体で 1,200 ㎡程度を考えている。今までのワークショップ、議会の特別委員会、今回の住民説明会において 1,200 ㎡程度では少ないというご意見があることは、市長にも伝える。
図書館の近くに総合支所など音がする施設があるので、図書館で静かに本が読めないのではないか。	公民館、図書館、総合支所の配置は今後、セキュリティや運営体制を含め、管理し易い配置になるよう検討する。

②嘉万地区住民説明会（秋芳桂花小学校体育館）

ご意見・ご質問	応　答
基本構想では秋芳も美東も同じ規模のものを造ることになっていたが、美東は1,615㎡になっている。何故違いが生じたのか。	美東は既存の保健福祉センター改修プラス増築であり、既存の間取りや体力要素を活かしながら行うため平面的な制約等が生まれ、新築の秋芳の施設規模より面積が大きくなっている。
美東には美東体育館、小・中学校体育館があるが、秋芳は体育館を解体すると秋芳町全体で何かをしようとしたとき、行事企画ができなくなる。美東と秋芳に差があると考える。	庁内検討委員会の方向性により、後世に財政負担を残さないため、体育館は整備しないこととしている。
現在の計画は秋吉公民館２階大会議室分が欠落している。 避難所として密を避けるという意味では面積が少なすぎる。 全体面積は、美東と同じ1,600㎡程度にするべき。中途半端な建物はいらない。	将来的な財政負担をできるだけ軽くする必要があるが、今回の意見を踏まえ今後検討する。
敷地利用計画のイメージ図に防災広場とあるが、どういうことか。	避難所が開設された際、炊き出し等もできるスペースを想定している。
防災広場は電源が取れるか。芝生を植えるのか。	今後、基本設計段階で検討する。
訪問看護は保健センターに移転し、現訪問看護ステーションの建物も解体した方が、駐車場にするにしても利用がしやすくならないか。	提案については、今後の庁内検討委員会等で検討する。
今後、各公民館を秋吉の公民館に統合していくという考えが市にはあるのか。	各公民館で活動される方がいる限り、公民館を統合する考えはない。
保健センターの改修の予定があるか。	現在、改修の計画はない。

③秋吉地区住民説明会（秋吉公民館）

ご意見・ご質問	応　答
現在の計画の公民館会議室は１つ半しかないので、会議室を増やして欲しい。ロビーももう少し広くして欲しい。 多目的ホールは 1,200 ㎡に含めないで考えて欲しい。	将来の財政的負担を少なくするため、現在、施設規模は 1,200 ㎡程度で計画している。1,200 ㎡では少ないという声が多いのであれば、今後面積を再検討する必要があると考える。
秋芳は 1,200 ㎡程度、美東は 1,600 ㎡程度となっている。意見を言ったら増えるのか。	美東は既存の保健福祉センター改修プラス増築であり、既存の間取りや体力要素を活かしながら行うため平面的な制約等が生まれ、新築の秋芳の施設規模より面積が大きくなっている。
美東は体育館、美東センターが残り、施設規模は 1,600 ㎡になっている。秋芳は体育館が無くなり、1,200 ㎡程度になる。これで秋芳地区のまちづくりができるのか。 美東は美東センター、体育館が残るため秋芳よりランニングコストは高くなる。今の秋芳の計画の事業費は美東と比べ高いが、ランニングコストも含めて考えないと納得がいかない。	
秋吉公民館は秋芳の中心となる公民館。公民館機能を充実して欲しい。120 人くらいは入るホールにして欲しい。	
施設の受電容量はどうなっているか。	今後、基本設計等で検討する。
訪問看護ステーションは何故残すのか。複合化しないのか。建物が残ると土地の利活用に制限が起きないか。	訪問看護ステーションの建物は新耐震基準のため、複合化も検討したが、基本的に使えるものは使うということにしている。 まちづくりの観点からも今後検討する。
自然エネルギーと再生可能エネルギーを活用するとあるが具体的に何を想定しているか。	現時点では、具体的な内容は決まっていない。
今後設計図（案）はいつ頃示せるか。	具体的に示せる時期は決まっていない。
庁舎整備に合わせて、秋芳地区の賑わいのきっかけづくりも検討して欲しい。六次産業をしている方が使えるようなスペースを確保するなど検討して欲しい。	仕組みづくりは、今後、皆さんと一緒に考えたい。
災害時のことも考えると面積 1,200 ㎡程度では少なすぎる。	

ご意見・ご質問	応　答
１年、２年遅れても、過疎債を適用することとして整備すれば、財政負担が少なくならないか。	
安全な避難場所にして欲しい。土地の高さ、収容人数は何人を想定しているか。	建設場所は、県の水害ハザードマップでは想定を超える雨が降った場合、浸水の可能性がある場所となっている。浸水等で避難所として使用できない場合は、小学校・中学校へ避難することになる。安全に避難できるような避難計画づくりも必要と考えている。
プール更衣室棟の工事単価は高くないか。	できるだけ費用を抑えるように考えている。
テナントのような建物を建てて、そこへ食料品店に入ってもらったらどうか。	テナントを建てるなどは、今後、跡地利用等のまちづくりの観点から検討したい。
住民説明会を４地区で行われるのは何か意図があるのか。	住民説明会を４地区で開催するのは、ワークショップ以外でもさらに皆さんのご意見を聞くためです。
総合支所の解体跡地は、舗装せず、グランドゴルフができる広場にして欲しい。	

④岩永地区住民説明会（岩永公民館）

ご意見・ご質問	応　答
美東は体育館があるが秋芳は体育館が無くなる。秋芳にも十分な空間を確保し、1,200ｍ程度に縛られないで欲しい。 多目的ホールが 200 ㎡では小さすぎる。 カルスト草炎太鼓の太鼓の収納場所は考えているか。	多目的ホールで草炎太鼓の練習は可能と考えるが、太鼓の収納場所は今後検討する。
コロナ渦でもテレワークができる環境づくりが必要と思う。市役所本庁や総合支所など行政施設に繋がりを持たせ、大きな画面を設置し、お互いに映像が見れたり、会話ができる機能を持たせられないか。	ＩＣＴ環境の整備は、今後、内容等検討していく。
秋吉宿の駅に停まる全てのバスを新しい総合支所に回せないか。	あんもないと号の路線延伸を検討している。 その他のバスの経路変更は困難と考える。
財源とする合併推進債と過疎対策事業債について詳しく説明して欲しい。	合併推進債は、総合支所部分の庁舎整備等にも充てられる起債で充当率は 90%、交付税算入 40～50%となっている。令和４年度末という活用できる期限がある。 過疎対策事業債は、公民館・図書館の整備に充てられるが総合支所部分の庁舎整備には充てられない起債で充当率は 100%、交付税算入は 70%。有利な起債であるが、満額要望しても要望通りにならない可能性がある。
起債とはお金借りることで、補助金ではない。市民の要望を聞くと借りるお金が増えることとなるが、そういうことも考えて可能な範囲で最大限面積を増やして欲しい。	
過疎対策事業債を公民館・図書館部分に使えば、住民負担はそれほどでも無いと思う。中途半端な規模の建物にはしないで欲しい。 岩永の人も新しい総合支所に避難するので、もう少し広いスペースを確保して欲しい。密にならないように配慮すると、この計画では 40 名程度しか避難できない。また現在の秋吉公民館の大会議室に当たるものがない。	

ご意見・ご質問	応　答
現在、学校の体育館も避難所になっているが、トイレは和式で段差もあり、高齢者が避難して健康を保つことは難しい状況である。 避難される可能性のある秋吉や岩永水田地区の一人暮らしの要支援の方が約 70 人、秋芳の里の入所者が約 40 人いるので、少なくとも高齢者だけで 110 人の方が避難できるスペースが必要となる。避難できるスペースを確保して欲しい。	バリアフリーや多目的機能が整ったトイレの整備は必要と考えている。大雨の時は瀬戸で分断されることも考え、秋吉・岩永地区の避難場所になることも考えていきたい。
若い世代を呼び込む環境として IoT 環境の整備と子育てし易い環境の整備が必要と考える。お母さん同士が触れ合える場の設置など、若い人を呼び込める将来ビジョンを踏まえた計画も検討して欲しい。	子育て支援ができるような場が必要という声があったことは担当課に伝える。
新総合支所庁舎の建設位置は、水害等は大丈夫なのか。嵩上げ等をするのか。	県の最新版の水害ハザードマップでは、浸水の可能性がある地域に入っている。サーバー室等は高い位置に設けるなど配慮することとしている。 浸水等により避難所として使用できない場合は、近くの小・中学校に避難する可能性がある。避難場所への移動計画等も検討する必要がある。
避難場所を移動することは、簡単なことではない。移動するうちに川に落ちたり、命を落とすこともある。基礎を高くするなど浸水しない対策が必要。	今後検討していく。
例えば、新しい総合支所は耐震化されるが、岩永公民館は耐震化が無いとか、他の施設の耐震は大丈夫なのか。 耐震がなければ、総合支所に避難しないといけないことになる。	現在の秋吉公民館、秋芳総合支所庁舎は耐震性の無い建物である。その他公民館施設等の耐震性については現在資料を持ち合わせていないため答えられないが、避難所となる学校施設は耐震補強等により耐震化がされている状況と考えている。
まちづくりとか賑わいの創出のポイントを２、３絞って説明し、議論を深める方法で説明会をすると良かったと思う。	ご意見ありがとうございました。
告知放送が入らない。直る見込みがあるのか。	担当課や業者にもそういう声があったことを伝えていく。
電子図書についてどのように思われるか。	来週、図書館のあり方検討委員会を開催し、美祢・美東・秋芳の図書館にどのような機能をもたせるか検討することとしている。

資料５　パブリックコメントの結果について

案件名	美祢市新秋芳総合支所庁舎等整備基本計画(案)
意見募集期間	令和2年9月 29 日(火)から令和2年 10 月 28 日(水)
意見提出者数	51 名(男性 20 名、女性 30 名、事業所1社)
意見提出数	136 件
提出方法	郵送　0件　　持参　48 件　　メール　3件　　FAX　0件
地区別提出数	秋芳地域　31　名(青景　1名　嘉万　8名　別府　9名　秋吉　6名　本郷　4名　下郷　3名) 美東地域　4名　　美祢地域　3名　　市内勤務者　12 名　　市内事業所　1社

提出されたご意見ご質問に対しての考え方(回答)

第1章　P17　第4回市民ワークショップ(紙上ワークショップ)

ご意見・ご質問	回　答
小・中学校の体育館は教育施設であり、安易なシェアはできないのではないか。	新複合施設の建設場所は、秋芳体育館の解体跡地としており、新施設に整備する多目的ホールはバレーボール等ができる天井高は想定しておりません。バレーボール等のスポーツ活動は小・中学校の体育館等の活用をお願いしたいと考えています。 秋芳体育館の現在の使用状況を踏まえるとシェアは可能と考えています。
秋芳中学校は駐車場が狭いし少ないのでバレーのできるくらいの体育館があった方がいいと思う。	美祢市が直面する高齢化の進行、出生率の低下といった課題を踏まえ、できるだけコンパクトで機能的な建物を整備することを計画しています。 秋芳中学校の駐車場は狭いという課題はありますが、秋芳体育館の現在の使用状況を踏まえるとシェアは可能と考えています。 バレーボール等のスポーツ活動は小・中学校の体育館等の活用をお願いしたいと考えています。
地域の方、ご年配も使えるような運動施設が必要。	新複合施設には、市民一人ひとりの様々な活動を支える場として、日中でも軽運動ができる多目的ホールの整備を計画しています。 バレーボール等のスポーツ活動は小・中学校の体育館等の活用をお願いしたいと考えています。

第1章　P21　秋芳中学校ワークショップ

ご意見・ご質問	回　答
中学生ワークショップから気づきです。 中学生の意見の取りまとめにもありますが、カフェのようなくつろげる場、飲食をできる場、買い物のできる場など賑わいを求める意見が多いように思えます。将来美祢市を背負っていく若者が生活していく上でモノが買えない町に魅力を感じないのではないでしょうか。若者の意見を最優先に考え、行政として賑わい創出は大きな課題ではないでしょうか。	新複合施設に求められる要素に、みんなの暮らしを支え、地域の中心として賑わいを創り出す場となることをあげています。暮らしの利便性を高め、ふれあいの中から賑わいが生まれる施設となるように検討します。

第2章　P24　建設候補地の比較検討

ご意見・ご質問	回　答
体育館が老朽化していますが、今回の建て替え計画に盛り込んではどうか。C案によると現体育館を解体して新総合支所を建設となっていますが、体育館の機能を備えたコミュニティースペースは必要と思います。	新複合施設には、地域の文化活動の拠点となり、日中でも軽運動ができる多目的ホールの整備を計画しています。 バレーボール等のスポーツ活動は小・中学校の体育館等の活用をお願いしたいと考えています。

第2章　P26　新秋芳総合支所庁舎等に求められる基本的な役割について

ご意見・ご質問	回　答
秋芳総合支所庁舎は、秋芳にこれから住んで楽しく住みよい所になったという建物にしてほしい。（庁舎・公民館・図書館の一体化） 秋芳地域の5回ほどの意見交換ですばらしい意見が出たと思いますので、十分検討してほしいです。	ワークショップ等で住民の方からいただいたご意見・ご提案を踏まえ、住民の方が使いやすい施設になるように検討します。

第2章 P28　民間施設との複合化の可能性

ご意見・ご質問	回　答
近くに店がなく、小さくてもよいので店があると良いと思います。	銀行やカフェ、買い物ができるお店、食堂など、市民の皆様の利便性を向上させる機能について、限られた時間の中で検討します。 移動販売車やキッチンカーなどの駐車場スペースの確保も検討します。

ご意見・ご質問	回　答
スーパーマーケットやコンビニエンスストアが少ないため不便。	銀行やカフェ、買い物ができるお店、食堂など、市民の皆様の利便性を向上させる機能について、限られた時間の中で検討します。 移動販売車やキッチンカーなどの駐車場スペースの確保も検討します。
・スーパーマーケットやコンビニエンスストア等買い物施設。 ・トラックステーション的な何か休憩施設（交通拠点都市なので）	同上。
・スーパー ・ほっともっと	同上。
買い物（特に食料品）ができる場がほしい。	同上。
売店的なコンビニのようなものがあると助かる。	同上。
・高齢が多い市なのは分かるが、数少ない子どもを遊ばせるところがないので休日どうしても美祢から出てしまう。子どもに対して、とても住みにくい。 ・買い物する所、病院無し。	同上。
支所内に本屋、コンビニ（ATM）、飲食店、映画館を併設したらどうか。	同上。
食事処が少ないので、気軽にランチができるところが欲しい。 最近では、SNSなどで映える場所がとても人気となっているので、おしゃれなカフェのような場所、または美祢市ならではの材料を使って「大盛〇〇!!」「巨大パフェ！」など人気のメニューなどあれば若い世代の方々が観光に来るきっかけになりそうです。	同上。

ご意見・ご質問	回　答
現在の案は建物が新築となり図書館が増設されるのみで、これは市民サービスのための意見のみを取り入れたもので、地域で暮らす市民にとって「くらしの中心」としての役割としても市外から市内へ移動し働く「昼間の市民」への配慮としても乏しい機能と思えます。 現在、旧秋芳町では生鮮食品などの生活の要である「食」の調達が不便な状態。そこで市民と市のコミュニケーションの場所でもあり秋吉台観光の玄関口でもある新秋芳総合支所庁舎には「食」の窓口的な役割を頼みたいです。生鮮食品の販売や、食事を摂ることができる食堂などいかがでしょうか。 またその店舗的なものの営業時間ですが、閉店時刻を 18:00 以降とするなど、市民はもちろんのこと、「昼間の市民」が帰社時に立ち寄れる営業体制とするなど、新たな収入源を得るための機能としても考えていただけたら幸いです。「新しいまちの中心」に「くらしの中心」である「食」をぜひ。	銀行やカフェ、買い物ができるお店、食堂など、市民の皆様の利便性を向上させる機能について、限られた時間の中で検討します。 移動販売車やキッチンカーなどの駐車場スペースの確保も検討します。
秋吉台が有り、サイクリングで長門・山口・萩への拠点施設にし、地元の人のための、図書館・行政窓口・商業施設・市内で働く者としては、食事のできる場所も欲しい。欲張りすぎでしょうが多機能をそろえた複合施設にすると良いと思う。	同上。
ファミレス等、ランチのしやすい飲食店を増やしてほしい。	同上。
商業施設等がテナントとして入るようにしたらどうか。	新たな賑わいを生み出すため、引き続き、民間施設との複合化の可能性を探ります。

ご意見・ご質問	回　答
複合施設の考え方ですが、官民共同施設の展開を求めます。これまでの支所の役割、公民館としての役割は当然のこと、そこに民間の力を借りてテナント募集（公募）にて入居者を募る。もちろん入居条件には、買い物、飲食を目的としている企業・団体を対象者とし、賃料もいただく。この町の過疎化を食い止めるためには、“人の流れ、賑わい”をいかに創出するか大きなカギのような気がします。この建て替えがあとにも先にもラストチャンスなのかもしれない。過疎化地域ならではの策を打っていく必要があると感じます。新総合庁舎には他地域がしていない流れをつくってもらいたい。	新たな賑わいを生み出すため、引き続き、民間施設との複合化の可能性を探ります。

第3章　P32　総合支所機能の構成と規模

ご意見・ご質問	回　答
基本計画（案）においては、総合支所機能のあり方などは整備目標には触れられていない感じがします。 合併当初総合支所に有った建設経済部門は数年で本庁一括となり、今では取り次ぎ的職員１人の配置がある現状であり、地域住民は不便を感じるとともに不公平感は否めないと思います。 議会特別委員会において「まちづくり」をどうするかを整備計画に考えるべきとの発言をMYT放送で見ました。ワークショップでは現状の支所機能についてご意見が出なかったものなのか。現状を容認する方向であれば3出張所のあり方にも波及することが予想され、高齢化が顕著な嘉万・青景地区の「まちづくり」が危惧されます。	総合支所機能は実情に基づき想定しています。諸室の機能及び規模については、基本設計段階で再度検討します。

第3章　P33　公民館機能

ご意見・ご質問	回　答
○子育て支援センターについて 子育て支援センターは、わずか5年の間に、秋吉保育園（週 3 回）→嘉万憩いの家（週 1）→桂花小学校（隔週 1）→現在は美東でのみ開所という変遷がありました。 子育て支援センターは単に子どもを遊ばせる場所なのではなく、母親たちにとっては母親として地域に参加する最初の第一歩になる場所です。 子育て支援センターが移転を繰り返す中で秋芳は利用者が少ないから、という話が出ました。子育て中はちょっとした距離や変化も負担に感じるものです。名前は子育て支援センター・カンガルームと変わっていなくても、秋吉から嘉万に移転し以前と違う先生が担当になられると、もうそこは知らない場所です。こうした変化が利用者を遠ざけた側面はあると思います。 最近は市の移住施策の成果として移住者も増えています。遠方から身寄りのない秋芳に来られた子育て世帯がまず気軽に利用できるわが町の、地元の子育て支援センターが必要です。 美東町はスーパー、道の駅、公園があり、ほかの子どもに会う機会があります。秋芳には出かけていく場所がありません。桂花小学校では大変よくしていただいたのですが、学校の一室ではやはり子どもの声で迷惑をかけるのではないかという遠慮がずっとあります。また学校行事の影響を受けて、子育て支援センターが開所できないということが起こってきます。子育てに休みはありません。学校や保育園の行事に影響を受けない一室を公民館に設けて子育て支援センターとして年間通じて開所できる体制を整えていただきたいです。 前述の通り秋芳の親子が精神的ハードルを感じながら、いつも美東に行かなくてはならない。 現在の状況は、同じ美祢市民にも関わらず不公平と言わざるを得ないでしょう。せめて週２日ずつ、秋芳・美東と交互に定期的に開所できるようにならないでしょうか。	子育てしやすいまちづくりのため、新複合施設に子育て支援センターの機能を望む声が多く寄せられました。主管課と協議し対応を検討します。

ご意見・ご質問	回　答
○大人向けのカルチャー教室を 大人向けのカルチャー教室を土日に開催していただきたいです。親子向けの催しだと親子はいつも同じ行動をとらなくてはなりませんし、どうしても子どもが優先になります。親と子が離れても安心して、親が「自分としての時間」を楽しめる催し、カルチャー講座があればと思います。 単発の講座もいいですが、3 回程度の連続講座で開催されると顔見知りも増え、人とのつながりが生まれてくると思います。3 回が好評なら、次は半年の講座に、通年の講座にと発展していくかもしれません。 公民館に集う親が増えれば自然と地域にネットワークができます。公民館を中心に地域にネットワークができれば、自然災害や予期せぬ事態が発生した時にも安心できる地域が自然と形成されていくのではないでしょうか。	いただいたご意見を参考にしながら、子どもから大人まで、多くの皆様に使いやすい交流の場になるように検討します。
○ファミサポさんとのつながり 秋芳町は観光地で土日仕事の家庭も多くあります。日曜は子供を預けるところがなく、ファミサポさんにお願いしたいけれどもなかなか難しいと嘆いています。 例えば子どもが新公民館でずっと過ごせるようになれば、ファミサポさんが個人のお宅で預かる負担やおもちゃの心配、子ども預ける親の心配が軽減されると思います。	子育てを応援できる施設になるように、主管課と対応を検討します。 諸室の設備及び機能については、基本設計段階で検討します。
○用があっても用がなくても 今の公民館は、用があるときに予約を取っていく場所です。予約をしていれば確実に部屋が使えますがかえって予約がないと行きにくい場所になってしまっているのかも知れません。新公民館は用がなくても行ける、安心して時間を過ごせる空間になってほしいです。	いただいたご意見を参考にしながら、住民の方が集まりやすく利用しやすい施設になるように検討します。
地域住民が集いやすい防災機能を備えたコミュニティーのある施設となるといいと思います。	防災機能について主管課と検討し、住民の方が集まりやすく利用しやすい施設整備を検討します。

ご意見・ご質問	回　答
保健師さんに相談できる場所にして欲しい。 （子どもの体重を計ったり自由にできると良い）	諸室の設備及び機能については、基本設計段階で検討します。
・子ども達（幼児～中高生）が行きたくなるような所にしてほしい。公園、キッズスペース、学習室（Wi-Fi やタブレット、パソコン等使用可能な所） ・カフェや軽食などがあれば時間をつぶしたい時に利用できる。	同上。
・子供が安心して遊べるスペースが欲しい。 ・カフェスペースが充実していたら行きたくなる。 ・持ち込みOK、さわいでもOK、Wi-Fi 完備、自動販売機（アイス、食べ物系）、TVコーナーがあって欲しい。 ・子供達が大きくなって（中学生とか）友達同士でも集まれる場所であってほしい。 ・親の居心地も良くないと利用は絶対しないと思うのでステキな空間をお願いします。	同上。
・もっと気軽に利用できるようにして欲しい。 ・子育てのためになる話しや、楽しく会話が出来るイベントをして欲しい。 ・子供たちが気にせずに遊べる場がほしい。	同上。
室内でも小さい子が遊べるような遊具があれば良い。	同上。
子育て世代のため、土日祝でも利用できる施設にしてほしい。	同上。
・雨の日でも室内で遊べる場所がほしい。 ・飲食が軽くできるスペース、道路側からも見えるようにしたら寄りやすい。	同上。
・子どもがいつでも楽しく安全に過ごせる公園や部屋がほしい。 ・人が集まれる場所にしてほしい。（子どもをあそばせながら親は話したいもの） ・お茶会のような部屋もあれば利用したい。	諸室の設備及び機能については、基本設計段階で検討します。 公園整備については、今後検討します。
施設の利用料は安いとありがたいです。	いただいたご意見を参考にします。

ご意見･ご質問	回　答
○学童期の子どもたちに多様な経験を 　学童期の児童向けの催しがあまり開催されていません。習い事も近隣には少なく、情報もあまり入ってきません。 　公民館は土日には予約がないと利用できませんが、社会教育、生涯教育を担うという公民館の使命を考えれば、土日こそ公民館主導で楽しい催しが開催されてほしいと思います。アイデアとしてはこんなことがあります。 1）秋芳町内の子どもたちが多様な経験を積むことができるような子ども向けの教室。秋芳町内の講師はもちろん、市内・市外からも多様な講師を呼んで定期的に開催し、秋芳の子どもたちにとにかくいろいろなことを経験させてほしいと思います。（スポーツ、レクリエーション、バードウォッチング、虫取り、花の観察、手芸、伝統文化、ハイキング、キャンプ、合唱、合奏など、ネタはいくらでもあります） 2）秋芳町の魅力をもっと掘り下げて深く知る講座。芸術村を案内してもらう、実際に芸術家と交流してみる、街歩きをしてみる、秋吉台の探検、梨狩り、ぶどう狩り、マス釣り、八代でそば作りなど 3）美祢市内のあれこれを体験してみる講座。美祢市の化石採掘体験､炭坑について学ぶ講座、長登銅山で鋳造体験、美東で竹細工つくりに挑戦など 4）市外に出て体験する講座。博物館・美術館で学芸員さんに説明を受けるなどは、家族単位ではなかなか体験できないことです。 　自分の通っている学校の子ではなくても、班行動などを経験すれば仲良くなる経験が得られます。よく知らない人に出会い一緒に何かをするというのも子どもたちには大切な経験になります。学童期に地域の人や公民館と関わる経験をすれば、生涯学習や社会教育を一生身近に感じて生きていけるようになるでしょう。	いただいたご意見は今後の取組の参考にします。

ご意見・ご質問	回　答
・児童館のように子どもが保育園に入っても親子で利用できる場所がほしい。母もだれかとお話ししたい時があるので、保育園、小学校に入っても気軽に行ける場所がいい。 ・季節ごとにイベントをしてみてはどうか。 夏祭り、ハロウィン、クリスマスなど子ども向けのサッカー教室、お花の教室など参加費を集めてもいいので毎月何かイベントをして、皆が公民館に行ってみようと思う場にするとよい。	いただいたご意見は今後の取組の参考にします。
大きなイベントの時はバスなども出して秋芳地域の方々が参加できるようになればいいと思います。	同上。
・子供が楽しめるイベントをして欲しい。 ・休みの日に楽しめる所が近くにない。	同上。
雨の日でも遊べる室内遊び場が欲しい。（ボールプール・ブロック・おままごと・すべり台）	同上。
土日なども開放してだれでも予約なしで集まれるスペースがあればよいと思います。 体育館で遊びたくても1家族で借りるには大きすぎますし、だれかが借りていると遠慮もあるし、子ども広場のような形で開放してほしい。	同上。
・子どもたちだけのキャンプ教室、バートウォッチング、自然観察、秋吉台ハイキング（ナイトハイキング）など、美祢市内の子どもたちに集まってもらうイベントをしてほしい。 ・（子どもは別室であずかってもらって）母親のための料理教室、お弁当の入れ方教室などしてほしい。	同上。
・土日も利用できやすいと助かる。（遊べるスペースなど） ・フリーマーケット（バザー）のような事があれば参加したい。	同上。

ご意見・ご質問	回　答
・土日に子どもの教室＆若い人向けのカルチャー教室があるといい。 ・秋芳はサービス業が多いので日曜も仕事の人がいます。日曜は保育園が休みなのでそういう家族は困ります。ファミサポさん預りで公民館で過ごす保育ができればいいと思います。 ・中学生、高校生に自習するスペースを開放してあげてほしい。	いただいたご意見は今後の取組の参考にします。
旧別府小の別府公民館や嘉万公民館などよい所がたくさんあるのですが、イベントは秋吉ですることが多いです。3ヶ所が連携すればこんなに豊かな環境はなかなかないと思います。 阿知須の公民館では子どもイベントの担当係がいて1年中子どものイベントが開催されていました。秋芳の自然を生かして別府・嘉万・秋吉どこでも催しがあるといいと思います。 社協さんと連携して大人も子どもも居心地のよいまちづくりにしてほしい。	同上。
子供とイベントに参加するので、グルメが充実していて子供たちが体験や遊びができるイベントをやってほしい。	同上。
教養講座を増やし、キャリアアップできる機会があったらいい。	同上。

第3章　P34　公民館機能の構成と規模

ご意見・ご質問	回　答
秋芳地区にある公民館や体育館等の既存の公共設備は、トイレが狭かったり、ホールが２階にあるなど高齢者や障がい者にとって活用しづらい状況。特に災害時には新設される複合施設が高齢者や障がい者の避難場所の拠点となるが、図に示された広さの多目的ホールでは対応できないと思われる。	新複合施設は平屋建てを想定しています。トイレ等は高齢者や障がい者にも使いやすいよう配慮したいと考えています。 諸室の規模及び機能については、基本設計段階で再度検討します。

ご意見・ご質問	回　答
・地域の高齢者の方の研修（予防講演等）では開催時 120～130 名の参加があり、今の多目的ホールの面積では狭い。 ・災害時に秋吉から岩永本郷水田地区の独居要支援、要介護者の方は小中学校への避難は身体的に困難なため、多目的ホールを第一選択されると思います。また、特養サテライト秋芳の里の 39 名（ショートステイ含）の入居者も、川の水位が上昇し（集中豪雨、台風）、危険が予測されるときは多目的ホールに避難させていただく事になります。体育館がなくなり、また密集を避けるため、避難される人が収容できる広さを確保してほしい。大雨の時は瀬戸が通行止めになる為、南部で避難できる体制が必要です。ワークショップを 1 年かけて行われた皆さんの思いが反映されてないと思います。	多目的ホールなど諸室の規模及び機能については、基本設計段階で再度検討します。
体育館等がないのでもう少し面積の広いホールが欲しい。ワークショップが何回もあったのに、その時の意見が反映されていない（何のために集まったのか）。	同上。
コンパクトな造りも必要かもしれませんが、今しかないと思います。 もう少し面積が欲しいと思います。 多目的ホールの面積拡大を望みます。 避難場所としての広さももっと必要です。	同上。
今提示されている 1,200 ㎡の案では、秋吉地区は独自の公民館を失うことになる。これまで秋吉公民館は秋芳地区の中心公民館であり、多くの団体がここを中心に活動していることを考えれば、この提案では会議室・研修室が全く不足している。	同上。
多目的ホールにする意見が出ています。これからの行事、いろいろな面で利用価値のあるところですので、十分に考えていただきたいところです。 あの原案をしっかり見てほしいです。	同上。

ご意見・ご質問	回　答
下記の機能を持たせて欲しい。 ・災害対策拠点、避難場所として住民が利用できる広さがあると良い。 ・ステージを活用し秋芳町住民が集合できる場所として面積 250 ㎡以上が必要。 ・会議や趣味など様々な活動に気兼ねなく取り組める場所。 ・ある程度の広さがあり、隣接する部屋の音や声、騒音が気にならない様にしてほしい。 ・庭があり心豊かに過ごせ休息・休憩できる場所。 ・乗り物や人との待ち合わせとして利用できる場所。 ・カフェ、軽飲食のできる場所・コーナー。 ・子供からお年寄りまで住民の誰もが気軽に利用できる場所。 ・ワークショップでの要望が生かされる様、取り組んでほしい。	多目的ホールなど諸室の規模及び機能については、基本設計段階で再度検討します。
安心して避難できる場所としては狭すぎる。面積の広いホールが欲しい。	同上。
多目的ホールをもう少し大きめにしてほしい。	同上。
多目的ホールはもう少し広い方がいいのではないか。	同上。
体育館が無いのであればホールがあまりにも狭いと思います。 美東総合支所庁舎整備と経費の比較をされますが、将来性を見て機能性がどうかをもっと考えてほしい。	同上。
一般住民が申込みにより自由に使用できる施設にしてほしい。 スポーツ生涯学習等を行うのであれば大きなホールが必要と思う。 現在示されたホールの面積では狭すぎると思う。	同上。

ご意見・ご質問	回　答
高齢者が安心して避難できる場所が必要だと思うので、畳やベッド等必要になると思います。多目的ホールを広くしてください。	多目的ホールなど諸室の規模及び機能については、基本設計段階で再度検討します。
今後、大規模災害の危険が毎年のようにある中、避難所としての役割を考えた時、体育館がなく、今の計画面積では狭いと思われる。 各公民館の老朽化が進んでいる中、各地区からの避難者もあると思われる。コロナ感染予防を考えてもある程度の広さは必要。また講演会等の催しを行う時も広さがないと人数を集めることができない。	同上。
多目的ホールというには総面積が狭いと思われる。避難所や講演などをイメージしても、もう少し大きなものにする必要があるように思われる。	同上。
地域の避難場所としてソーシャルディスタンスの確保、地域住民との共有という点を考えると、高齢者が避難した際に介護スペースや付添い介護スタッフのスペースを確保する点でもう少し広いスペースが欲しい。	同上。
「多目的ホール」としての空間は必ず必要である。広い空間は建てた後で拡張ということはほぼ無理なことなので、せめて 400 ㎡くらいは確保して欲しい。	同上。
ホールを主体とした施設にしてほしい。 子供が通う学校の空き時間に大人が体育館を利用することは問題が生じる可能性が強いと思うので、ホールの設計を見直し、一般人も何時でも使用できる施設の方が良いように思う。現在予定されているホールでは狭すぎると思う。	多目的ホールなど諸室の規模については、基本設計段階で再度検討します。 新複合施設に整備する多目的ホールはバレーボール等ができる天井高は想定しておりません。バレーボール等のスポーツ活動は小・中学校の体育館等の活用をお願いしたいと考えています。
100 人前後が収容できる会議室（イベント室）を計画してほしい。	100 人規模が収容できる会議室としては、現計画の多目的ホールで対応可能と考えています。

ご意見・ご質問	回　答
○キッズルームについて 子育て支援センターは「就園前」の乳幼児のための施設で「就園」すると利用を断られます。そのため就園した子が長期休みになると「幼稚園に通う子どもたちと親は居場所を求めてさまようことになります。 子育て支援センターは赤ちゃんから 1～2 歳児が中心ですから安全のためには仕方がないと思いますが、それなら就園した子どもたちが安心して遊べる空間を用意していただけないでしょうか。子育て支援センターがお休みの日も、土日祝日も、天候に関わらず 9 時～5 時まで行くところがあれば、子育て世代にとって大きな安心になります。 キッズルームも部屋が狭ければ安全の問題が発生するかもしれません。その点を考慮し、例えば新設される多目的ホールは利用予約がない時間は開放して使えるようになるといいと思います。スペースがないのであれば、壁にウォールクライミングを設置するだけで子どもは十分に遊ぶでしょう。できれば室内に、雨風がしのげるのであれば半屋外でもちょっとした遊具があると助かります。	新複合施設に子育て支援センターの機能を望む声が多く寄せられました。主管課と協議し対応を検討します。 多目的ホールの機能や利用方法については、今後基本設計段階で検討します。
子育て広場もほぼ美東での活動になり、秋芳町の親子で集う場所がない。 使わない会議室を減らして、そういう部屋や時間をつくってもらうことはできないか。	子育て広場について主管課と協議し、対応を検討します。 諸室の規模及び機能については、基本設計段階で検討します。
皆が気軽に立ち寄れるようなちょっとしたカフェがあるといいと思う。待ち時間がある時など、カフェでくつろげるスペースを希望する。	諸室の規模及び機能については、基本設計段階で検討します。
市民の憩いの場となるようなスペースを造って欲しい。	同上。
若い親など集まる機会が多いが、中年層で子育てが終わった人たちは集まる機会がほとんどないので、スポーツジムなど皆が気軽に行ける、そして体を鍛える施設があるとよいと思われる。	同上。

資料５　パブリックコメントの結果について

ご意見・ご質問	回　答
何の用事がなくても1日過ごせる場所（軽食の提供）にして欲しい。 調理室で時々でも簡単な昼食を提供してもらうことはできないか。	公民館機能については、気軽に集まり、ゆっくりくつろぐことができる居場所になるように基本設計段階で検討します。
芸術・文化活動発展のためステージを設ける空間が必要。	諸室の規模及び機能については、基本設計段階で再度検討します。
現在、美祢市文化財保護課は、秋吉公民館に同居している。文化財の保護という大切な役割を果たすためには、秋吉台・長登にも近く、市のほぼ中心にあるこの場所が相応しいと思える。この 1200㎡の中にこの部署が入る余地はないと思える。	本基本計画（案）における新複合施設の中には文化財保護課の入居は想定しておりません。 文化財保護課の事務所は、今後調整等行い、移転先を検討します。

第3章　P35　図書館機能

ご意見・ご質問	回　答
○中高生が安心して過ごせる空間を 子どもが少ない現在の状況では、友達に会うために遠方まで出向かなくてはなりません。公共施設に安心して自習やテスト勉強、おしゃべりができる空間があれば親も安心して送り出すことができます。公共施設でのふるまいも経験しながら覚えていくことができるでしょう。中高生が何か調べたいときに図書館施設を大いに活用するような仕組みもあればいいと思います。Wi-Fi も完備して、調べたいこと見たいことが遠慮なく楽しめる空間であってほしいと思います。例えば予約のない場合は研修室を自習室として開放する。バスを待つ中学生や下校してきた高校生が使いやすいように、図書館の開館時間、自習室の利用時間を 9～5 時から 10～18 時にするといった案も検討していただきたいです。	いただいたご意見は今後の取組の参考にします。 諸室の設備及び機能については、基本設計段階で検討します。
カフェがほしい。（本を読みながらコーヒーが飲みたい）	同上。
Wi-Fi 完備の図書館+カフェが良い。	同上。

ご意見・ご質問	回　答
新総合支所内の図書館についての充実、つまり読書環境・利用しやすさ、図書の充実などを切望する。主婦・学生・高齢者が利用しやすく読書習慣を身に着け、見聞を広めてゆく場になればと思う。	図書館機能は、市民の方が利用しやすいよう機能の充実を図るよう検討します。
図書館は、コンピュータでの蔵書検索はもちろん、気軽にインターネットで調べものができ、印刷できる（有料）と便利でいいなと思いました。 もっと他市や他大学の本を貸し借りしやすくなるといいです。 赤ちゃんが一緒でも気にせずゆっくり読めるスペースを確保してほしいです。以前は秋芳図書館にも、児童書のある部屋があり、そこにマットが敷いてあり、座って読むことができました。	同上。
図書館は下記機能について検討してほしい。 ・図書館の閲覧はスペースと設備に万全を期すること。 ・小中高生と一般のエリアを区分すること。 ・新聞・雑誌コーナーを設けること。 ・図書館に収蔵されているものをデータベース化すること。	諸室の機能については、基本設計段階で再度検討します。
・子育支援センターが美東・秋芳は休みなので、図書館の休館日の月曜を別日に変更してほしい。 ・連休等休みの日に母一人で子育てする際、近くに半日でもいいから過ごしやすい所が欲しい。（図書館内で絵本を親子で読める場所。子どもが手に取りやすい本棚。和室。） ・今の図書館は30分以上子どもと居られない。小さい子連れにも優しい図書館にしてほしい。 ・工作あそびを美祢図書館で一度参加した事がある。新図書館でも何かイベントをしてほしい。	いただいたご意見は今後の取組の参考にします。 諸室の設備及び機能については、基本設計段階で検討します。
図書館は雑誌などを充実させて欲しい。	いただいたご意見は今後の取組の参考にします。

ご意見・ご質問	回　答
・図書館は静かすぎて使いにくい。絵本の読み聞かせ等してほしい。 ・本の滅菌機がほしい。 ・利用料は一人一日〇〇円などにしてほしい。長時間利用したい時もある為。（1時間〇〇円と遊べる方式だとなおうれしい）	いただいたご意見は今後の取組の参考にします。

第3章　P36　図書館機能の構成と規模

ご意見・ご質問	回　答
図書館のスペースが狭いと思った。 小野田市立図書館のようにイベントスペースがあればと思いました。中学生も学校帰りに利用できると思います。	いただいたご意見は今後の取組の参考にします。 諸室の規模及び機能については、基本設計段階で再度検討します。

第3章　P37　秋芳地域の複合施設の整備方針

ご意見・ご質問	回　答
・総面積をもう少し大きくしてほしい。1,700 ㎡くらい必要。 ・多目的ホールは避難場所としても体操教室、集会などするにしても狭いのではないか。400 ㎡～500 ㎡は必要。 ・子育て支援として保育園に行く前の親子の遊び場所や、ママ友を作るための場所として広いホールでのびのびとさせてあげたい。 ・講座室がもう一部屋あるといいと思う。 ・ワークショップの意見をもう少し反映して欲しい。	美祢市が直面する高齢化の進行、出生率の低下といった課題を踏まえ、できるだけコンパクトで機能的な建物を整備することを計画しています。 諸室の床面積については、基本設計段階で再度検討します。
総面積が小さすぎる。	同上。
総面積が小さすぎる。 密を避けるためには狭すぎる。 全体的に狭すぎると思います。	同上。
総面積がもっと広く欲しい。 建設費の問題もあると思うが将来の事を思うともっと積極的に考えて欲しい。	同上。

ご意見･ご質問	回　答
近年は思いもかけぬ災害も多く発生している為、多くの住民が安全に避難できる公共の場所であって欲しいと思います。そのためにも面積を広く、活用しやすく安全な建物や場所にして欲しいと思います。	美祢市が直面する高齢化の進行、出生率の低下といった課題を踏まえ、できるだけコンパクトで機能的な建物を整備することを計画しています。 各諸室の床面積については、基本設計段階で再度検討します。
避難場所の3密を避けるためにも総面積が狭すぎる。	同上。
緊急時の際やコロナ対策の3密を防ぐためにも、総面積をもっと広く確保して欲しい。	同上。
全体的に総面積の拡大を望みます。	同上。
小ホールは体育館を失うことの代替であるので1200 ㎡という支所総面積の外にするという最初の約束を守って欲しい。総合支所計画には体育館が入っていない。	同上。
安心して避難できる場所としては総面積が小さすぎる。	同上。
総面積が小さすぎる。 地域の方が安心して避難できる場所としては狭すぎる。 3密を避けるためにも広くして欲しい。	同上。
若い人の定住を進める為にも、設備を充実させることが望ましいと思う。	諸室の設備については、基本設計段階で検討します。
･多目的ホールを広くし、子育て支援の交流の場にしてほしい。 ･高齢者が避難した場合、簡易畳が必要になります。畳を設置することを考えると狭い気がします。(畳を半分設置してほしい)	多目的ホールや和室など諸室の規模については、基本設計段階で再度検討します。

第3章　P39　敷地利用計画

ご意見・ご質問	回　答
外のスペースでは自由にキッチンカーなど営業を許可して賑わいの創出を演出してもらいたい。今やキッチンカーはどこの観光地にも存在し、手軽に身近に販売できる利点があるので採用してほしい。とにかく何かがここで販売している空間をお願いしたい。	移動販売車やキッチンカーなどの駐車場スペースを確保することを検討します。 【基本計画修正】 「移動販売車やキッチンカーなどの駐車スペースを確保することを検討」追記。
移動スーパーを入れて欲しい。	同上。
図書館については、旧図書館を残し書庫・資料室とする案が提示され、面積的には一歩前進と思える。 なお、旧図書館は書架などを補充して、利用者が検索しやすく、史料センターとして保管・保存の効果が上がるよう改修をしていただきたい。	現秋芳図書館は解体せず、本の収蔵庫としての活用を検討します。 現図書館の機能については、今後検討します。
お祭り等イベントの際の会場及び設備の設置があると良い。	新複合施設の敷地については、お祭りやイベントの会場として利活用しやすいよう検討します。
現状の駐車場は狭いと思います。高齢者が多いので通常幅より広めにラインを設置すればどうか。	今後基本設計段階で検討します。
公園のような体を動かして遊べる遊具が欲しい。	同上。
・水遊びができたり、休憩できるスペースが欲しい。 ・遊具、芝生のあるスペースが欲しい。	同上。

第3章　P41　空間構成の基本的な考え方

ご意見・ご質問	回　答
空間構成の基本的な考え方。 仮に民間の力を借り、テナント募集するならば、現在計画されている図書館の横にスペースをつくり、入居してもらう。図書館との連携、流れもつくるといい。	いただいたご意見は今後の取組の参考にします。

第3章　P47　防災計画

ご意見・ご質問	回　答
停電時の非常用電源の確保が必要であり、その機械を保管する頑丈な非常用備蓄倉庫が必要。	今後基本設計段階で検討します。
避難所の断水でトイレの使用不可が大問題になっている。マンホールトイレと記載されているが、下松市だと思いますがマンホールトイレを数カ所設置したとのテレビ放送があり、県内の設置状況を調査し検討すべき。	秋吉地区は下水道のインフラ環境が整っておらずマンホールトイレの設置は困難なため、該当項目を削除します。 【基本計画修正】 「断水時にも利用可能なマンホールトイレの設置を検討する」を削除。

第3章　P48　洪水浸水に対する安全性

ご意見・ご質問	回　答
新庁舎が避難場所になるなら「今までに経験したことがない災害」この言葉を何度も耳にしました。絶対的な安全な場所の確保は必要です。	避難場所にもなる新複合施設の建設場所は、秋芳体育館の解体跡地で計画しています。 新複合施設は浸水時に被害を受けにくいような対策を検討します。ただし、想定最大規模の降雨による浸水が予測される際には、新複合施設は避難場所として適さないため、高台にある秋芳中学校などの避難場所への誘導も検討します。
雨水を貯留する設備は、県内の新庁舎（宇部市・山口市・防府市）の計画にも雨水貯留槽として記載されている。また東京など大都市は地下に貯める施設を設けており、避難場所に洪水が侵入する時間を遅くする為にも一旦地下等に貯める等の対策が必要。	雨水を貯蔵し散水やトイレの洗浄などの中水利用の可能性を基本設計段階で検討します。 洪水、浸水に対する対策として浸水時に被害を受けにくいような対策を検討します。
建設予定地とされている秋芳体育館場所は、この 40 年間では浸水した記憶はないが、最近の線状降水帯による集中豪雨が起きれば浸水する可能性は否定できない。災害対策拠点機能と必要な重要施設は中2階等に設置することが必要と考える。（2 日間の総雨量 518mmの計算ではなく、3 時間に 300mm程度の雨量に対する供水量の想定が必要ではないか）	ご指摘のとおり、災害対策拠点機能として重要なサーバー室や備蓄倉庫は、中2階等に設置するなど浸水被害を受けにくい対策を検討します。

第3章　P49　ユニバーサルデザイン計画

ご意見・ご質問	回　答
車椅子利用者はもちろんのこと、子育て世代としては、気軽にベビーカーを押して入れる施設を希望します。 少しの段差が乗り越えられなかったり、つまづいたりすると億劫になり足が遠のいてしまいます。 お手洗い、授乳室などは当事者目線で検討をお願いします。おむつ交換台を可能であれば男女ともに設置を希望します。 また、個室には、1 人座りできる子のベビーチェアの設置や、多目的トイレとは別にベビーカーのまま入れる広さのお手洗いがあると助かります。 過去に松葉杖で生活したことがあります。バリアフリーとは名ばかりで、車椅子では入れない、鍵が閉められない、実際使うと不便なアメニティ(トイレットペーパーが遠い)といった経験があります。可能な限り十分な広さ、そして、さまざまなハンディキャップを持った人にも使い勝手の良いお手洗いをお願いします。 授乳室も可能であればおむつ交換台の設置や、調乳用スペースもあると助かります。男女共用スペースとなり、カーテン(扉)の向こうは赤ちゃんとお母さんのための授乳スペースというようなつくりもいいです。 これまで子連れでいろんなところに行きましたが、カタチだけの授乳室、不便な設備に驚き、難儀したことがありました。どうか、よろしくお願いします。	新複合施設は、障がい者、高齢者、子ども連れ等、それぞれ異なるニーズにきめ細かく対応したユニバーサルデザインを徹底し、すべての人が使いやすい施設となるように検討します。
子供にも優しくお年寄りにも優しいといいと思います。	同上。
子どもが利用しやすい施設だったらうれしい。	同上。
保健センター等、高齢者向きにして欲しい。	いただいたご意見は今後の参考にします。
今後保健センター等が必要になると思うので、高齢者等が行きやすいよう改善して欲しい。	同上。

ご意見・ご質問	回　答
高齢者、ベビーカー等移動時のバリアフリー化は必要。 障がい者に対応した点字ブロックの設置が必要。 障がい者の移動時に、エレベーター、エスカレーター等の設置が必要。	新複合施設は、障がい者、高齢者、子ども連れ等、それぞれ異なるニーズにきめ細かく対応したユニバーサルデザインを徹底し、すべての人が使いやすい施設となるように検討します。

第3章　P50　将来を見据えたICT環境の整備

ご意見・ご質問	回　答
新秋芳総合支所庁舎には、「光 net 回線」及び「Wi-Fi」環境を整備して欲しい。今後、秋吉台・秋芳洞を中心とした周辺の観光地にも「Wi-Fi」環境及び直売所を整備すれば、観光客増加に繋がると思います。 また、現在、コロナ渦ということもあり、都市部の企業は家賃の高い都心部のオフィスから地方へオフィスを移す流れも出てきていますので「光 net 回線」及び「Wi-Fi」環境を整備したサテライトオフィス（国際芸術村など）の提供調整窓口となる情報戦略室を秋吉台・秋芳洞に近い新秋芳総合支所内において欲しい。	諸室の設備及び機能については、基本設計段階で検討します。 美祢市全体の今後の情報処理のあり方や通信環境の整備等については、本庁舎や美東総合支所とも連携し、今後検討していきます。
子育てしやすい環境を整えて、将来人口が増えるような施策をお願いしたい（ICT 環境を整えてほしい）。	新複合施設がそのような場になるよう主管課と協議し、今後検討していきます。
○新庁舎は地域の窓、ネットワークの中心地です 秋芳町には嘉万公民館、別府公民館、秋吉公民館と 3 つの公民館が存在します。新設される秋芳総合支所の新庁舎を中心に 3 館がネットワークを結んでほしいと思います。「秋吉ばかりが得をする」とならないように、嘉万、別府の住民を置いてけぼりにせず、秋芳全域で地域づくりを考えていただきたいと思います。	いただいたご意見は今後の取組の参考にします。

第3章　P52　交通アクセス計画

ご意見・ご質問	回　答
公共交通の引き込みについてです。 秋吉を通過するすべての公共交通を新庁舎テラスで乗降できるように要望します。 団塊の世代が運転免許を返上した際、公共交通が頼りです。赤字路線も解消できればと望みます。	中国 JR バス秋吉駅に停留する「あんもないと号」の経路を新秋芳総合支所の敷地内に停留するよう検討し、市民の利便性の向上を図ります。 その他のバスの経路変更は困難と考えます。

第4章　P60　概算事業費

ご意見・ご質問	回　答
総合支所建設について、過疎化していく地域であることを予想し、規模を縮小して置くべきという案もあるが、それでは過疎を一層加速させることになり、市として過疎化に対する方針が無いことになる。ここは、むしろ地域を活性化するためのまちづくりを見据えた場所づくりとすべきではないかと思う。少なくとも５回にわたるワークショップではそのような意見が大勢ではなかったかと思う。費用を抑え魅力のない、使い勝手の悪い建物をつくることは、まちの活性化にはならず、税金の無駄遣いに他ならないと思います。 市長さんは、市民からの意見は大切にする方針だそうなので、十分ご検討いただきたい。	美祢市が直面する高齢化の進行、出生率の低下といった課題を踏まえ、できるだけコンパクトで機能的な建物を整備することを計画しています。 諸室の床面積については、基本設計段階で再度検討します。

第4章　P64　既存施設の取り扱い

ご意見・ご質問	回　答
訪問看護ステーションは総合支所の中の方が地域に密着できる。地域との連携を密にしてほしい。	訪問看護ステーションの建物は新耐震基準であり複合化の対象として想定しておりません。
保健センターを含めた整備を考えてほしい。	保健センターの建物は新耐震基準であり複合化の対象として想定しておりません。
訪問看護ステーションの出入り口が狭いことや、現在の建物の利便性も悪いところがある為、保健センターの空き事務所に移してほしい。	いただいたご意見を参考にしながら、今後長期的に検討していきます。

ご意見・ご質問	回　答
保健センターには、保健師がいてほしい。	いただいたご意見は今後の取組の参考にします。
保健センターを訪問看護ステーションや包括センターなどとして活用していけないか。	いただいたご意見を参考にしながら、今後長期的に検討していきます。
訪問看護ステーションはどこかに移した方が良いのではないか。	同上。
訪問看護ステーションは保健センターに移転したら良い。	同上。

第4章　P65　跡地利用

ご意見・ご質問	回　答
子どもを育てていて、近くに遊ぶところがほしい。車に乗せて移動するのも大変です。美祢市内までも15～20分かかります。美東だって10～15分。秋吉地区で親子が半日でも一緒に遊んで過ごせる場があったら本当に助かります。公園がほしい。さくら公園、ごぼう公園のようなものを秋吉につくって下さい。	現秋芳総合支所庁舎の解体跡地の活用方法については、現段階では駐車場又は広場としての利用を想定しています。跡地利用については、今後、本計画とは別に「美祢市都市・地域拠点活性化計画」に基づいて検討します。 【基本計画修正】 「今後、本計画とは別に『美祢市都市・地域拠点活性化計画』に基づいて検討する。」追記。
ごぼう公園、さくら公園のような公園がほしい。	同上。
子供が遊べるような所が近くにあればいいと思います。	同上。
子供が遊べる所がほしい。（外に公園、または下関のふくふく館のような遊べる施設）	同上。
人が気軽に立ち寄って休憩できるような公園（簡易な遊具を含む）	同上。
コインランドリーができてほしい。（町内にない）	いただいたご意見は今後の取組の参考にします。

その他

ご意見･ご質問	回　答
･美祢市の知名度が低い。よって市外、県外の観光客が集客できていない。 ･観光ホテル、旅館等の宿泊設備の設置。 ･せっかく秋吉台という国定公園があるのに周りに飲食店などがなく素通りされている。 ･他市、他県へのアピール度が不足していて、地元の食、田舎の良さをもっと知ってもらいたい。	いただいたご意見は今後の取組の参考にします。
･バスの本数が少ないため、通学時の送迎が必要となる。 ･バス停の整備（屋根等）。 ･小児科が無い。 ･若者が就職できる様に企業誘致。 ･瀬戸の県道を整備（落石等の危険）。	同上。

資料６　美祢市新総合支所庁舎等整備有識者会議の検討経緯

設置目的：本市の新総合支所庁舎等の整備に関する事項を審議及び検討するため、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定により、美祢市新総合支所庁舎等整備有識者会議を設置する。

開催の経緯

会議開催日		検討事項等
第１回	令和２年 ２月３日	（１）会長・副会長の選任 （２）美祢市新総合支所庁舎等整備基本構想について （３）基本計画等の進め方について ア　検討体制 イ　検討の進め方 ウ　スケジュール エ　基本計画の構成 （４）ワークショップ等の開催について ア　グループヒアリングについて イ　ワークショップの開催について ウ　第１回・第２回の状況 （５）その他
第２回	令和２年 ３月 26 日	（１）前回（第１回）における質問の回答 ・土砂災害ハザードマップ ・周辺施設等のプロット図 ・避難所について ・本庁と総合支所の役割分担について （２）基本計画検討資料について（第１章～第２章） （３）建設候補地の比較検討について （４）スケジュールの変更について （５）その他
第３回	令和２年 ９月１日	（１）第４回紙上ワークショップについて （２）事業手法について （３）基本計画（案）について（第１章～第４章） （４）その他
第４回	令和２年 ９月 23 日～ 25 日	【書類協議】 （１）基本計画（案）について

美祢市新総合支所庁舎等整備有識者会議

委員の構成

No.	氏　名	区　分	所属・役職	備　考
1	岡松　道雄	建　築	山口大学大学院　教授	会　長
2	前田　哲男	建　築	山口県立大学　教授	副会長
3	加藤　久雄	建　築	山口県建築士会　理事	
4	鈴木　素之	防　災	山口大学大学院　教授	
5	目山　直樹	防　災 まちづくり	徳山工業高等専門学校　准教授	
6	藏重　嘉伸	まちづくり	株式会社ＹＭＦＧ ＺＯＮＥプランニング	
7	遠藤　勇一	情　報	総務省地域情報化アドバイザー	

美祢市新総合支所庁舎等整備有識者会議設置条例

令和１年 12 月 20 日

条例 27 号

（設置）

第１条　本市の新総合支所庁舎等の整備に関する事項を審議及び検討するため、地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 138 条の 4 第 3 項の規定により、美祢市新総合支所庁舎等整備有識者会議（以下「有識者会議」という。）を設置する。

（所掌事項）

第２条　有識者会議は、次に掲げる事項について審議及び検討を行うものとする。

(1)　新総合支所庁舎等整備の基本計画及び基本設計に関すること。

(2)　新総合支所庁舎等の事業手法等に関すること。

(3)　前 2 号に掲げるもののほか、新総合支所庁舎等の整備を検討するために必要な事項に関すること。

（組織）

第３条　有識者会議は、8 人以内をもって組織する。

２　委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱又は任命する。

(1)　公共建築に関して識見を有する者

(2)　防災に関して識見を有する者

(3)　まちづくりに関して識見を有する者

(4)　前 3 号に掲げるもののほか、市長が特に必要と認める者

（委員の任期）

第４条　委員の任期は、市長が委嘱又は任命した日から美祢市新総合支所庁舎等整備の基本計画及び基本設計を策定した日までとする。ただし、任期中であっても、その本来の職を離れたときは、委員の職を失うものとする。

（役員）

第５条　有識者会議に次の役員を置く。

(1)　会長　１人

(2)　副会長　１人

２　会長は、委員の互選により選出し、副会長は、会長が指名する。

（役員の職務）

第６条　会長は、有識者会議を代表し、会を統括する。

２　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第７条　有識者会議の会議は、会長が招集し、会議の議長となる。ただし、委嘱又は任命後最初の会議は、市長が招集する。

２　会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

３　会長は、必要があると認めるときは、会議に関係者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

（庶務）

第８条　有識者会議の庶務は、美東総合支所総合窓口課及び秋芳総合支所総合窓口課において処理する。

（委任）

第９条　この条例に定めるもののほか、有識者会議に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

附　則

この条例は、公布の日から施行する。

資料７　美祢市総合支所庁舎等整備庁内検討委員会の検討経緯

設置目的：本市の総合支所庁舎等の整備に関し、必要な事項を調査検討するため、美祢市総合支所庁舎等整備庁内検討委員会を設置する。

開催の経緯

会議開催日		検討事項等
第１回～第 14 回		美祢市新総合支所庁舎等整備基本構想
第 15 回	令和２年 ６月 11 日	（１）これまでの経緯について （２）建設候補地及び事業規模・スケジュールの検討について ア　美東総合支所：建設候補地の検討 イ　秋芳総合支所：事業規模・スケジュールの検討 （３）その他
第 16 回	令和２年 ９月 24 日	（１）美祢市新秋芳総合支所庁舎等整備基本計画（案）について（第１章～第４章） （２）今後の新秋芳総合支所庁舎等整備のスケジュールについて （３）その他
第 17 回	令和２年 10 月１日	（１）美祢市新美東総合支所庁舎等整備基本計画（案）について（第１章～第４章） （２）基本計画策定までのスケジュールについて （３）その他 ・第４回有識者会議（書類協議）の結果について（秋芳）
第 18 回	令和２年 11 月 10 日	（１）第４回有識者会議（書類協議）の結果について（美東） （２）住民説明会及びパブリックコメントの結果について （３）基本計画（案）の修正について （４）今後のスケジュールについて （５）民間団体の行政財産使用料について （６）その他

美祢市総合支所庁舎等整備庁内検討委員会

委員の構成

No.	区　　分	備　　考
1	副市長	委員長
2	総務部長	副委員長
3	市民福祉部長	
4	建設農林部長	
5	教育委員会教育次長	
6	総合政策部長	
7	総務課庁舎整備推進室長	

美祢市総合支所庁舎等整備庁内検討委員会設置要綱

（設置）

第１条　本市の総合支所庁舎等の整備に関し、必要な事項を調査検討するため、美祢市総合支所庁舎等整備庁内検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事項）

第２条　委員会が所掌する事項は、次のとおりとする。

(1)　総合支所庁舎等整備に係る各部局間の連絡及び調整に関すること。

(2)　総合支所庁舎等整備に係る課題の整理、調査及び検討に関すること。

(3)　前２号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項に関すること。

（組織）

第３条　委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

２　委員長は、副市長をもって充てる。

３　副委員長は、総務部長をもって充てる。

４　委員は、市民福祉部長、建設農林部長、教育委員会事務局長及び委員長が指名する者をもって充てる。

（会議）

第４条　委員会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じて委員長が招集する。

２　会議の議長は、委員長をもって充てる。

３　副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長が指定した順位によりその職務を代理する。

４　委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は必要な資料の提出を求めることができる。

（作業部会）

第５条　第２条に規定する所掌事項について必要な資料の収集及び調査研究をさせるため、必要に応じ委員会に作業部会を設置することができる。

２　作業部会の構成員は、職員の中から委員長が指名する者をもって充てる。

（庶務）

第６条　委員会の庶務は、美東総合支所総合窓口課及び秋芳総合支所総合窓口課において

処理する。

（その他）

第７条　この訓令に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が会議に諮って定める。

附　則

この訓令は、平成 30 年 6 月 1 日から施行する。

附　則

この訓令は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

美祢市新秋芳総合支所庁舎等整備基本計画　資料編

美祢市　秋芳総合支所　総合窓口課
〒754-0511　美祢市秋芳町秋吉 5335 番地 1
TEL:0837-62-1912　FAX:0837-62-1828